

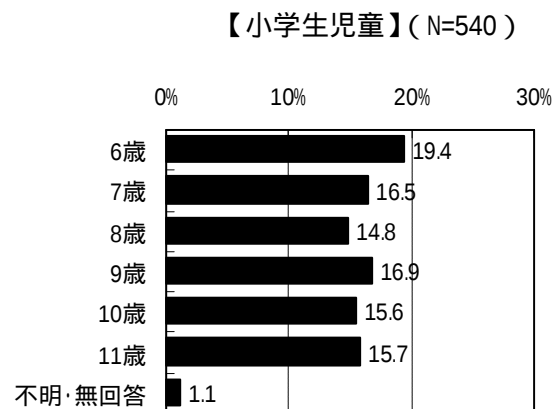
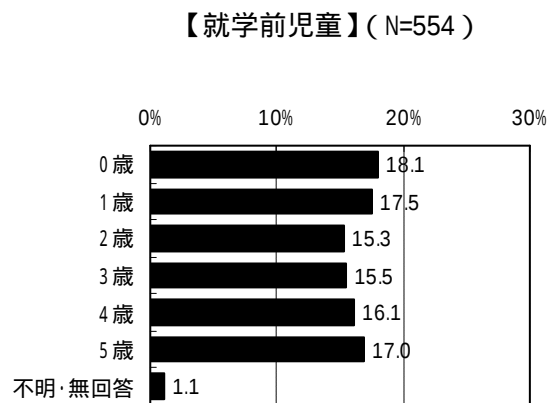
調査結果

（就学前児童・小学生児童調査）

1 回答者の属性

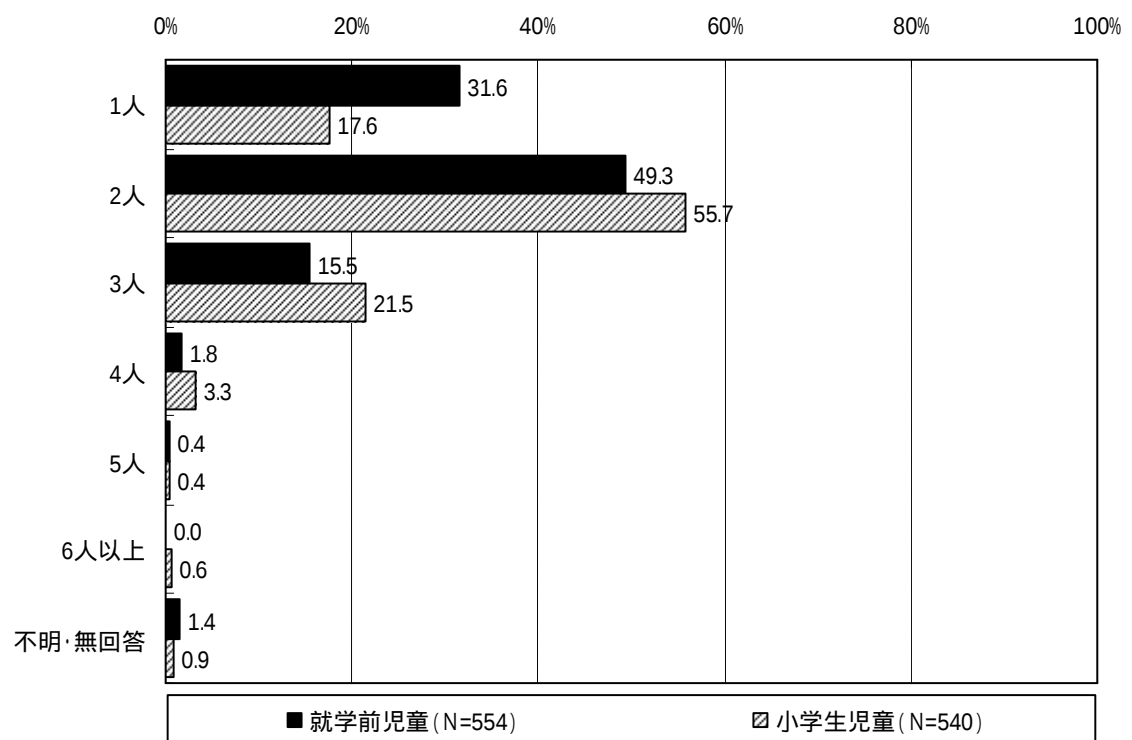
(1) 子どもの年齢 (数量回答)

【就学前・小学生児童 問 1 】



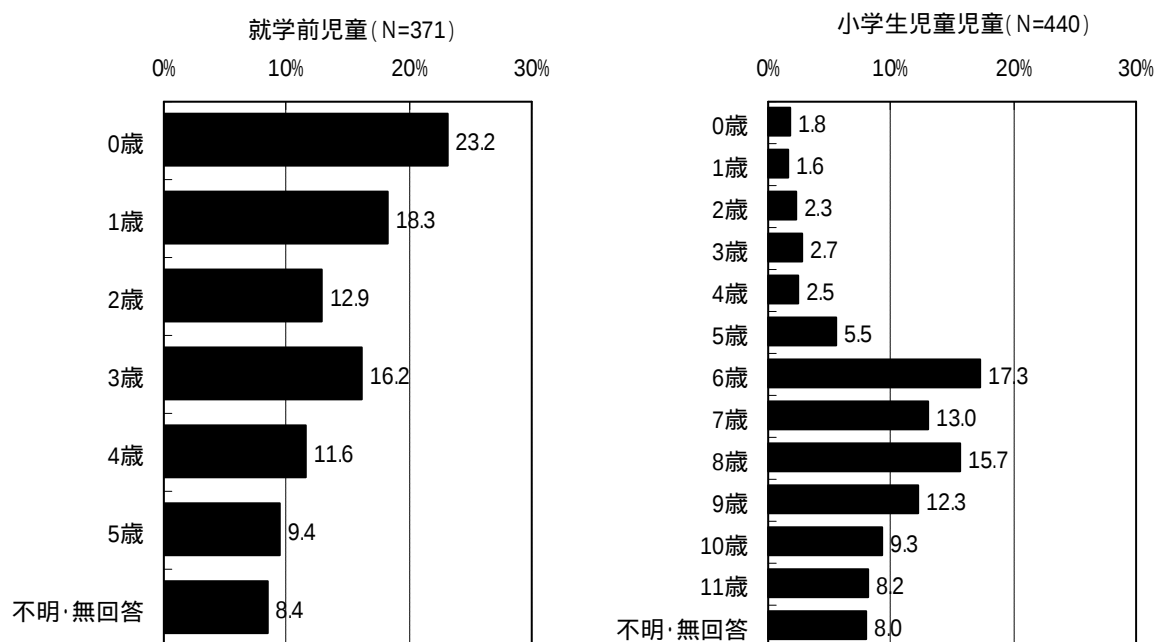
(2) 子どもの数 (数量回答)

【就学前・小学生児童 問 2 】

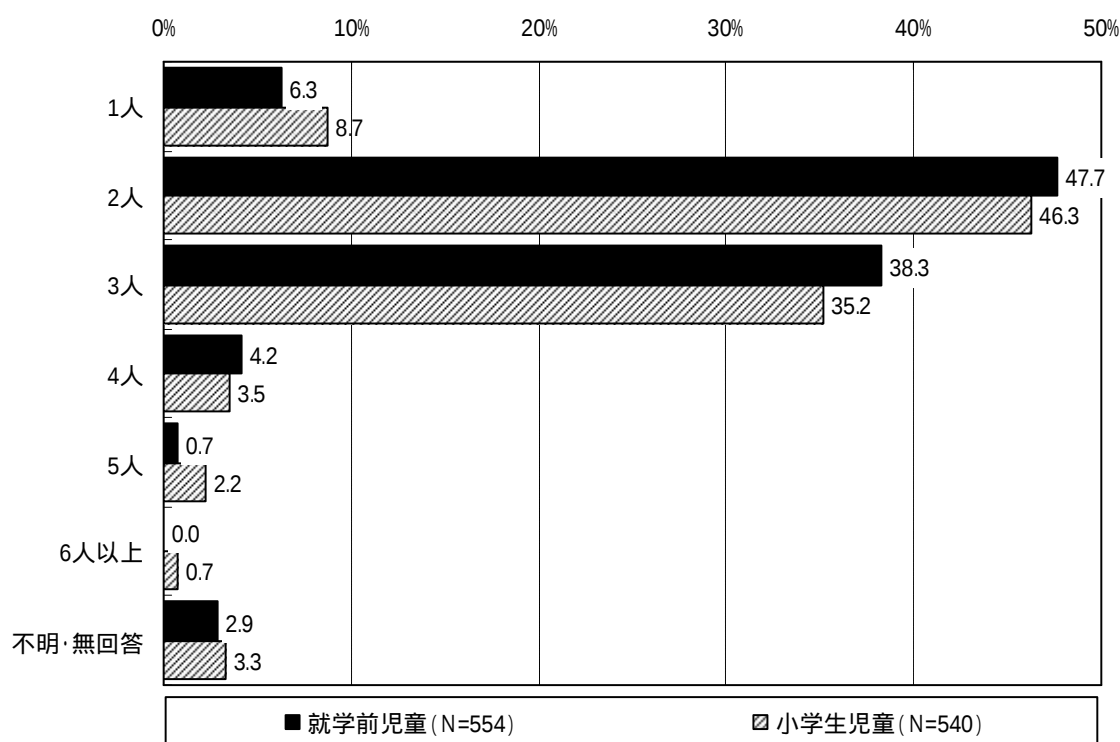


(2) — 1 子どもが2人以上いる場合の末子の年齢 (数量回答)

【就学前・小学生児童 問 3】

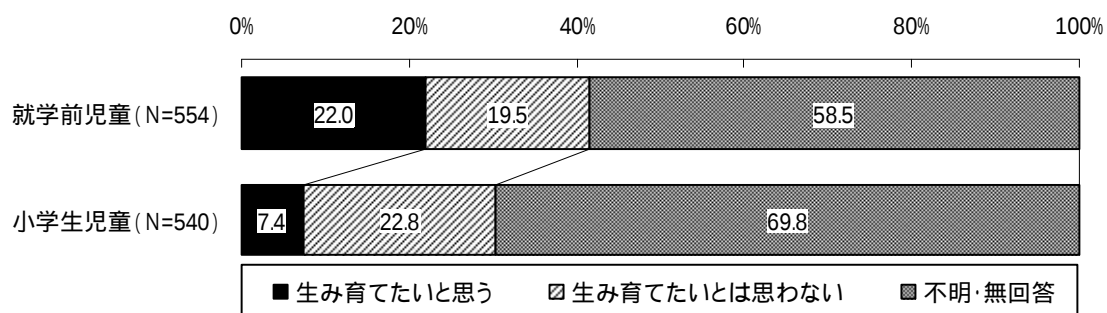


(3) 希望する子どもの数 (数量回答)



(4) もう一人子どもを産み育てたい希望 (単数回答)

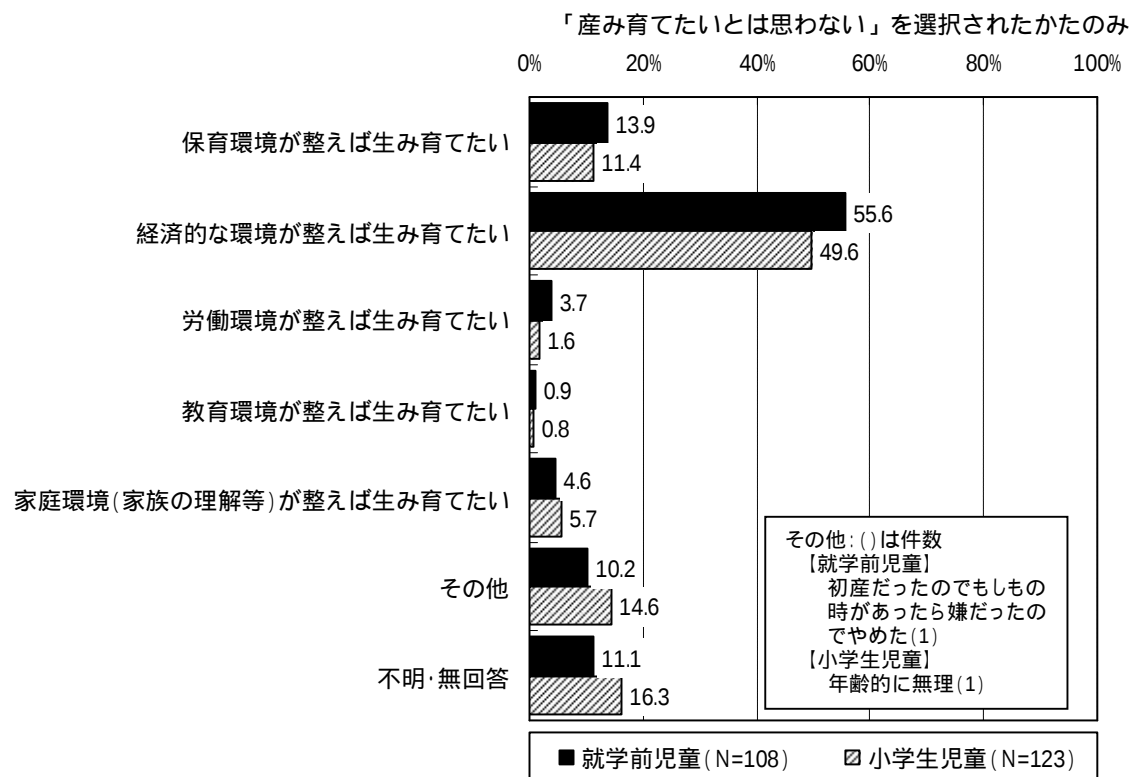
【就学前・小学生児童 問 4】



(4) - 1 どのような環境が整えばもうひとり産み育てたいか (単数回答)

【就学前・小学生児童 問 4 - 1】

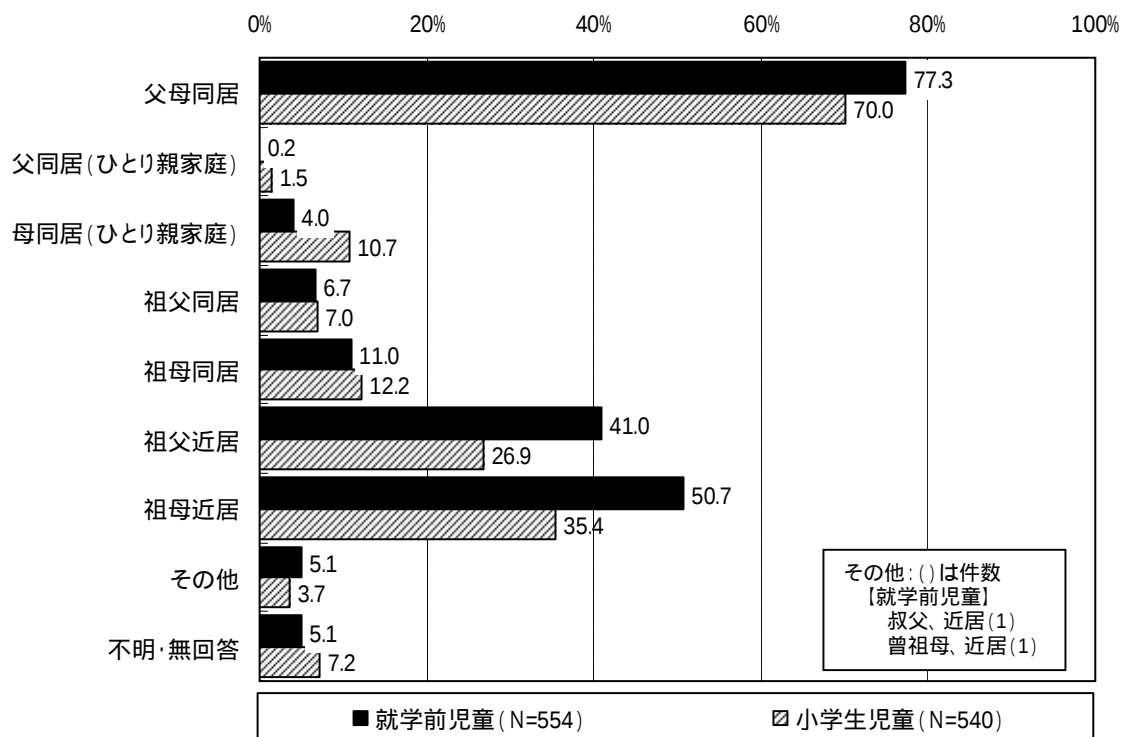
子どもを産み育てる為の環境についてみると、「経済的な環境が整えば生み育てたい」が就学前児童で 55.6%、小学生児童で 49.6%と最も高くなっています。



(5) 同居・近居の状況 (複数回答)

【就学前・小学生児童 問 5】

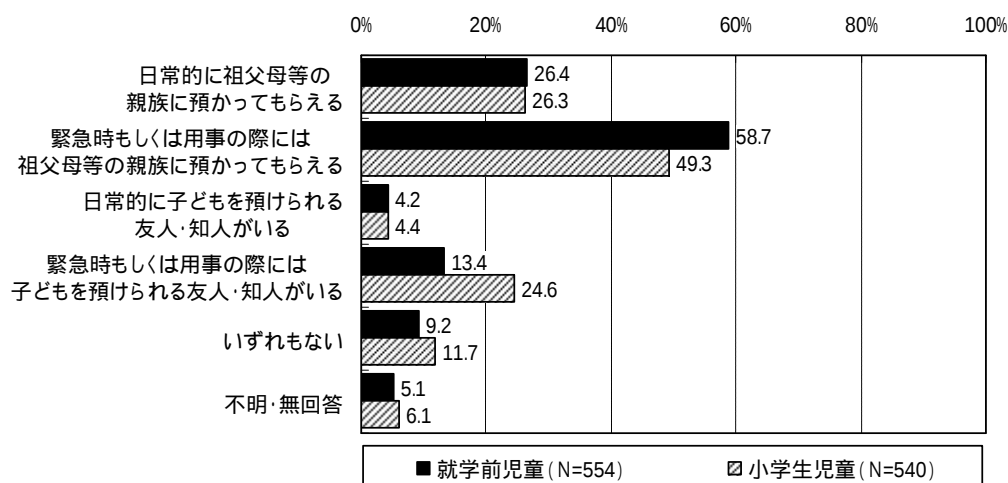
同居、近居の状況についてみると、「父母同居」が就学前児童で 77.3 %、小学生児童で 70.0 %と最も高くなっています。



(6) 子どもを預かってもらえる人の有無 (複数回答)

【就学前・小学生児童 問 6】

子どもを預かってもらえる人の有無についてみると、就学前児童、小学生児童ともに「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が 58.7%、49.3%とそれぞれ最も高くなっています。また、「いずれもない」の回答は就学前児童で 9.2%、小学生児童で 11.7%みられます。



祖父母等に預かってもらっている状況 (複数回答)

【就学前・小学生児童 問 6 - 1】

「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」または、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」を選択されたかたのみ

祖父母等に預かってもらっている状況をみると、「祖父母が孫を預かることについては、特に問題がない」が就学前児童で 59.6%、小学生児童で 61.7%と、ともに最も高くなっています。また、小学生児童と比べると、就学前児童において、やや預けにくさを感じている傾向がうかがえます。

友人や知人に預かってもらっている状況 (複数回答)

【就学前・小学生児童 問 6 - 2】

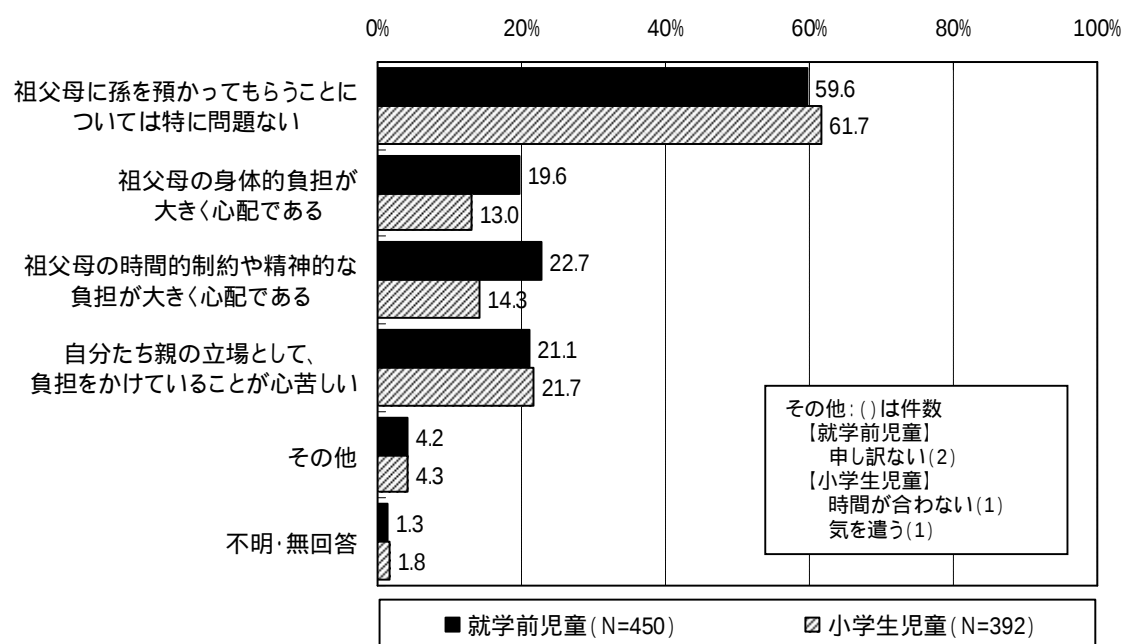
「日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」または、「緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」を選択されたかたのみ

友人や知人に預かってもらっている状況をみると、就学前児童で「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 41.6%と最も高くなっていますが、小学生児童では「友人・知人に預かってもらうことについては特に問題がない」が 50.0%と最も高くなっています。

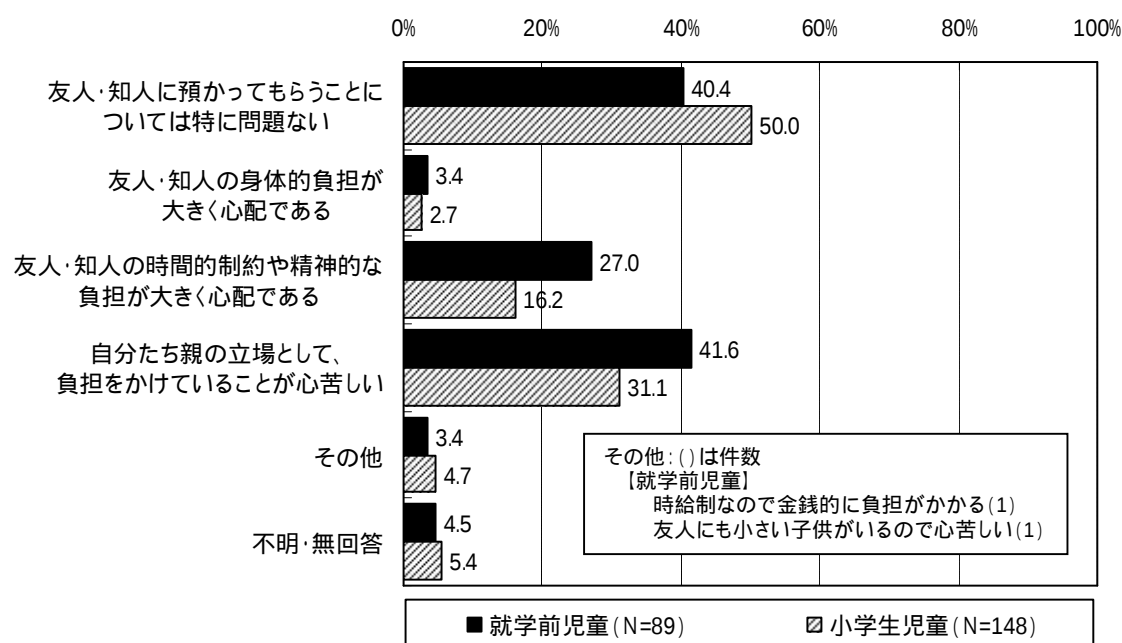
また、就学前児童、小学生児童ともに祖父母に預かってもらう場合に比べ、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」といった、自身の精神的負担をあげる割合が高くなっています。

回答状況は次ページ参照

(6) - 祖父母等に預かってもらっている状況



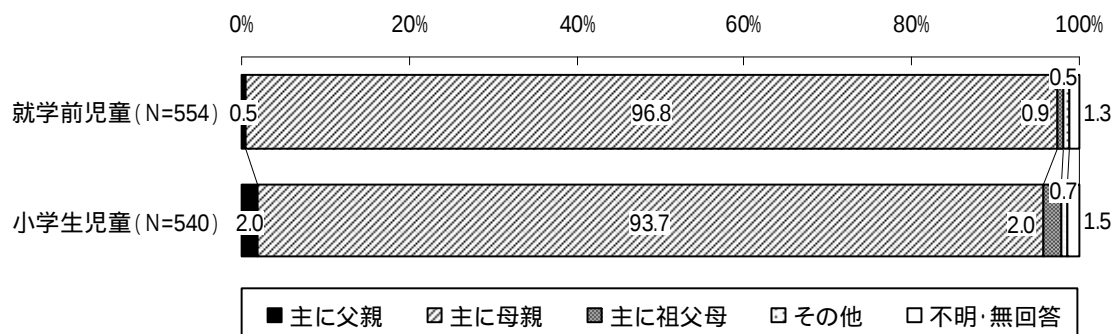
(6) - 友人や知人に預かってもらっている状況



(7) お子さんの身の回りの世話などを主にしているかた (単数回答)

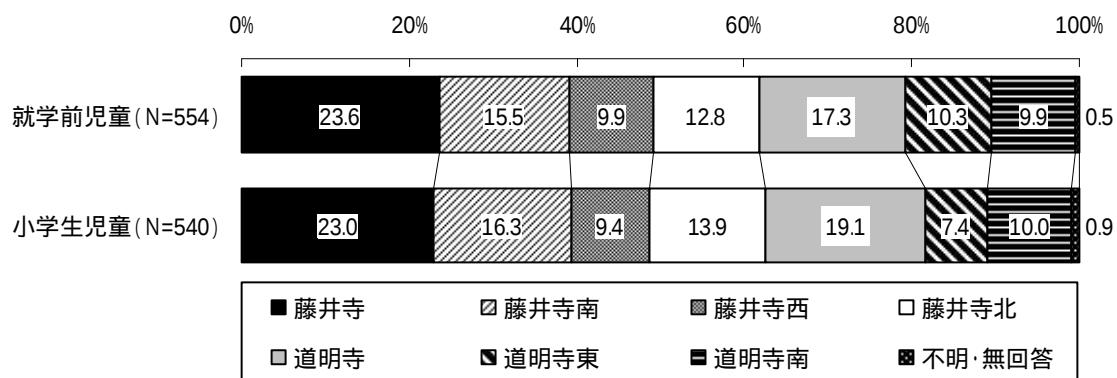
【就学前・小学生児童 問 7】

子どもの身の回りの世話などを主にしているのは、「主に母親」が就学前児童で 96.8%、小学生児童で 93.7%となっており、ともに大部分を占めています。



(8) 居住地域 (単数回答)

【就学前・小学生児童 問 8】



2 保護者の就労状況

(1) 保護者の就労状況（単数回答）

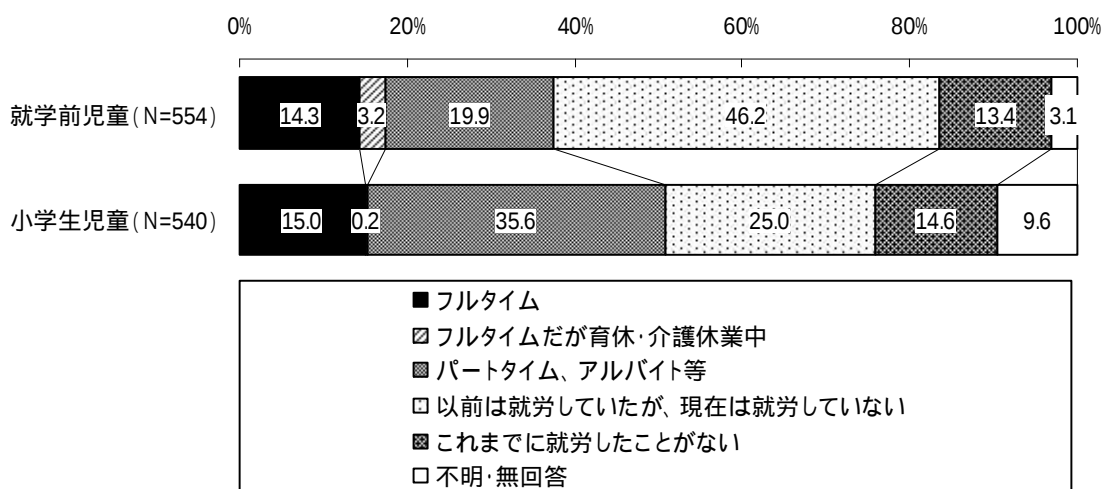
【就学前・小学生児童 問9】

母親については就学前児童では「以前は就労していたが、現在は就労していない」が46.2%と最も高くなっていますが、小学生児童では「就労している（パートタイム・アルバイト等）」が35.6%と最も高くなっています。

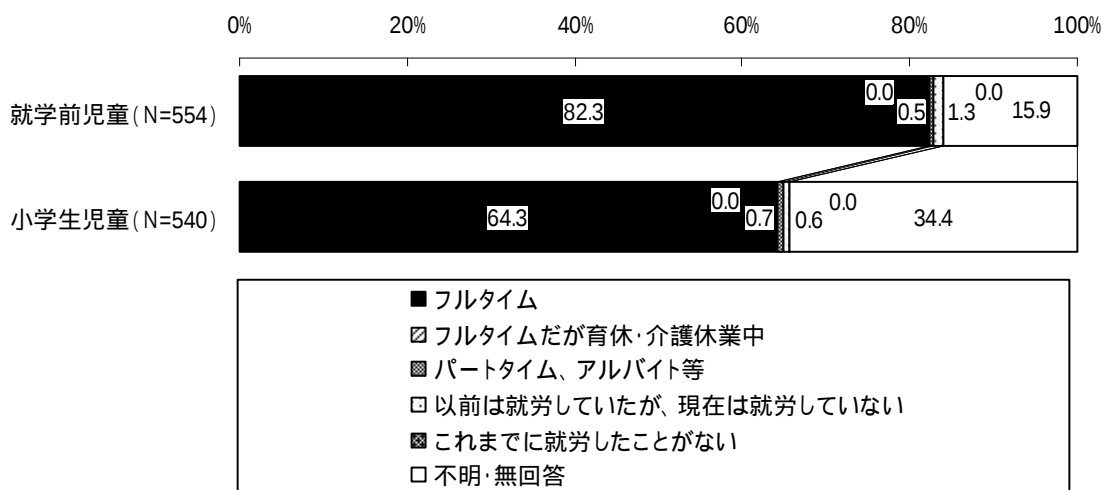
父親については「就労している（フルタイム）」が就学前児童で82.3%、小学生児童で64.3%と、ともに最も高くなっています。

また、就学前児童では約4割、小学生児童では約5割の母親が就労しています。

【母親】



【父親】

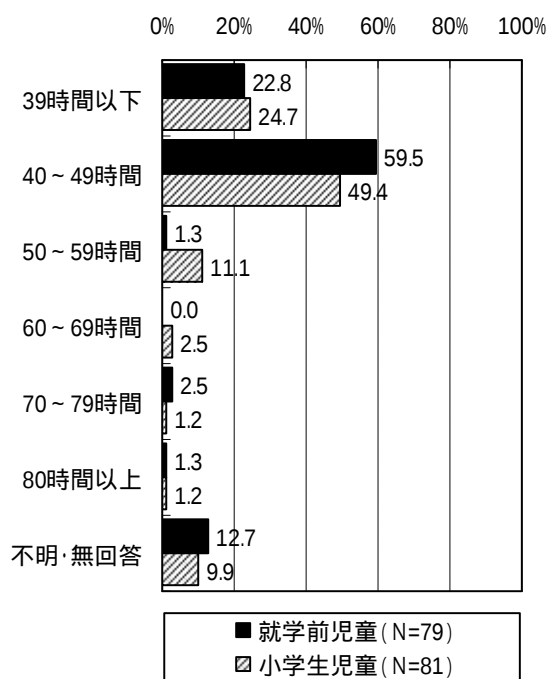


(2) フルタイムで就労している保護者の状況

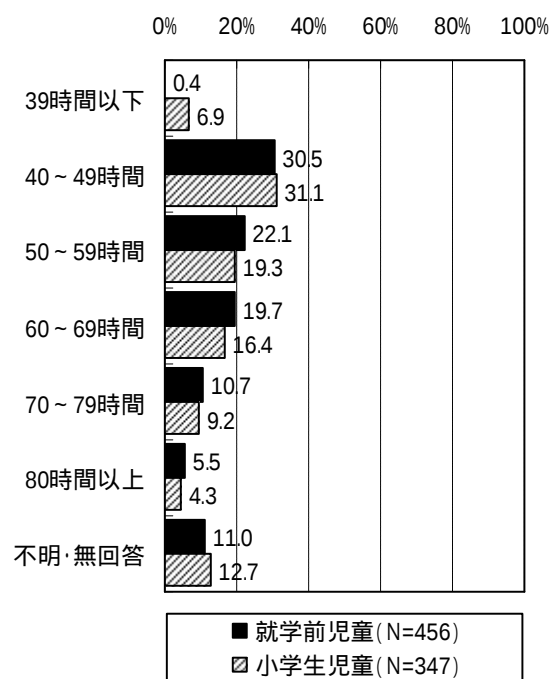
「フルタイム」または「フルタイムだが育休・介護休業中」を選ばれたかたのみ
保護者の週あたりの就労時間〔フルタイム〕(数量回答)

保護者の就労時間をみると、就学前児童、小学生児童で父親、母親ともに「40～49時間」の間での割合が高くなっています。

【母親】



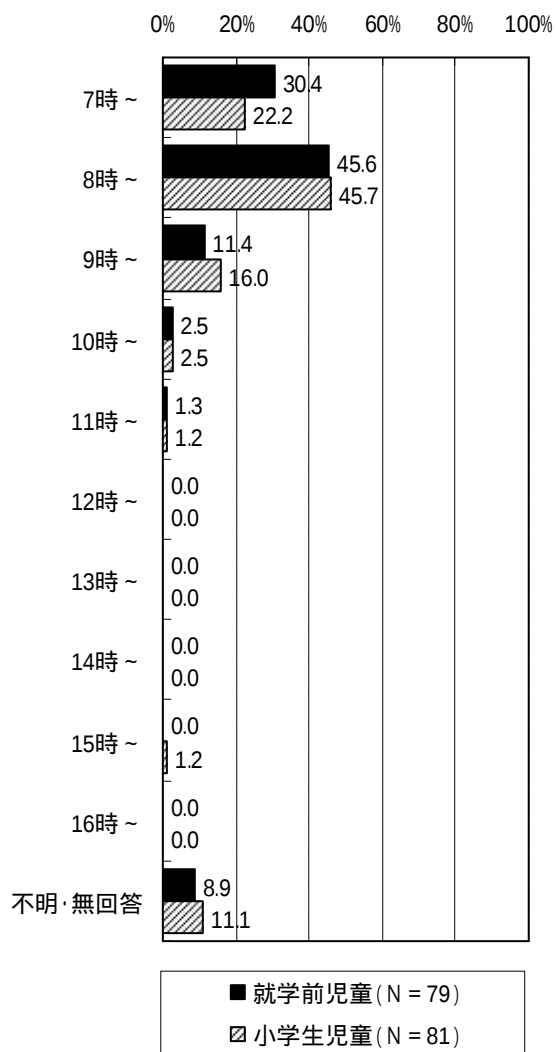
【父親】



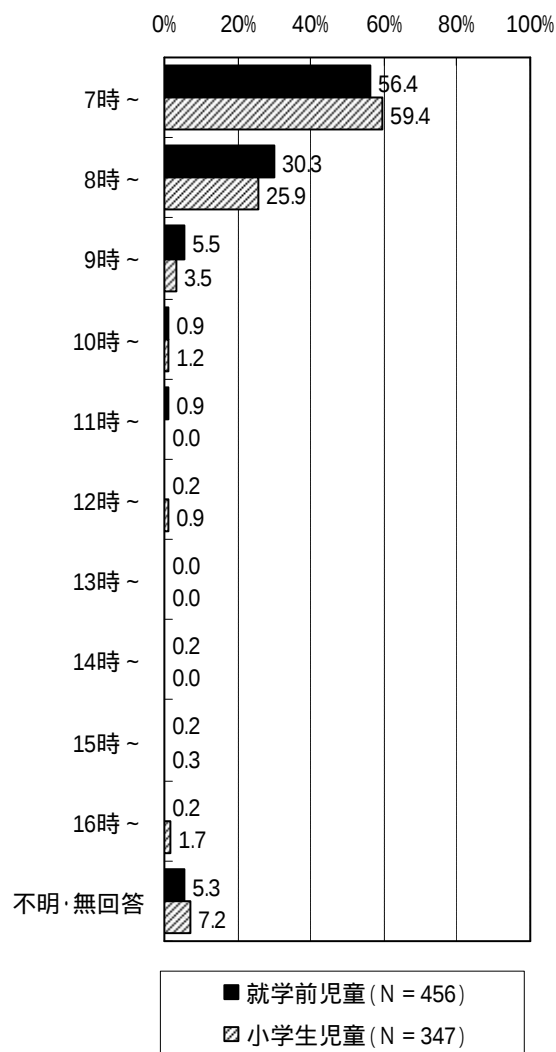
保護者の出発時間〔フルタイム〕(数量回答)

出発時間をみると、就学前児童、小学生児童ともに母親は「8時～」が最も高くなっており、父親は「7時～」が最も高くなっています。

【母親】



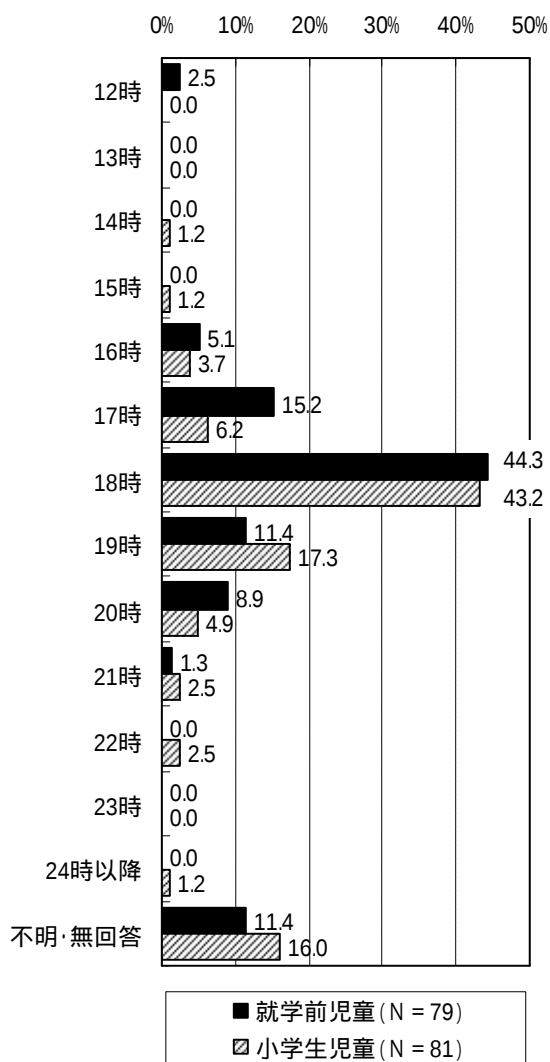
【父親】



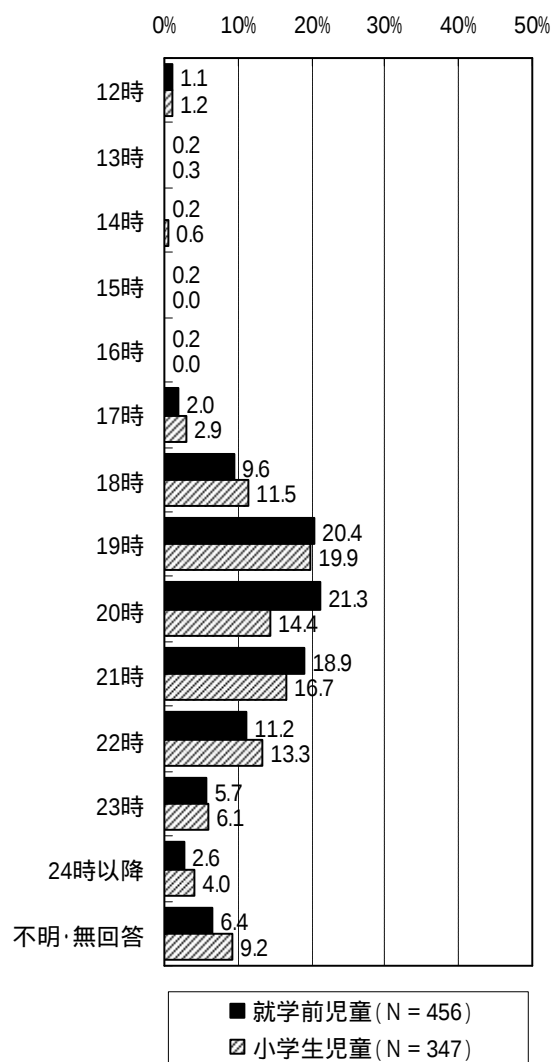
保護者の帰宅時間〔フルタイム〕(数量回答)

帰宅時間をみると、母親は「18 時」が就学前児童、小学生児童ともに最も高くなっており、父親は就学前児童が「20 時」、小学生児童は「19 時」が最も高くなっています。

【母親】



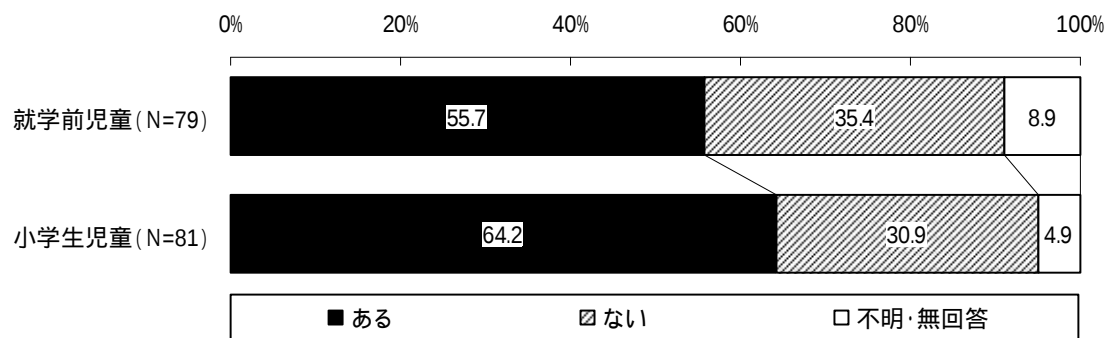
【父親】



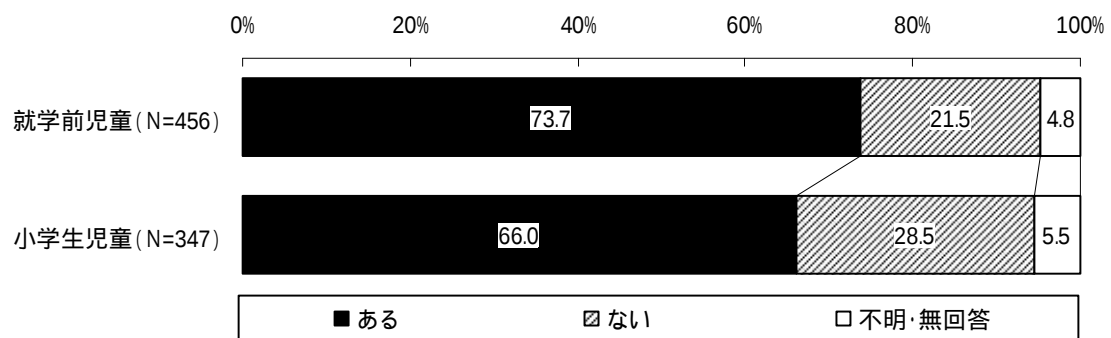
土曜の勤務〔フルタイム〕(単数回答)

土曜日の勤務についてみると、母親、父親ともに半数を超えたかたが就労しています。

【母親】



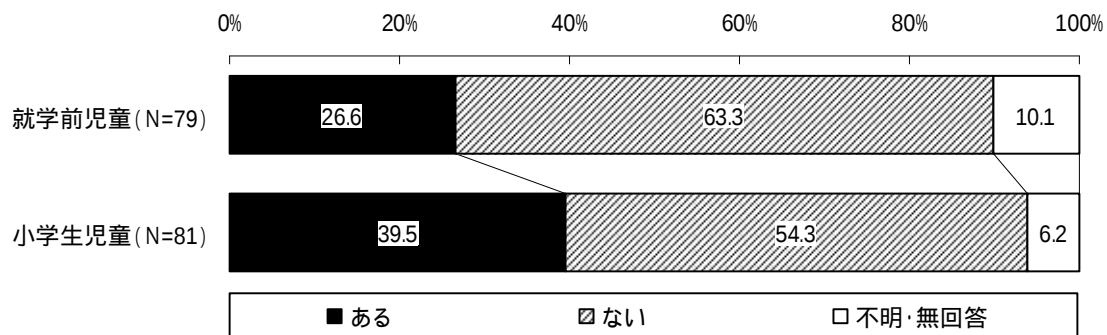
【父親】



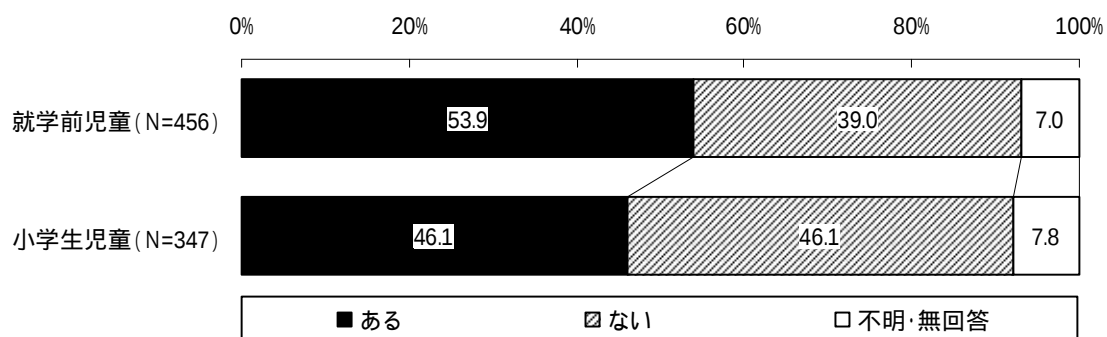
日曜・祝日の勤務〔フルタイム〕(単数回答)

日曜日・祝日の勤務についてみると、母親は就学前児童が26.6%、小学生児童が39.5%のかたが就労しています。父親は就学前児童が半数を超えて就労しており、小学生児童も4割を超えて就労しています。

【母親】



【父親】



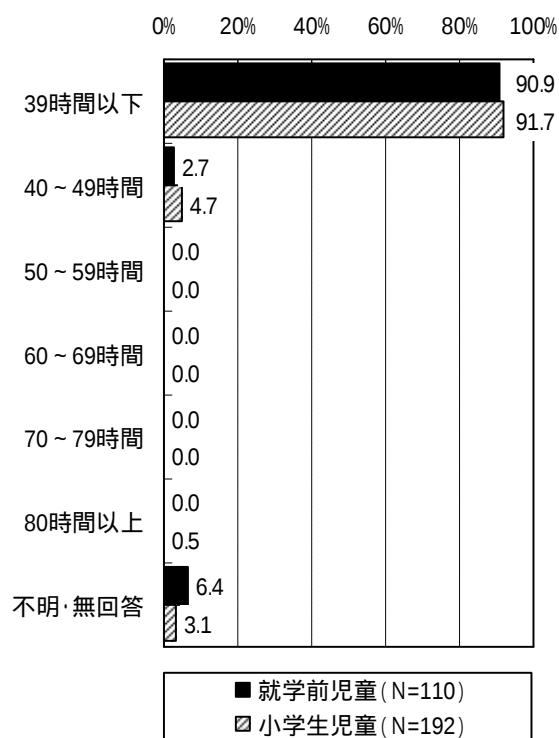
(3) パートタイム、アルバイトで就労している保護者の状況

「パートタイム、アルバイト」を選ばれたかたのみ

保護者の週あたりの就労時間〔パートタイムなど〕(数量回答)

保護者の就労時間をみると、母親では就学前児童、小学生児童ともに「39 時間以下」が 9 割を超えています。父親では就学前児童、小学生児童とも「39 時間以下」、「40～49 時間」とともに 1 人となっています。

【母親】



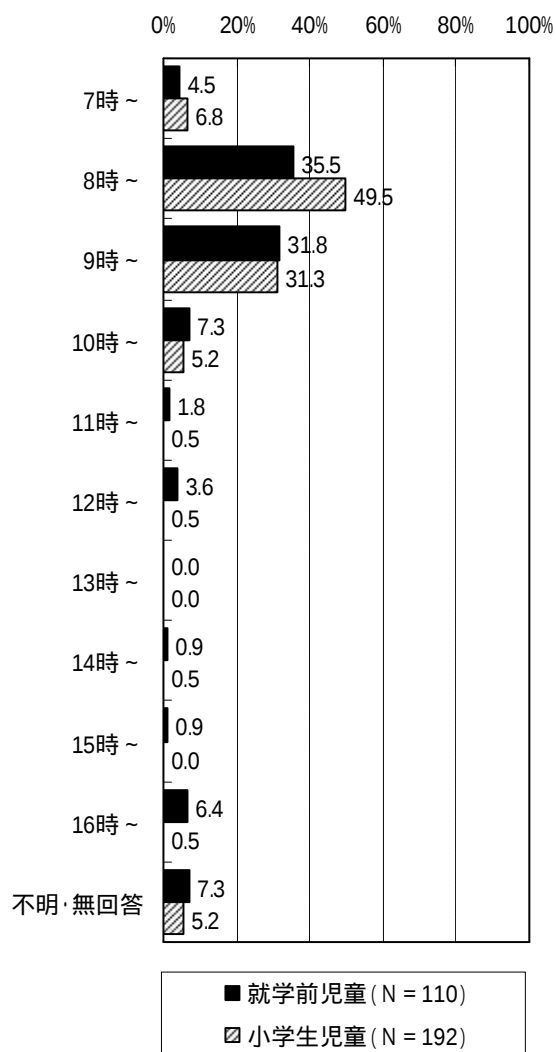
【父親】

	就学前児童	小学生児童
(回答のみ)	N=3	N=4
39時間以下	1	1
40～49時間	1	1
不明・無回答	1	2

保護者の出発時間〔パートタイムなど〕(数量回答)

保護者の出発時間をみると、母親では就学前児童、小学生児童ともに「8時～」が最も高くなっています。父親では就学前児童が「8時～」が2人、「10時～」が1人、小学生児童が「7時～」、「9時～」がともに1人となっています。

【母親】



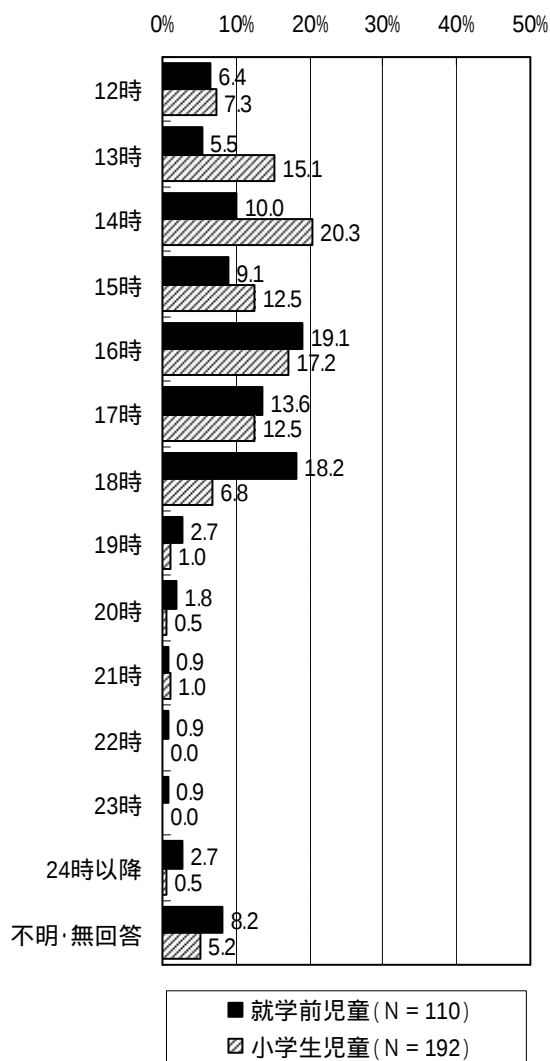
【父親】

	就学前児童	小学生児童
(回答のみ)	N=3	N=4
7時～	0	1
8時～	2	0
9時～	0	1
10時～	1	0
不明・無回答	0	2

保護者の帰宅時間〔パートタイムなど〕(数量回答)

保護者の帰宅時間をみると、母親では就学前児童は「14 時」が最も高く、小学生児童は「16 時」が最も高くなっています。父親では就学前児童は「18 時」、「20 時」、「23 時」がともに 1 人、小学生児童は「13 時」、「19 時」がともに 1 人となっています。

【母親】



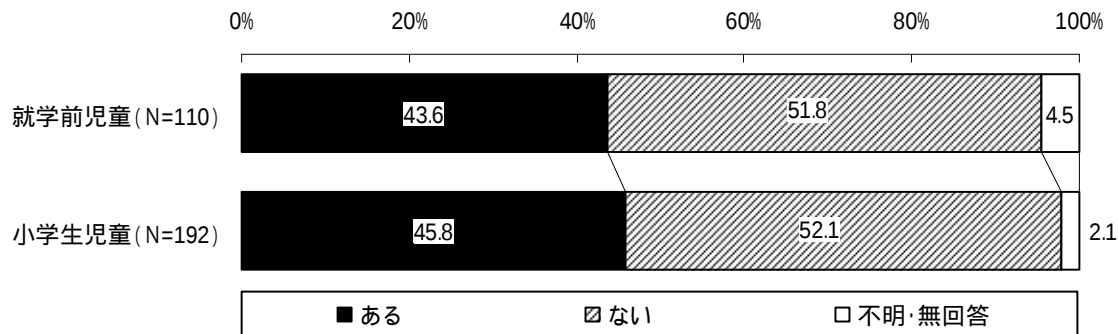
【父親】

	就学前児童	小学生児童
(回答のみ)	N=3	N=4
13時	0	1
18時	1	0
19時	0	1
20時	1	0
23時	1	0
不明・無回答	0	2

土曜の勤務〔パートタイムなど〕(単数回答)

土曜日の勤務についてみると、母親では就学前児童、小学生児童ともに 4 割を超えたかたが就労しています。父親では就学前児童で 2 人、小学生児童で 4 人が就労しています。

【母親】



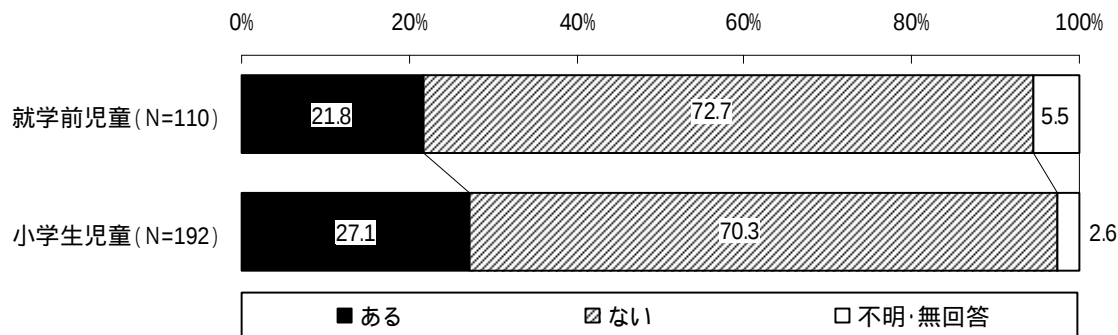
【父親】

	就学前児童	小学生児童
	N=3	N=4
ある	2	4
ない	1	0
不明・無回答	0	0

日曜・祝日の勤務〔パートタイムなど〕(単数回答)

日曜日・祝日の勤務についてみると、母親は就学前児童が 21.8%、小学生児童が 27.1% のかたが就労しています。父親では就学前児童で 2 人、小学生児童で 3 人が就労しています。

【母親】



【父親】

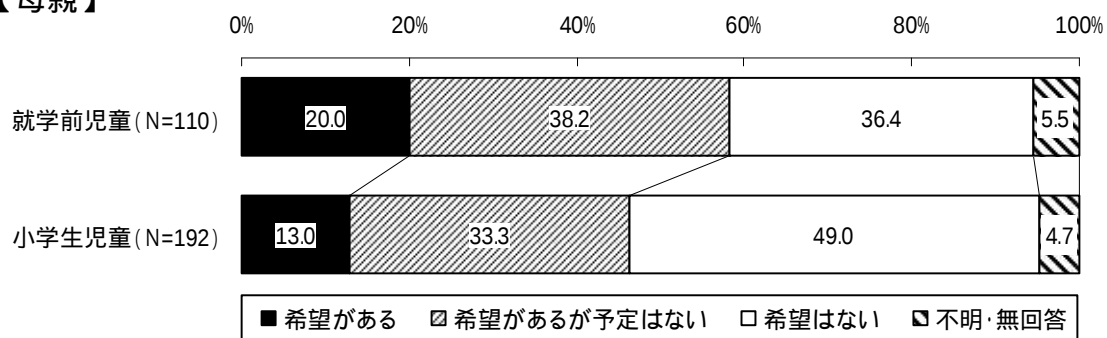
	就学前児童	小学生児童
	N=3	N=4
ある	2	3
ない	1	1
不明・無回答	0	0

フルタイムへの転換希望（単数回答）

「パートタイム、アルバイト」を選ばれたかたのみ

フルタイムへの転換希望についてみると、「希望がある」、「希望はあるが予定はない」と転換を希望されているかたは、母親では就学前児童が 58.2%、小学生児童が 46.3%のかたが転換を希望しています。父親では就学前児童で 2 人、小学生児童で 1 人が転換を希望しています。

【母親】



【父親】

	就学前児童	小学生児童
	N=3	N=4
希望がある	1	1
希望はあるが予定はない	1	0
希望はない	1	1
不明・無回答	0	2

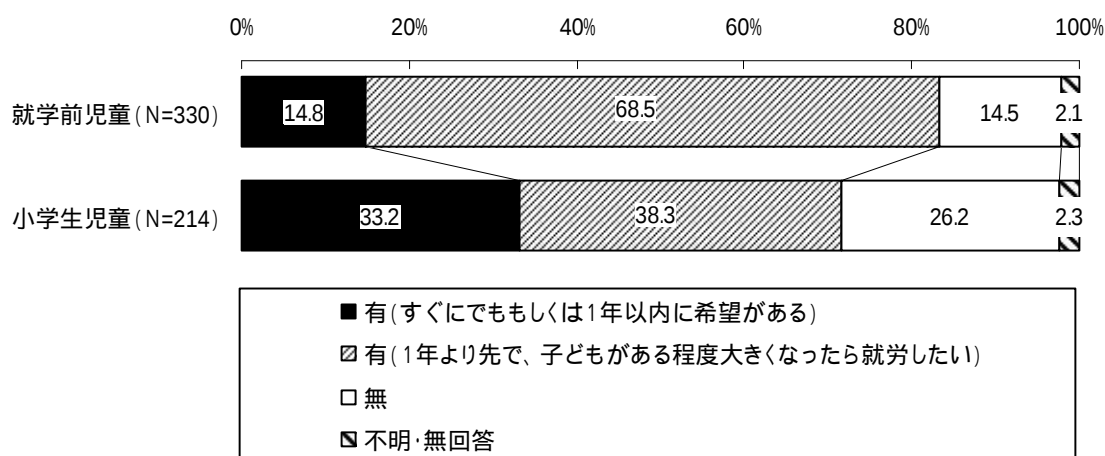
(4) 現在就労していない母親の就労希望 (単数回答)

【就学前・小学生児童 問9-1】

「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまでに就労したことがない」を選ばれたかたのみ

現在就労していない母親の今後の就労希望をみると、「有(1年以内、1年よりも先の合計)」は就学前児童で83.3%、小学生児童で71.5%となっており、大部分の母親が就労希望を持っています。また、その就労形態では就学前児童、小学生児童ともに「パートタイム、アルバイト等による就労」を希望する割合が8割を超えています。

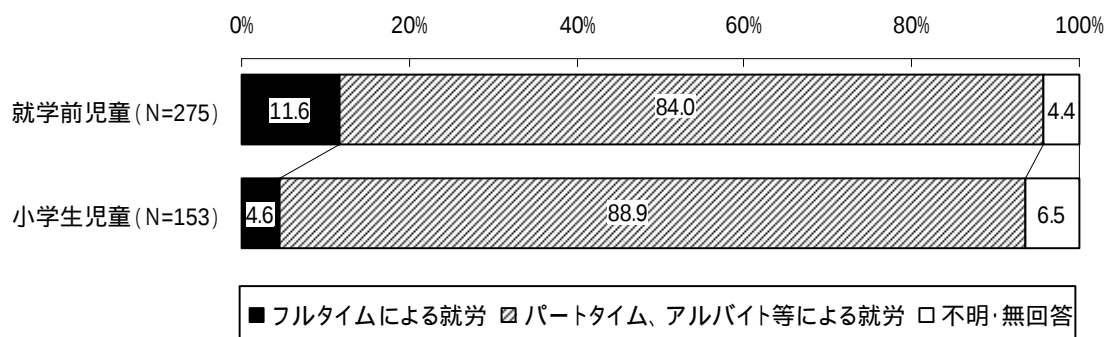
就労希望の有無 (単数回答)



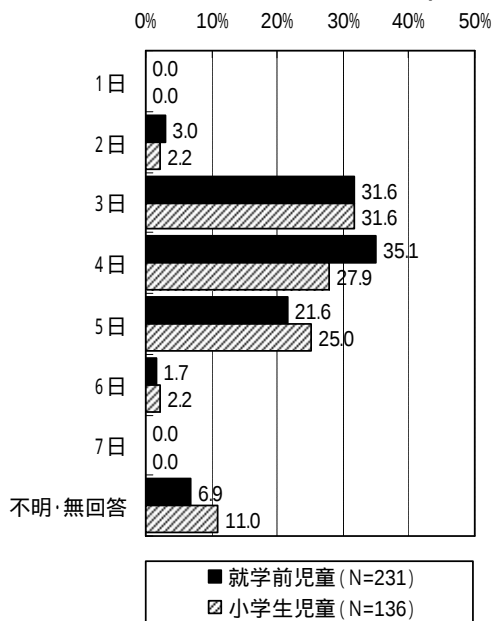
就労希望の形態 (単数回答)

【就学前・小学生児童 問9-2】

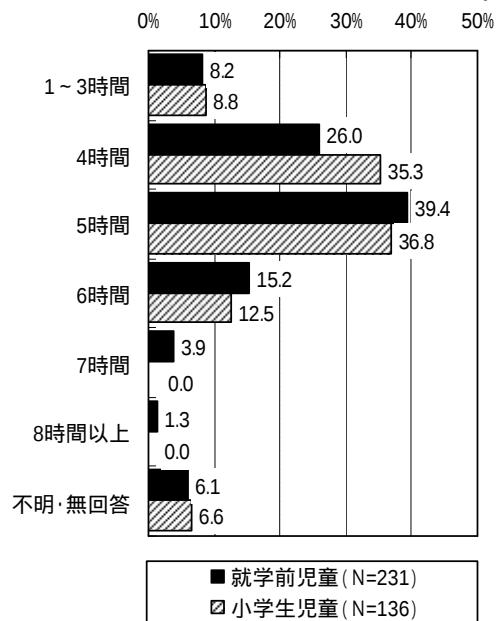
母親の就労希望が「有」と答えたかたのみ



希望する就労日数（数量回答）



希望する就労時間（数量回答）

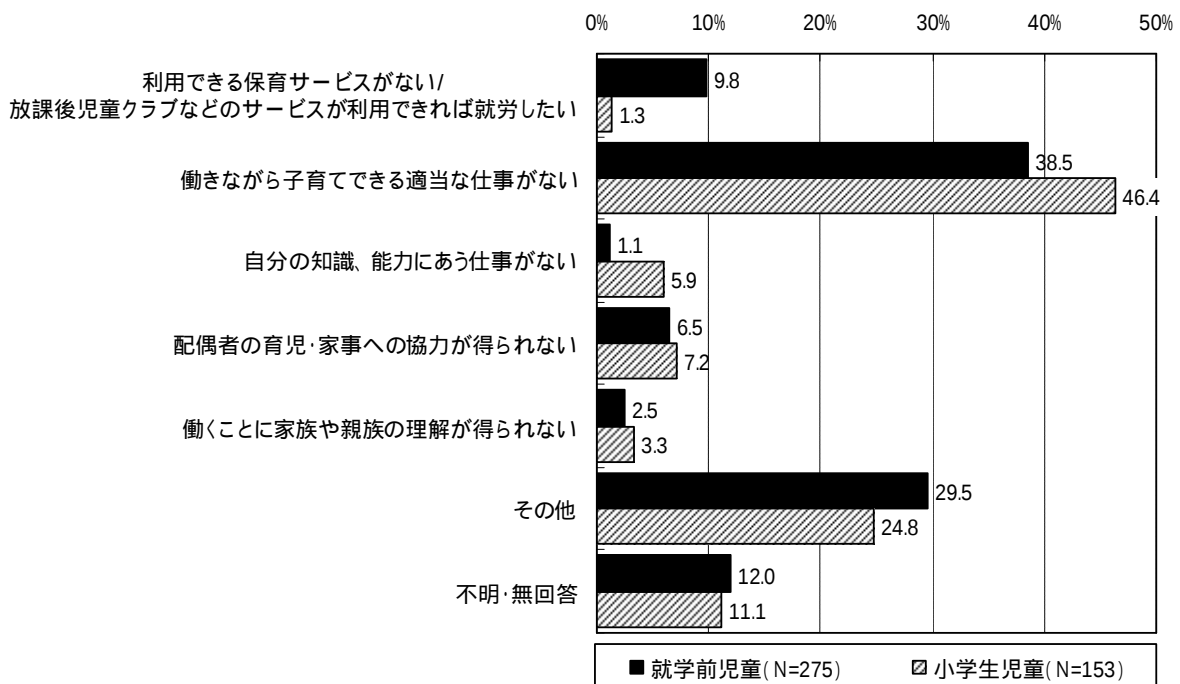


就労希望がありながら働いていない理由（単数回答）

【就学前・小学生児童 問9-3】

母親の就労希望が「有」と答えたかたのみ

「働きながら子育てができる適当な仕事がない」が就学前児童で 38.5%、小学生児童で 46.4%と、それぞれ最も高くなっています。



その他：()は件数

【就学前児童】

子供がまだ小さいから (6)・育児を優先しているため (3)・子供が病弱なため (1)・子供が幼稚園に入るまでは母親は近くにいるほうが良いと思うから (1)・必要が無い (1)・病気の為、就労できるみこみがたたないので (1)・幼稚園の夏休み期間と変則的な保育時間があるため (1)

【小学生児童】

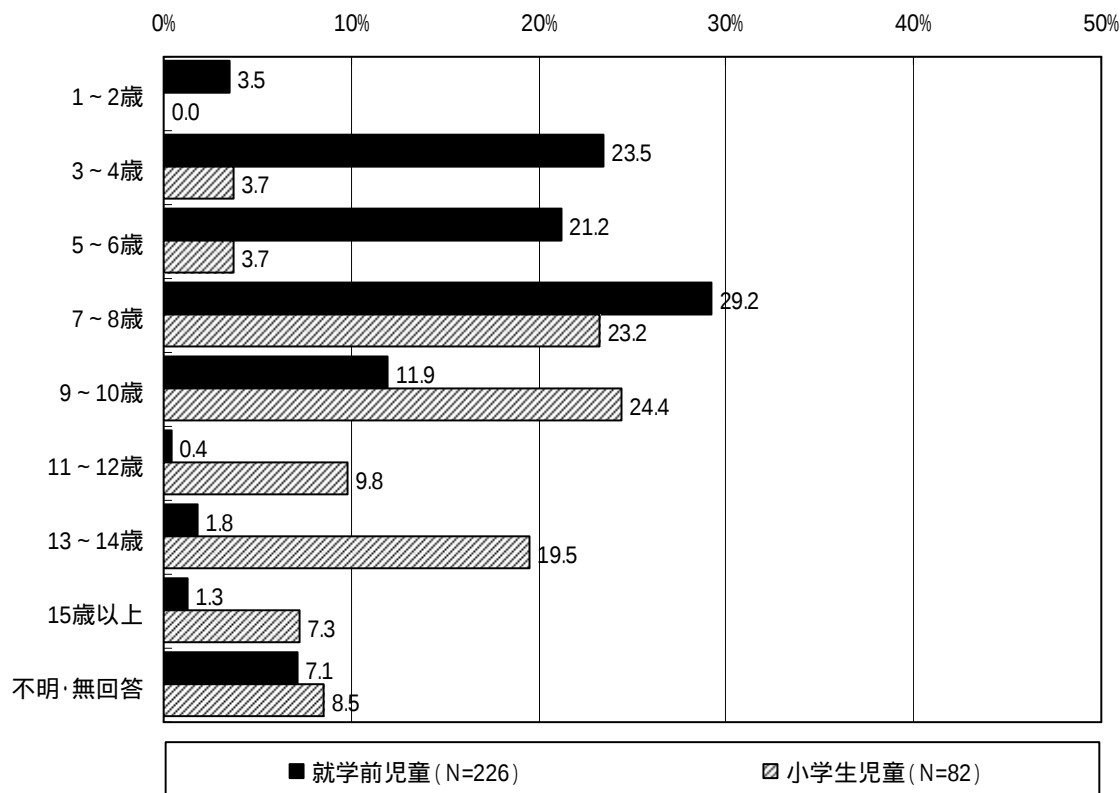
子供が小さいので (4)・緊急時見てくれる人がいない (1)・療養中のため (1)・妊娠中のため (1)・年齢制限のため (1)

一番小さい子どもが何歳になった時に就労を希望するか（数量回答）

【就学前・小学生児童 問9-4】

母親の就労希望が「有（1年より先で子どもがある程度大きくなったら就労したい）」と答えたかたのみ

小さい子どもが何歳になったときに、就労を希望するかについては、就学前児童では「7～8歳」、小学生児童では「9～10歳」の割合が高くなっています。



(5) 母親の出産前後の就労の状況

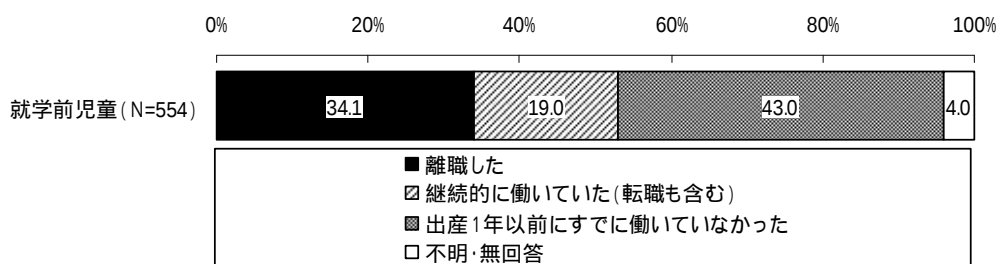
【就学前児童 問 1 0】

就学前児童のみ

母親の出産前後の就労の状況をみると、「離職した」が 34.1%となっており、「出産 1 年以前にすでに働いていなかった」が 43.0%となっています。

また、どんな環境があれば就労を継続したかでは、36.5%が「制度や環境に関係なく、自発的にやめた」としていますが、「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労した」については 24.9%となっています。

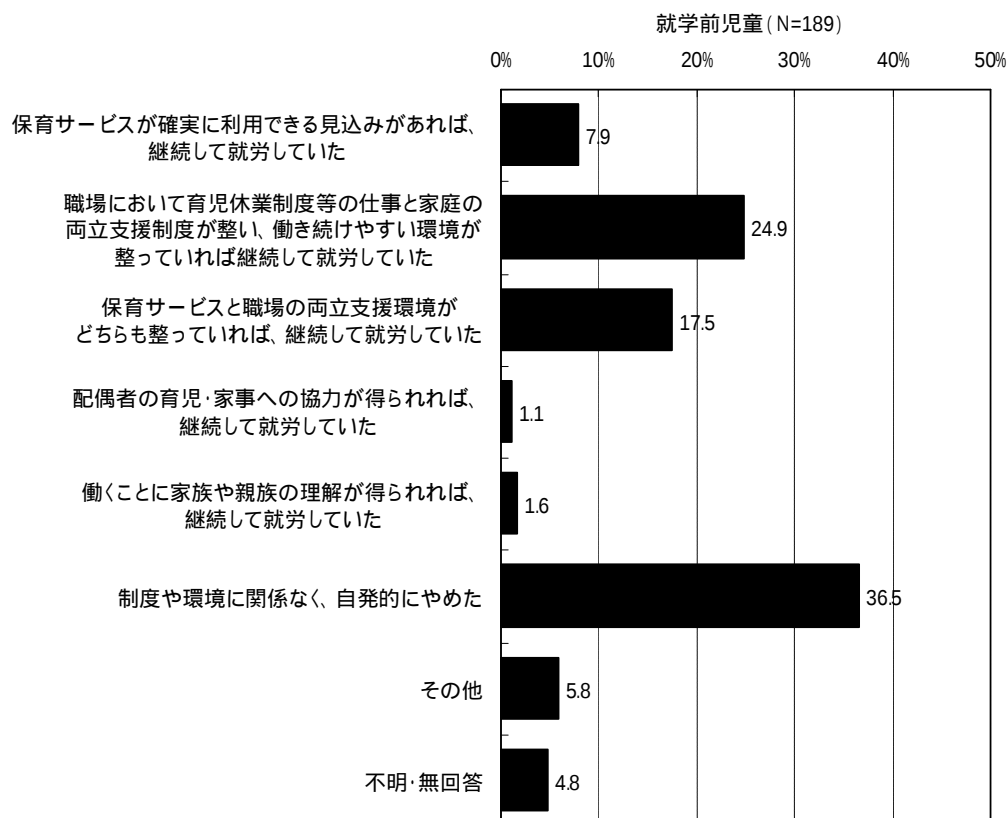
出産前後の離職の有無（単数回答）



どんな環境があれば就労を継続したか（単数回答）

【就学前児童 問 1 0 - 1】

母親が「出産前後離職した」と答えたかたのみ



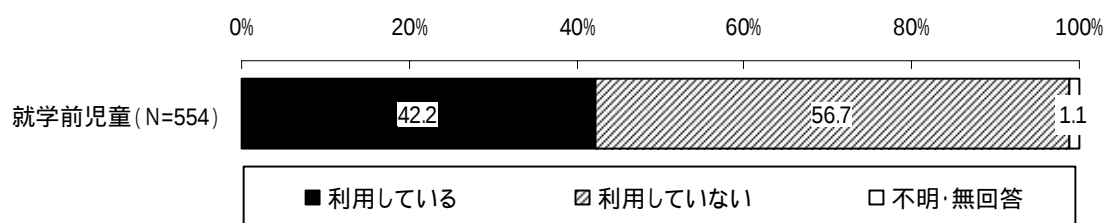
3 保育サービスについて

(就学前児童)

(1) 保育サービスの利用の有無 (単数回答)

【就学前児童 問 1 1】

保育サービスの利用については、42.2%が「利用している」となっており、56.7%が「利用していない」となっています。

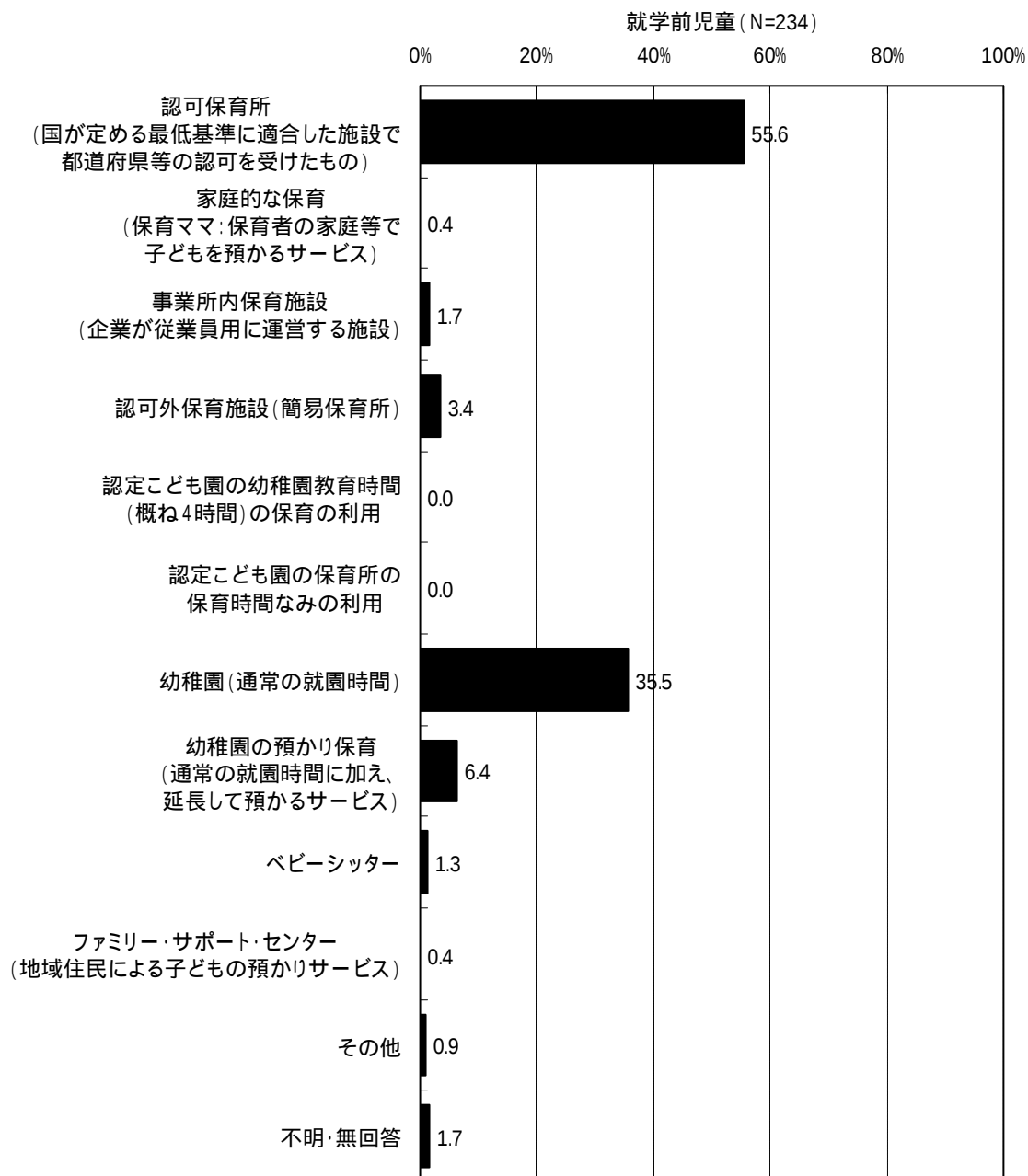


(2) 利用している保育サービスの種類 (複数回答)

【就学前児童 問 1 1 - 1】

現在保育サービスを利用していると答えたかたのみ

利用している保育サービスについては、55.6%が「認可保育所」となっており、次いで「幼稚園」が35.5%となっています。



(3) 保育サービスの利用状況

【就学前児童 問 1 1 - 2】

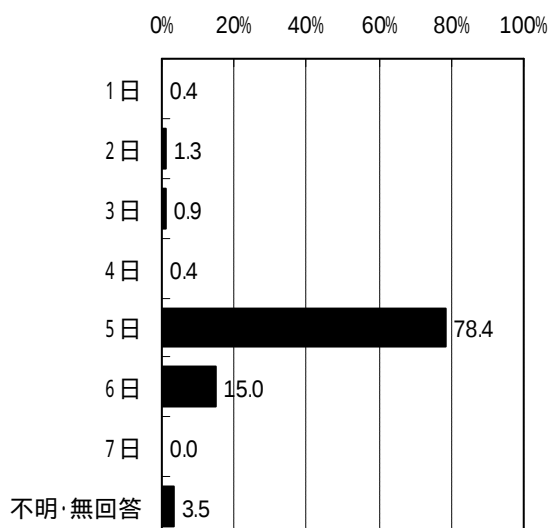
現在「認可保育所」、「家庭的な保育」、「事業所内保育施設」、「認可外保育施設」、「認定こども園」、「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」のいずれかを利用していると答えたかたのみ

利用している日数・時間

サービスの利用日数、時間をみると、日数では「5日」、時間では「6時間」、「8時間」への割合が高くなっています。また、開始時間では「9時～」、終了時間では「15時」、「17時」、「18時」の時間帯が高くなっています。

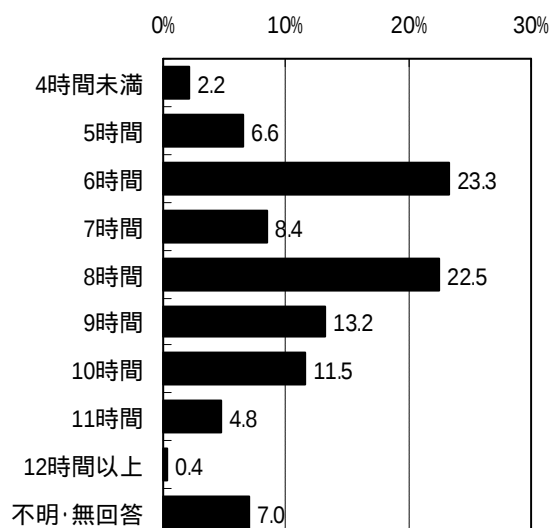
【利用している日数】(数量回答)

就学前児童 (N=227)



【利用している時間】(数量回答)

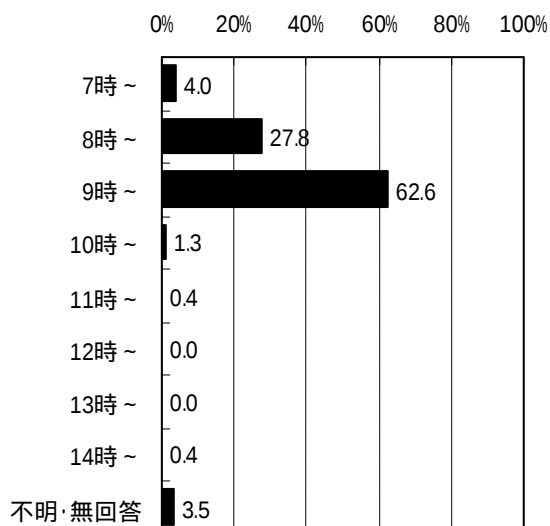
就学前児童 (N=227)



【利用している開始時間と終了時間】(数量回答)

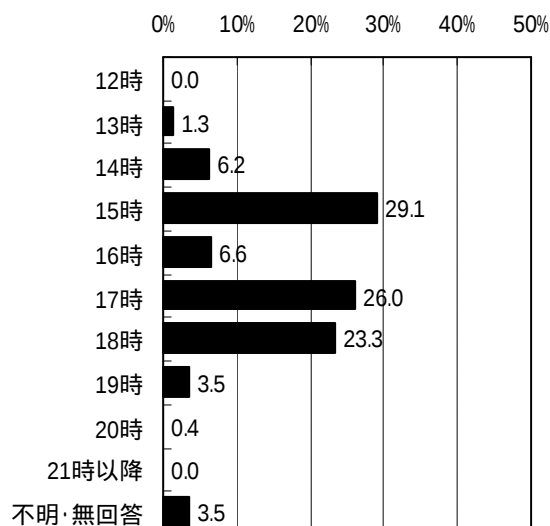
〔開始時間〕

就学前児童 (N=227)



〔終了時間〕

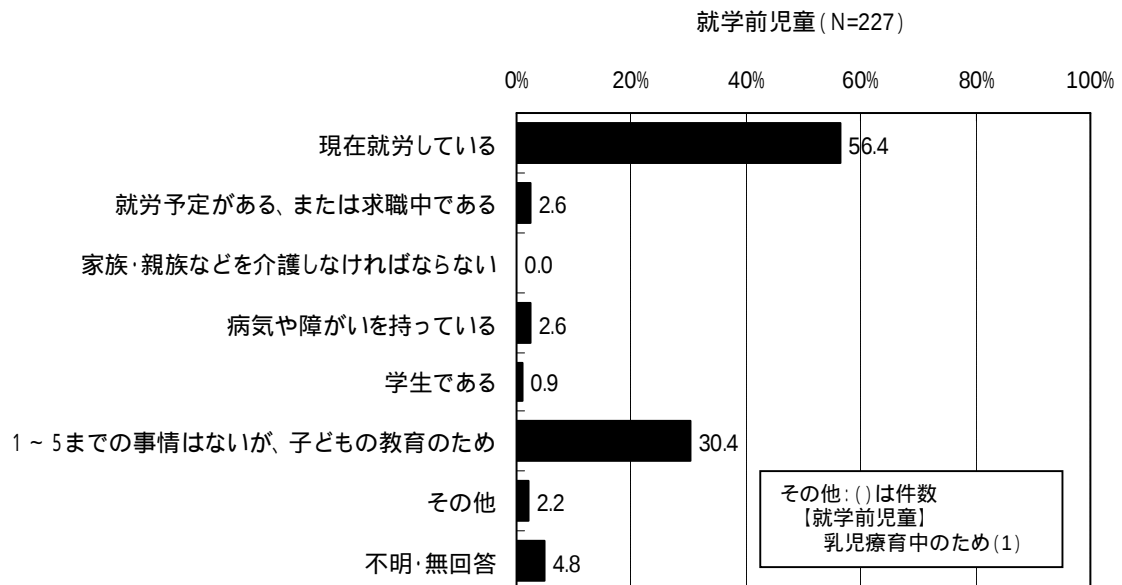
就学前児童 (N=227)



利用している理由（単数回答）

【就学前児童 問 1 1 - 3】

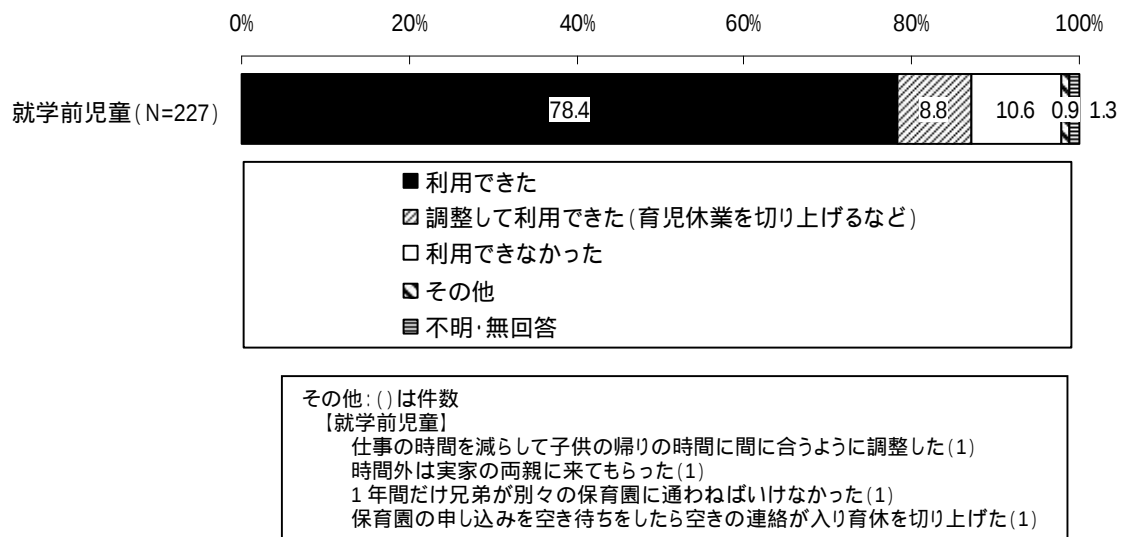
「現在就労している」が 56.4%と最も高くなっています。



希望した時期に希望した保育サービスを利用できたか（単数回答）

【就学前児童 問 1 1 - 4】

「利用できた」が 78.4%と最も高くなっています。



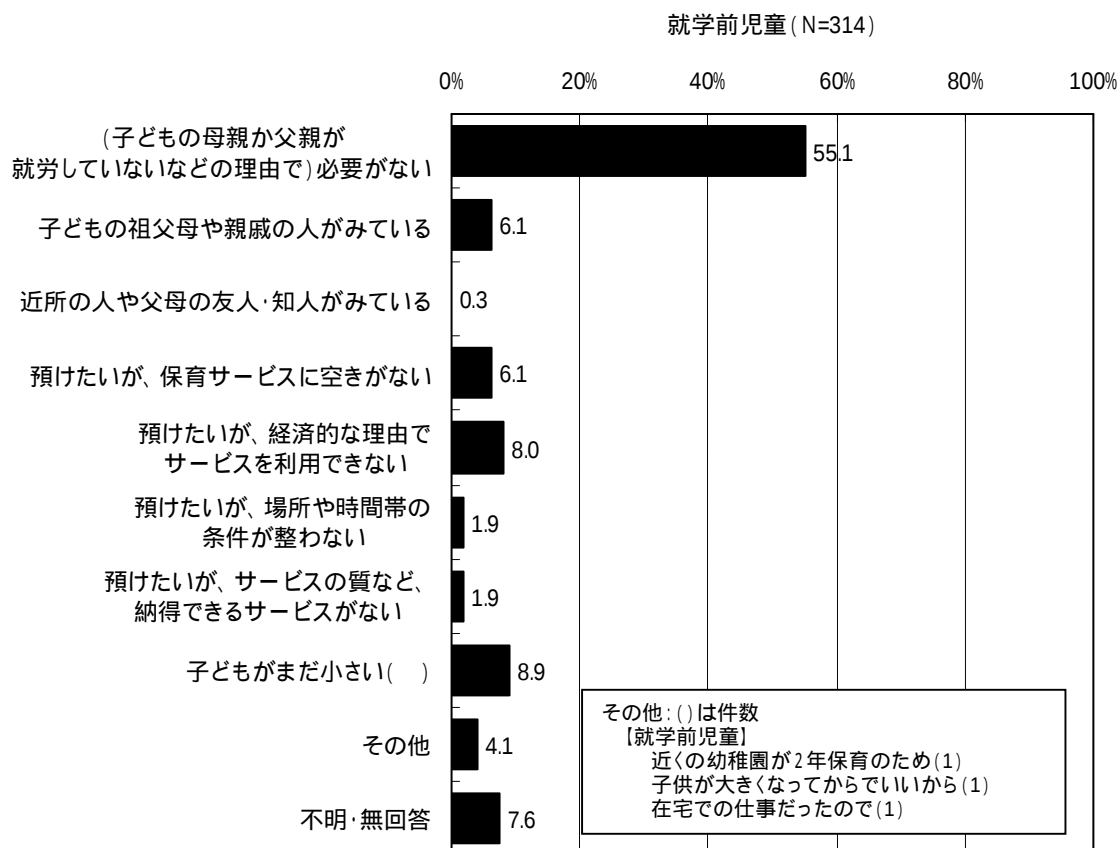
(4) サービスを利用していない理由 (単数回答)

【就学前児童 問 1 1 - 5】

現在保育サービスを利用していないと答えたかたのみ

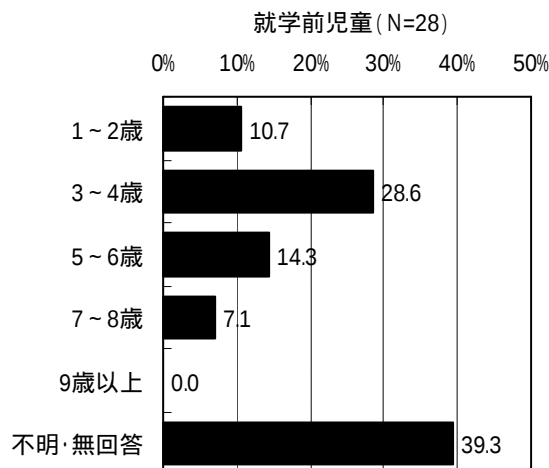
サービスを利用していない理由としては、「(子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 必要がない」が 55.1% と最も高くなっています。

また、「子どもがまだ小さいため」は 8.9% となっており、そのうち、子どもが「3 ~ 4 歳」になったら預けたいとする回答が 28.6% となっています。



() 子どもが何歳になったら預けたいですか (数量回答)

「子どもがまだ小さい」と答えたかたのみ

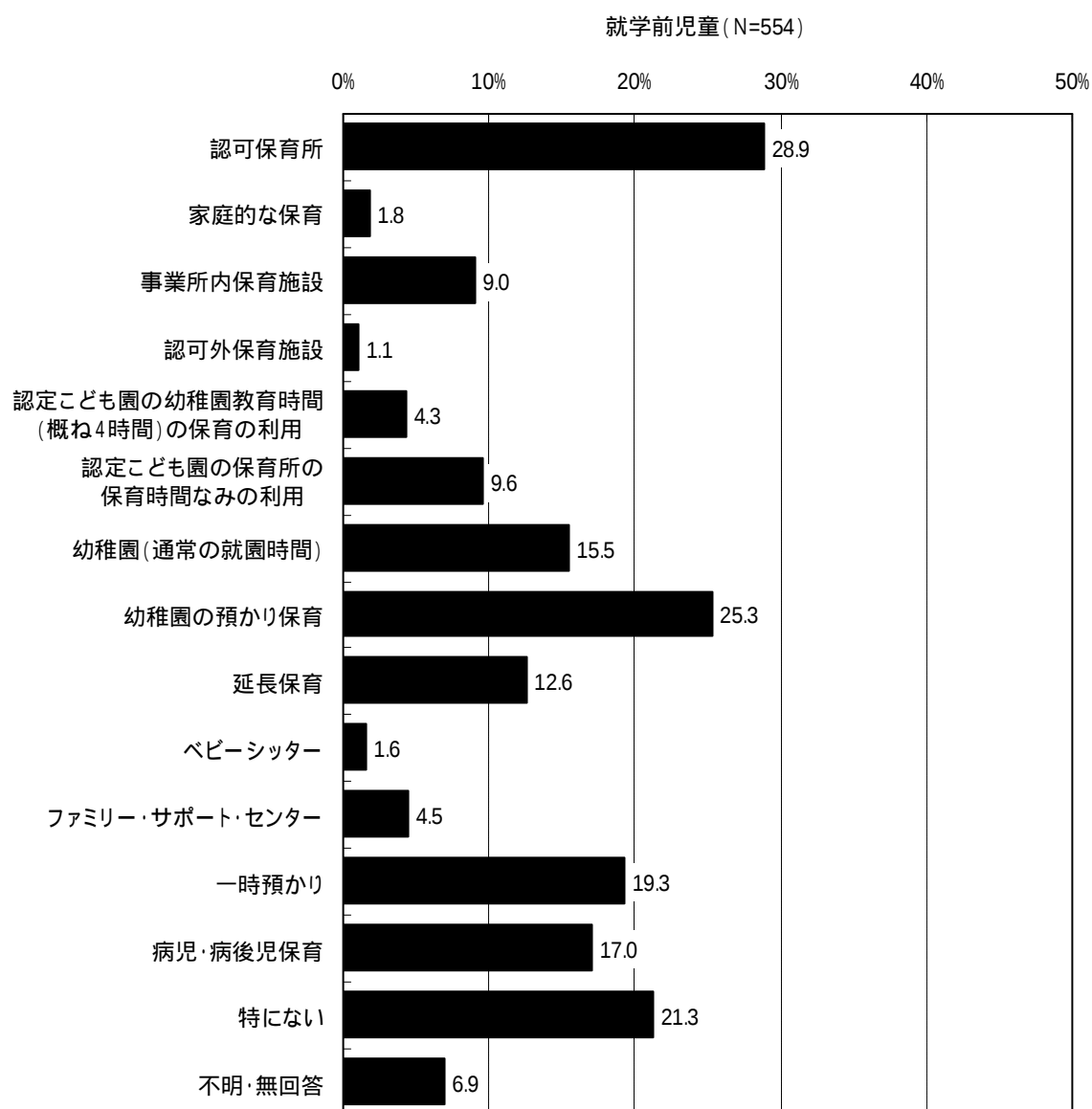


(5) 今後利用したいサービスについて

【就学前児童 問 1 2】

利用したいサービス（複数回答）

今後利用したい、あるいは不足していると思うサービスについては、「認可保育所」が28.9%と最も高く、次いで、「幼稚園の預かり保育」が25.3%となっており、「特にない」が21.3%、「一時預かり」が19.3%となっています。



今後利用したい日数、時間、開始・終了時間

【就学前児童 問12-1】

今後「認可保育所」、「家庭的な保育」、「事業所内保育施設」、「認可外保育施設」、「認定こども園」、「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」、「延長保育」のいずれかを利用したいと答えたかたのみ

今後利用したい日数、時間については、ほとんどのサービスで「5日」、「6～9時間」への割合が高くなっています。

また、希望する開始時間と終了時間は、希望開始時間で人数の多い時間帯は、「8～9時」となっています。希望の終了時間で人数の多い時間帯は、「17～19時」となっています。

ア．利用したい日数（数量回答）

1週当たり 日数	【参考】 合計 回答者の N=503		認可 保育所 N=147		家庭 的な保 育 (保 育 マ マ) N=11		事 業 所 内 保 育 施 設 N=38		認 可 外 保 育 施 設 N=3		利 用 教 育 時 間 の 園 保 育 の 稚 N=19		利 用 所 定 こ ど も 園 並 み の 保 育 N=43		幼 稚 園 N=75		幼 稚 園 の 預 か り 保 育 N=123		延 長 保 育 N=44	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	17	3.4	1	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	10.5	1	2.3	0	0.0	9	7.3	4	9.1
2日	21	4.2	1	0.7	1	9.1	0	0.0	0	0.0	2	10.5	0	0.0	2	2.7	10	8.1	5	11.4
3日	40	8.0	7	4.8	3	27.3	3	7.9	0	0.0	1	5.3	2	4.7	2	2.7	17	13.8	5	11.4
4日	25	5.0	7	4.8	0	0.0	5	13.2	0	0.0	2	10.5	5	11.6	0	0.0	5	4.1	1	2.3
5日	293	58.3	89	60.5	5	45.5	19	50.0	1	33.3	9	47.4	25	58.1	66	88.0	66	53.7	13	29.5
6日	75	14.9	33	22.4	2	18.2	7	18.4	0	0.0	2	10.5	9	20.9	5	6.7	8	6.5	9	20.5
7日	17	3.4	6	4.1	0	0.0	3	7.9	0	0.0	0	0.0	1	2.3	0	0.0	1	0.8	6	13.6
不明・無回答	15	3.0	3	2.0	0	0.0	1	2.6	2	66.7	1	5.3	0	0.0	0	0.0	7	5.7	1	2.3

イ．利用したい時間（数量回答）

1日当たり 時間	合計 【参考】回答者の		認可 保育所		家庭 的な 保育 （ 保育ママ ）		事業 所内 保育 施設		認可 外 保育 施設		利用 認定 こども 園の 保育 の 幼稚園		利用 所の 保育 時間 並み の 保育		幼稚園		幼稚園 の 預 かり 保育		延長 保育	
	N=503		N=147		N=11		N=38		N=3		N=19		N=43		N=75		N=123		N=44	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1時間	5	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	11.4
2時間	13	2.6	0	0.0	1	9.1	0	0.0	0	0.0	1	5.3	0	0.0	1	1.3	1	0.8	9	20.5
3時間	8	1.6	1	0.7	1	9.1	1	2.6	0	0.0	0	0.0	1	2.3	0	0.0	0	0.0	4	9.1
4時間	15	3.0	0	0.0	1	9.1	0	0.0	0	0.0	6	31.6	1	2.3	3	4.0	3	2.4	1	2.3
5時間	39	7.8	9	6.1	1	9.1	0	0.0	0	0.0	3	15.8	2	4.7	12	16.0	12	9.8	0	0.0
6時間	91	18.1	11	7.5	0	0.0	1	2.6	1	33.3	3	15.8	3	7.0	36	48.0	36	29.3	0	0.0
7時間	39	7.8	8	5.4	0	0.0	1	2.6	0	0.0	2	10.5	4	9.3	12	16.0	12	9.8	0	0.0
8時間	75	14.9	37	25.2	2	18.2	15	39.5	0	0.0	0	0.0	9	20.9	6	8.0	6	4.9	0	0.0
9時間	40	8.0	19	12.9	5	45.5	5	13.2	1	33.3	0	0.0	3	7.0	1	1.3	1	0.8	5	11.4
10時間	45	8.9	26	17.7	0	0.0	7	18.4	0	0.0	1	5.3	8	18.6	1	1.3	1	0.8	1	2.3
11時間	23	4.6	13	8.8	0	0.0	1	2.6	0	0.0	0	0.0	4	9.3	0	0.0	0	0.0	5	11.4
12時間以上	40	8.0	19	12.9	0	0.0	4	10.5	0	0.0	2	10.5	7	16.3	0	0.0	0	0.0	8	18.2
不明・無回答	70	13.9	4	2.7	0	0.0	3	7.9	1	33.3	1	5.3	1	2.3	3	4.0	51	41.5	6	13.6

ウ．利用したい開始時間と終了時間（数量回答）

【開始時間】

開始時間	【参考】回答者の 合計		認可保育所		家庭的な保育 (保育ママ)		事業所内保育施設		認可外保育施設		認定こども園の 利用		認定こども園並みの 利用		幼稚園		幼稚園の預かり 保育		延長保育	
	N=503		N=147		N=11		N=38		N=3		N=19		N=43		N=75		N=123		N=44	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
6時	5	1.0	2	1.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.3	0	0.0	0	0.0	2	4.5
7時	41	8.2	20	13.6	0	0.0	3	7.9	0	0.0	1	5.3	8	18.6	0	0.0	3	2.4	6	13.6
8時	104	20.7	49	33.3	2	18.2	10	26.3	2	66.7	1	5.3	11	25.6	7	9.3	15	12.2	7	15.9
9時	242	48.1	68	46.3	6	54.5	22	57.9	0	0.0	11	57.9	21	48.8	64	85.3	45	36.6	5	11.4
10時	13	2.6	5	3.4	2	18.2	1	2.6	0	0.0	3	15.8	1	2.3	1	1.3	0	0.0	0	0.0
11時	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12時	2	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	1.6	0	0.0
13時	2	0.4	1	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.8	0	0.0
14時	15	3.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	5.3	1	2.3	0	0.0	12	9.8	1	2.3
15時	43	8.5	0	0.0	1	9.1	0	0.0	0	0.0	1	5.3	0	0.0	1	1.3	35	28.5	5	11.4
16時	1	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.3
17時以降	14	2.8	0	0.0	0	0.0	1	2.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	2.4	10	22.7
不明・無回答	21	4.2	2	1.4	0	0.0	1	2.6	1	33.3	1	5.3	0	0.0	2	2.7	7	5.7	7	15.9

【終了時間】

終了時間	【参考】回答者の 合計		認可保育所		家庭的な保育 （保育ママ）		事業所内保育施設		認可外保育施設		利用認定こども園の 利用教育時間の育の		利用認定こども園並みの 保育の育の		幼稚園		幼稚園の預かり保育		延長保育		
	N=503		N=147		N=11		N=38		N=3		N=19		N=43		N=75		N=123		N=44		
件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
12時	1	0.2	0	0.0	1	9.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
13時	5	1.0	0	0.0	1	9.1	0	0.0	0	0.0	2	10.5	0	0.0	2	2.7	0	0.0	0	0.0	
14時	29	5.8	5	3.4	0	0.0	2	5.3	0	0.0	6	31.6	2	4.7	13	17.3	1	0.8	0	0.0	
15時	66	13.1	13	8.8	2	18.2	0	0.0	0	0.0	3	15.8	3	7.0	41	54.7	4	3.3	0	0.0	
16時	31	6.2	7	4.8	0	0.0	1	2.6	0	0.0	2	10.5	4	9.3	9	12.0	8	6.5	0	0.0	
17時	147	29.2	45	30.6	4	36.4	15	39.5	1	33.3	1	5.3	9	20.9	8	10.7	56	45.5	8	18.2	
18時	116	23.1	39	26.5	3	27.3	13	34.2	0	0.0	1	5.3	14	32.6	0	0.0	39	31.7	7	15.9	
19時	60	11.9	27	18.4	0	0.0	2	5.3	1	33.3	2	10.5	8	18.6	0	0.0	7	5.7	13	29.5	
20時	21	4.2	7	4.8	0	0.0	2	5.3	0	0.0	1	5.3	1	2.3	0	0.0	3	2.4	7	15.9	
21時	7	1.4	0	0.0	0	0.0	1	2.6	0	0.0	0	0.0	2	4.7	0	0.0	1	0.8	3	6.8	
22時	4	0.8	2	1.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.8	1	2.3	
23時以降	1	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.3	
不明・無回答	15	3.0	2	1.4	0	0.0	2	5.3	1	33.3	1	5.3	0	0.0	2	2.7	3	2.4	4	9.1	

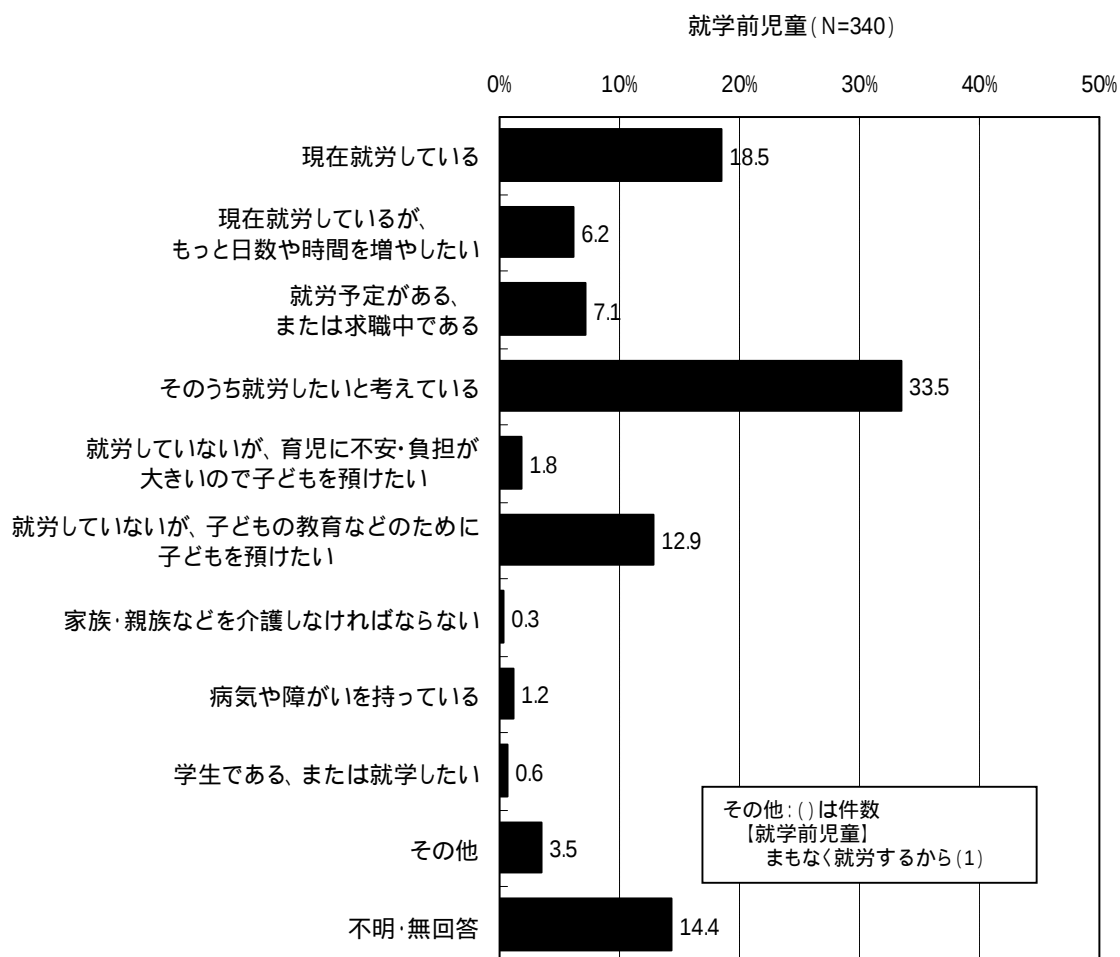
(6) サービスを利用したい理由 (単数回答)

【就学前児童 問 1 2 - 2】

今後「認可保育所」、「家庭的な保育」、「事業所内保育施設」、「認可外保育施設」、「認定こども園」、「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」、「延長保育」のいずれかを利用したいと答えたかたのみ

サービスを利用したい理由としては、「そのうち就労したいと考えている」が 33.5%と最も高くなっています。

そのほかでは、「現在就労している」が 18.5%、「就労していないが、子どもの教育などのために子どもを預けたい」が 12.9%と、1 割以上の項目となっています。



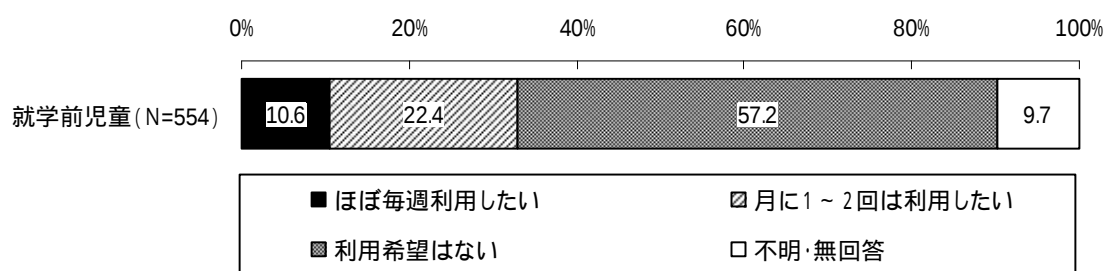
4 土日の保育サービスについて

（就学前児童）

（１）土曜日の保育サービスの利用希望（単数回答）

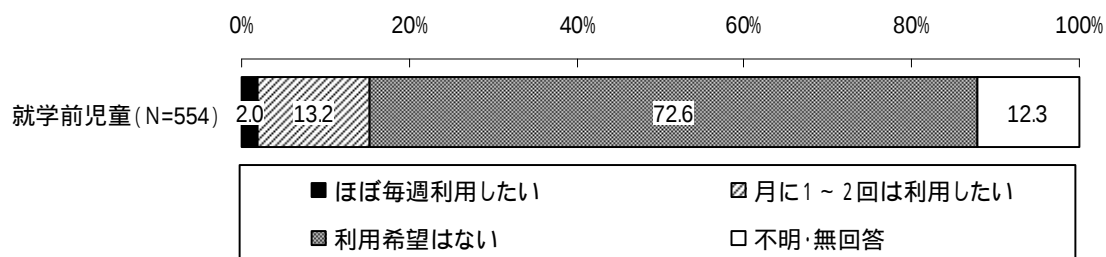
【就学前児童 問１３】

土曜日の保育サービスの利用希望については、10.6%が「ほぼ毎週利用したい」、22.4%が「月に1～2回は利用したい」となっていますが、「利用希望はない」が57.2%と高くなっています。



（２）日曜・祝日の保育サービスの利用希望（単数回答）

日曜・祝日の保育サービスの利用希望については、2.0%が「ほぼ毎週利用したい」、13.2%が「月に1～2回は利用したい」となっていますが、「利用希望はない」が72.6%と高くなっています。



(3) 土曜、日曜・祝日に利用したい時間帯（数量回答）

利用希望時間については、土・日・祝ともに開始時間は「8～9時」への割合が高く、土曜日の終了時間は「17時」が高くなっています。日・祝日の終了時間は「14時」が1人となっています。

【土曜日】

〔開始時間〕

利用したい時間帯 N=183	件数	%
6時	0	0.0
7時	2	1.1
8時	15	8.2
9時	29	15.8
10時	3	1.6
11時以降	0	0.0
不明・無回答	134	73.2

〔終了時間〕

利用したい時間帯 N=183	件数	%
12時まで	3	1.6
13時	1	0.5
14時	1	0.5
15時	4	2.2
16時	1	0.5
17時	25	13.1
18時	7	3.8
19時	5	2.7
20時	0	0.0
21時	1	0.5
22時以降	1	0.5
不明・無回答	134	73.2

【日・祝日】

〔開始時間〕

利用したい時間帯 N=84	件数	%
6時まで	0	0.0
7時	7	8.3
8時	28	33.3
9時	39	46.4
10時	8	9.5
11時	0	0.0
12時	1	1.2
13時以降	0	0.0
不明・無回答	1	1.2

〔終了時間〕

利用したい時間帯 N=84	件数	%
14時	1	1.2
不明・無回答	83	98.8

5 放課後児童クラブについて

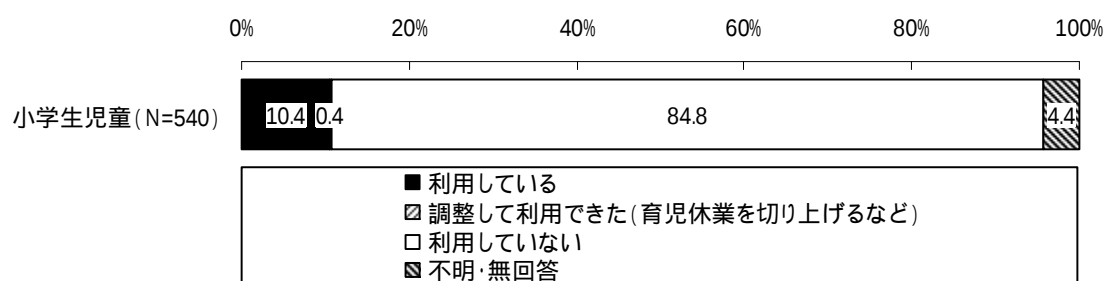
(小学生児童)

放課後児童クラブ...地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下で、子ども(概ね10歳未満)の生活の場を提供するものです。「放課後子ども教室」と連携して実施されている場合があります。

(1) 放課後児童クラブの利用の有無(単数回答)

【小学生児童 問10】

放課後児童クラブの利用については、10.4%が「利用している」となっており、84.8%が「利用していない」となっています。



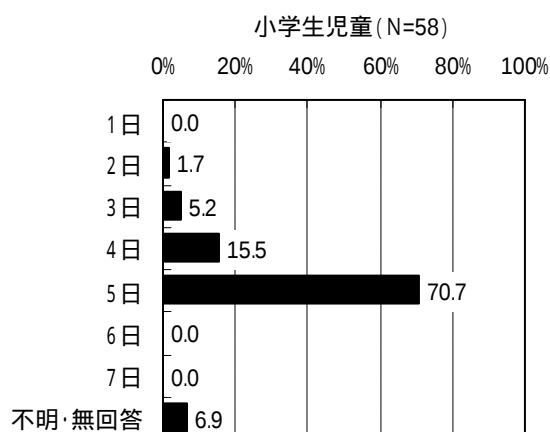
(2) 利用しているかたへの質問

放課後児童クラブを利用している日数(数量回答)

【小学生児童 問10-1】

放課後児童クラブを「利用している」または「調整して利用できた」と答えたかたのみ

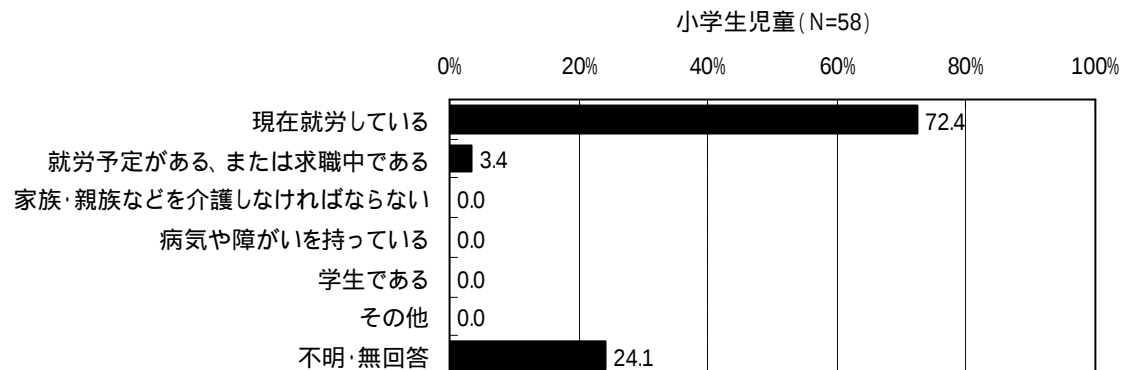
放課後児童クラブを利用している日数は「5日」が最も高くなっています。



放課後児童クラブを利用している理由（単数回答）

放課後児童クラブを「利用している」または「調整して利用できた」と答えたかたのみ

放課後児童クラブを利用している理由としては、「現在就労している」が72.4%と最も高くなっています。

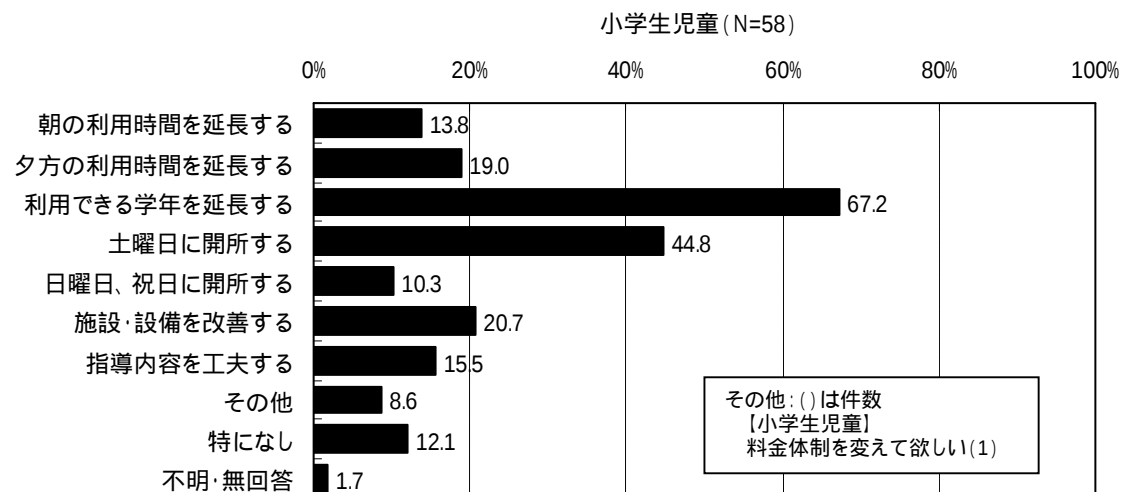


放課後児童クラブに希望すること（複数回答）

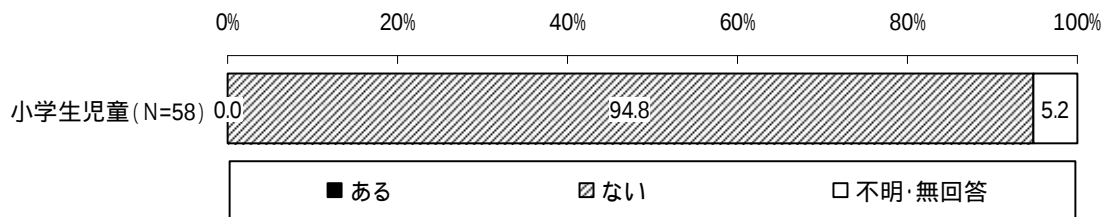
【小学生児童 問10-3】

放課後児童クラブを「利用している」または「調整して利用できた」と答えたかたのみ

放課後児童クラブに希望することとしては、「利用できる学年を延長する」が67.2%と最も高くなっています。次いで「土曜日に開所する」が44.8%となっています。



【放課後児童クラブの土・日曜日の利用について】(単数回答)

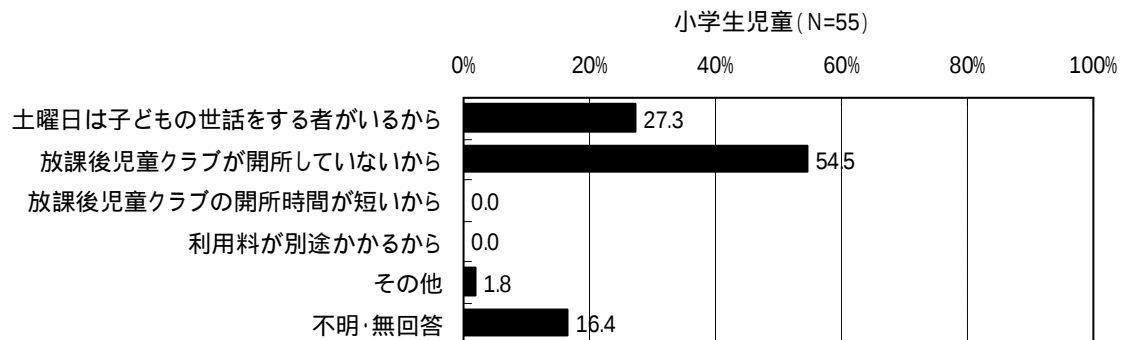


藤井寺市では、アンケート調査時点で土・日曜日の利用サービスは実施していませんでした。なお、平成21年4月から第3土曜日の利用を試行的に実施しています。

【土曜日に放課後児童クラブを利用していない理由】(単数回答)

【小学生児童 問10-2】

土曜日に放課後児童クラブを「利用していない」と答えたかたのみ



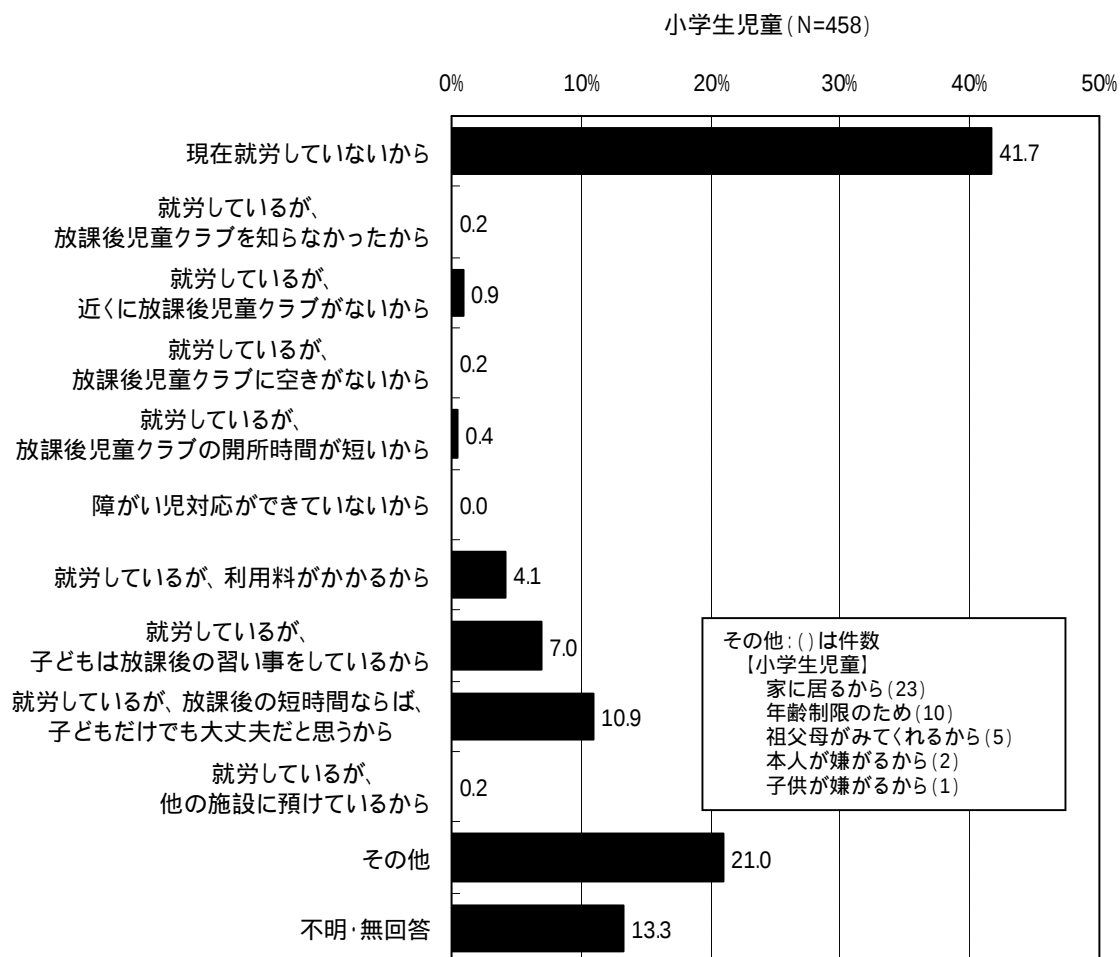
(3) 利用していない方への質問

放課後児童クラブを利用していない理由（単数回答）

【小学生児童 問 1 0 - 4 】

放課後児童クラブを「利用していない」と答えたかたのみ

放課後児童クラブを利用していない理由としては、「現在就労していないから」が 41.7 % と最も高くなっています。

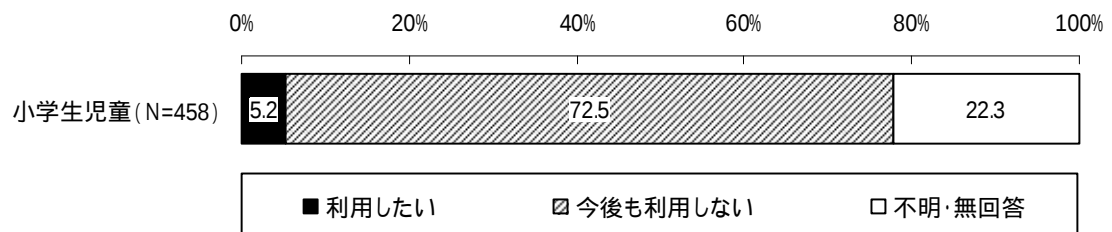


今後の放課後児童クラブの利用希望（単数回答）

【小学生児童 問10-5】

放課後児童クラブを「利用していない」と答えたかたのみ

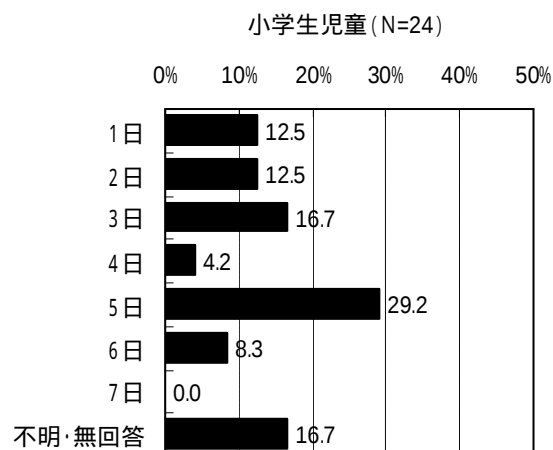
現在利用していないかたの放課後児童クラブの利用希望については、5.2%が「利用したい」となっています。



- 1 放課後児童クラブを利用したい日数（数量回答）

放課後児童クラブを今後利用したいと答えたかたのみ

利用したい日数は「5日」が29.2%(7人)と、高くなっており、次いで「3日」が16.7%(4人)となっています。

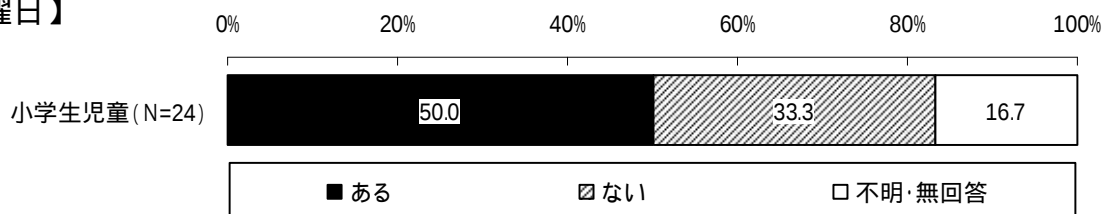


- 2 放課後児童クラブの土・日曜日の利用希望（単数回答）

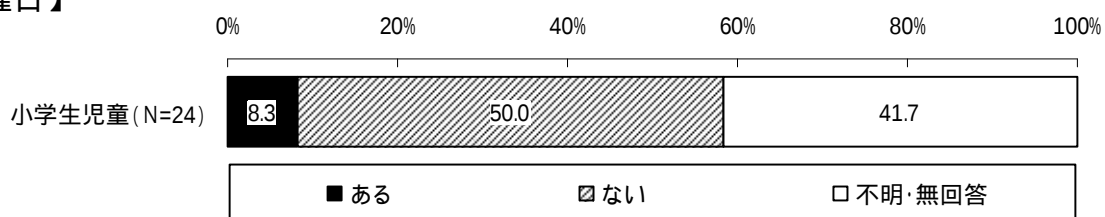
放課後児童クラブを今後利用したいと答えたかたのみ

今後、放課後児童クラブを利用したいと回答したかたのうち、「ある」が土曜日の利用希望は、50.0%（12人）日曜日は8.3%（2人）となっています。

【土曜日】



【日曜日】

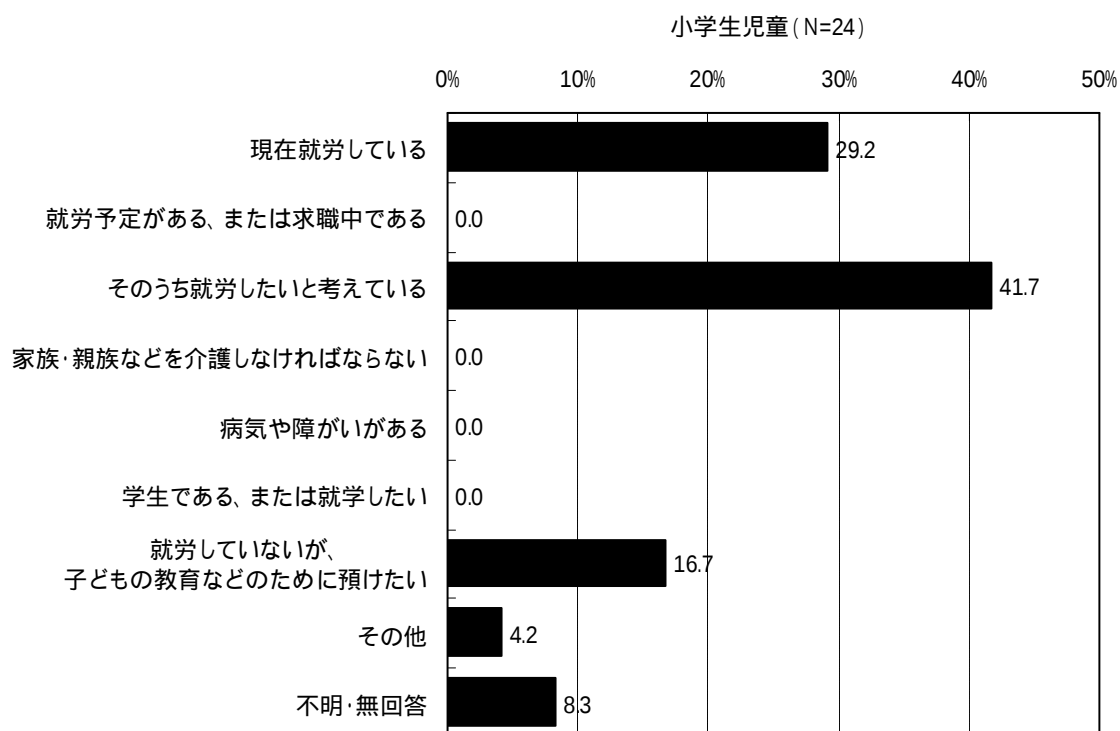


- 3 放課後児童クラブを利用したい理由（単数回答）

【小学生児童 問10-6】

放課後児童クラブを今後利用したいと答えたかたのみ

「そのうち就労したいと考えている」が41.7%（10人）と最も高く、次いで「現在就労している」が29.2%（7人）となっています。

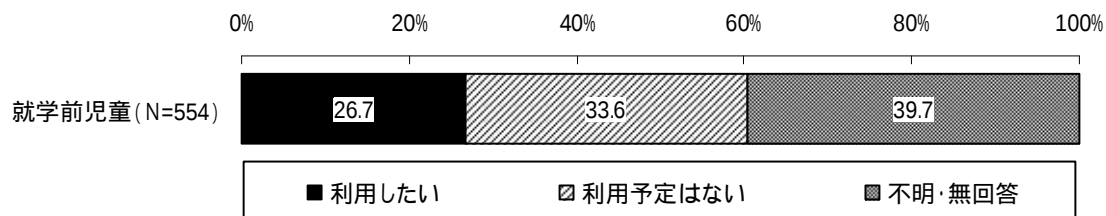


【就学前児童のみ】

(3) - 1 子どもが小学生になった際の放課後児童クラブの利用希望（単数回答）

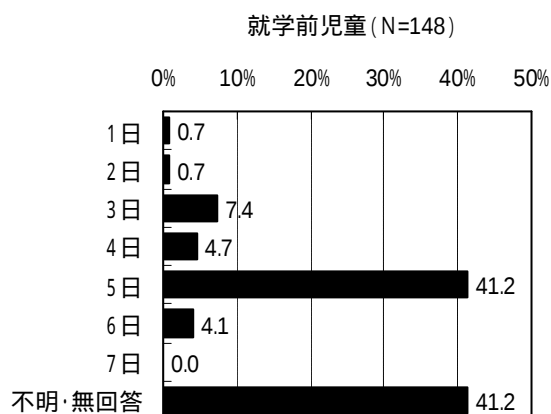
【就学前児童 問17】

就学前の子どもが小学生になった場合、放課後児童クラブの利用については、「利用したい」が26.7%、「利用予定はない」が33.6%となっています。



【放課後児童クラブを利用したい日数】（数量回答）

放課後児童クラブを利用したいと選んだかたで、利用したい週あたりの日数については、「5日」が41.2%と最も高くなっています。

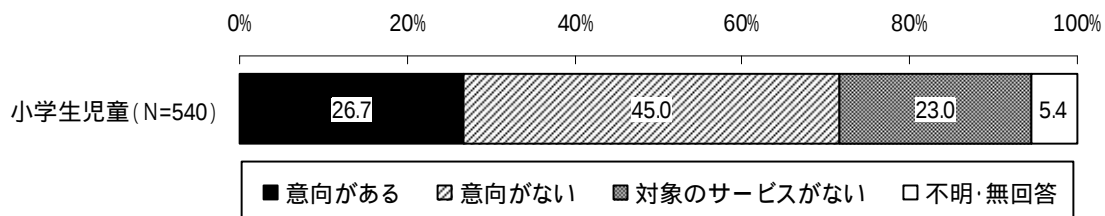


(4) 放課後子ども教室の利用意向 (単数回答)

放課後子ども教室...すべての子どもを対象として、安心・安全な子どもの居場所を提供し、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の取り組みをするものです。

【小学生児童 問 1 0 - 7 】

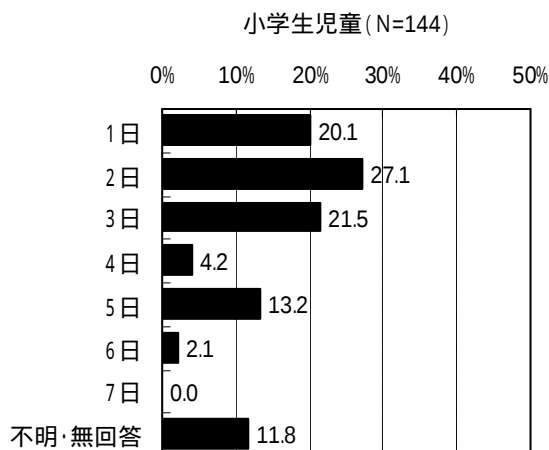
放課後子ども教室の利用意向について、「意向がある」が 26.7%となっています。



【放課後子ども教室を利用したい日数】(数量回答)

放課後子ども教室の利用意向があると答えたかたのみ

放課後児童クラブを利用したい日数は「2日」が 27.1%と、高くなっており、次いで「3日」が 21.5%、「1日」が 20.1%となっています。

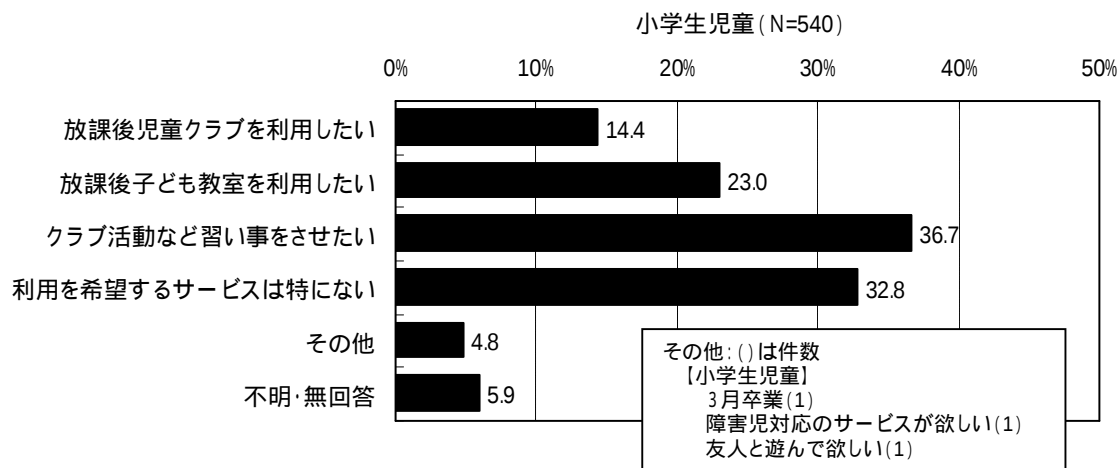


(5) 小学 4 年生以降の放課後の望ましい過ごし方 (複数回答)

【小学生児童 問 1 0 - 8 】

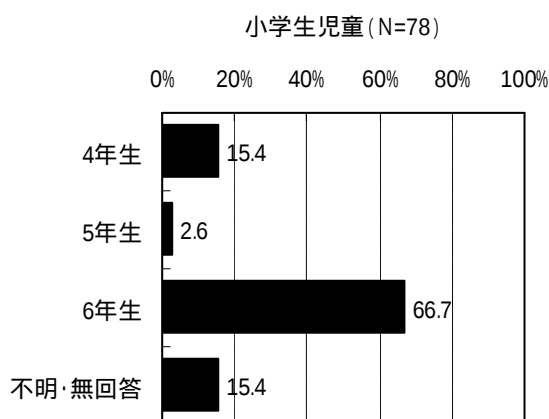
小学 4 年生以降の放課後の過ごし方として望ましいものは、「クラブ活動など習い事をさせたい」が 36.7%、「利用を希望するサービスは特にない」が 32.8%で高くなっています。

「放課後児童クラブを利用したい」については 14.4%となっています。



【放課後児童クラブを利用する際の学年の上限】 (数量回答)

小学 4 年生以降の子どもの過ごし方で、「放課後児童クラブを利用したい」を選んだかたで、利用したい学年の上限については、「6 年生」まで利用したいと回答した割合が 66.7%となっています。

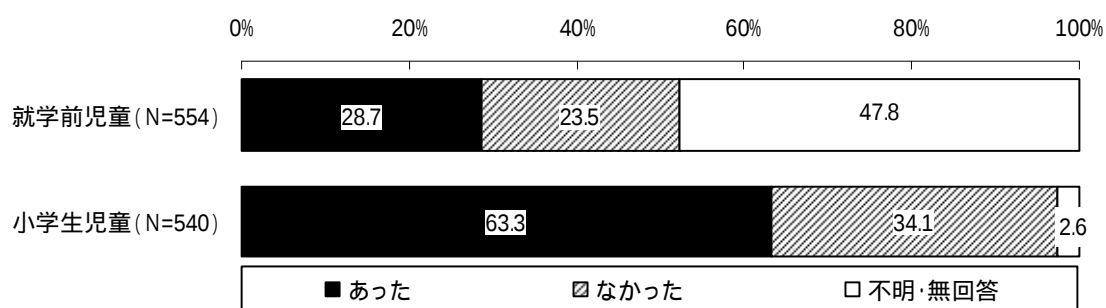


6 病児・病後児保育について

(1) この1年間に、子どもが病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかったことや学校を休まなければならなかった経験の有無（単数回答）

【就学前児童 問14：小学生児童 問11】

病気やケガで保育サービスが利用できなかったことや学校を休まなければならなかった経験の有無についてみると、「あった」が就学前児童 28.7%、小学生児童 63.3%となっています。



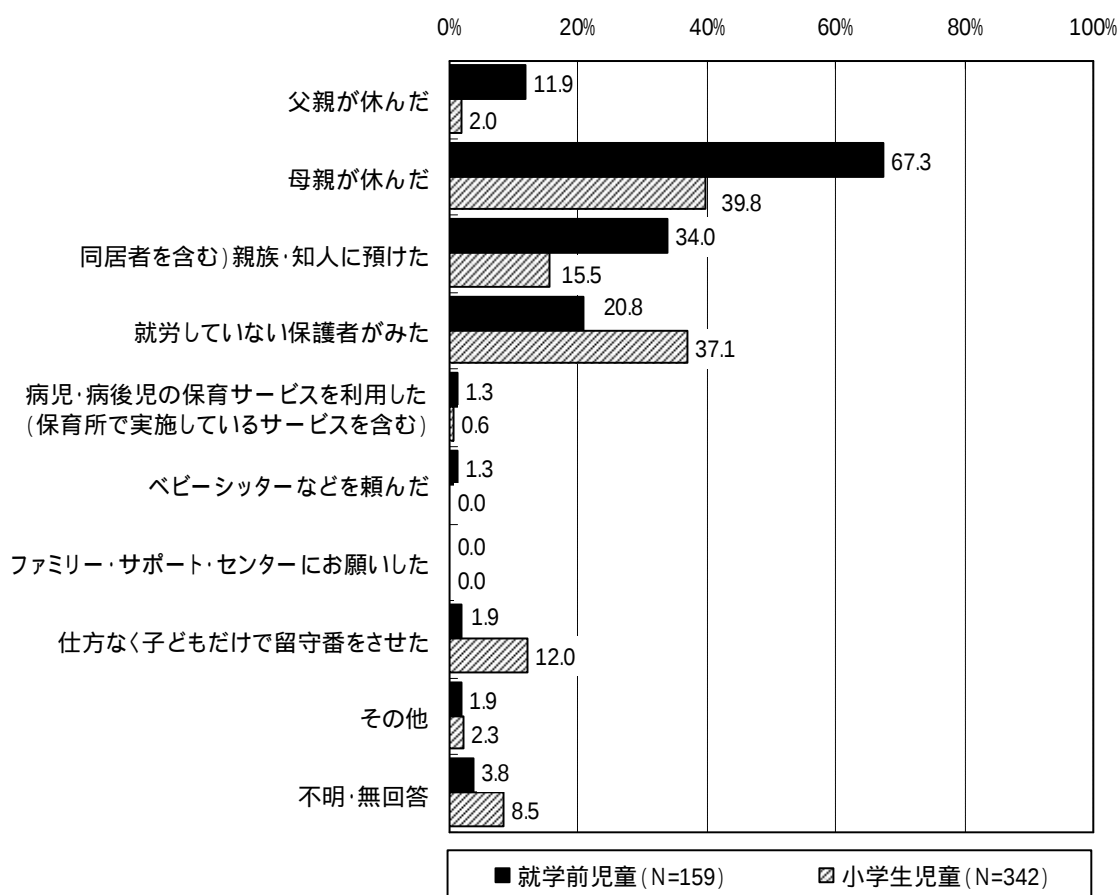
(2) この１年間で、子どもの病気・ケガにより通常の保育サービスが利用できなかった、学校を休んだ、放課後児童クラブなどを利用できなかった場合の状況について（複数回答）

【就学前児童 問１４-１：小学生児童 問１１-１】

* 「あった」を選択したかたのみ

対処方法

対処方法についてみると、「母親が休んだ」が就学前児童 67.3%、小学生児童 39.8%と、ともに最も高くなっています。



各対応日数（数量回答）

* 「あった」を選択したかたのみ

対処方法それぞれの対応日数をみると、『父親が休んだ』『母親が休んだ』『就労していない保護者がみた』では「1日」～「3日」程度が高くなっている小学生児童に比べ、就学前児童では「1週間以上」が高くなっており、長期間の対応が必要となっています。

対応日数	父が休んだ		母が休んだ		親族・知人に預けた		就労していない保護者がみた		病児・病後児の保育サービスを利用した		ベビーシッターなどを頼んだ		ファミリー・サポート・センターにお願いした		仕方なく子どもだけで留守番させた		その他	
	就学前	小学生	就学前	小学生	就学前	小学生	就学前	小学生	就学前	小学生	就学前	小学生	就学前	小学生	就学前	小学生	就学前	小学生
	N=19	N=7	N=107	N=136	N=54	N=53	N=33	N=127	N=2	N=2	N=2	N=0	N=0	N=0	N=3	N=41	N=3	N=8
	件数		件数		件数		件数		件数		件数		件数		件数		件数	
1日	4	4	9	39	6	12	0	15	1	1	0	-	-	-	3	15	1	2
2日	4	2	11	30	7	15	3	9	1	0	1	-	-	-	0	8	1	1
3日	2	0	15	18	10	13	4	10	0	0	0	-	-	-	0	6	0	2
4日	0	0	3	10	2	1	4	3	0	0	0	-	-	-	0	1	0	0
5日	6	0	12	9	8	2	7	5	0	1	1	-	-	-	0	1	0	0
6日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0
1週間以上	1	0	24	6	14	2	10	8	0	0	0	-	-	-	0	1	1	0
2週間以上	0	0	16	3	4	1	1	2	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0
1ヶ月間以上	1	0	5	0	0	0	2	0	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0
2ヶ月間以上	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0
3ヶ月間以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0
不明・無回答	1	1	11	19	3	7	2	75	0	0	0	-	-	-	0	9	0	3

（３）（２）の対処をした際の状況について

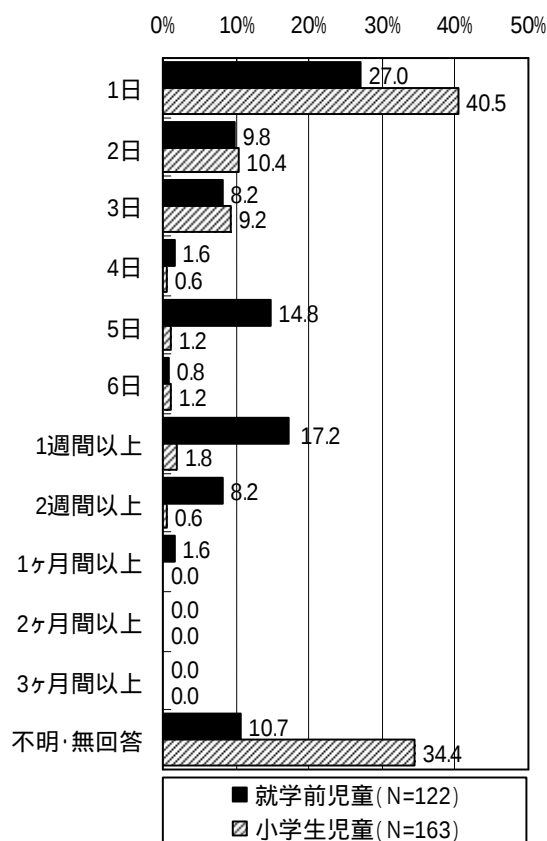
できれば施設に預けたいと思った日数はどれくらいあるか（数量回答）

【就学前児童 問14-2：小学生児童 問11-2】

* 「父親が休んだ」「母親が休んだ」「（同居者を含む）親族・知人に預けた」と答えたかたのみ

小学生児童では「1～2日」で約5割を占めています。

就学前児童では「1～3日」の日数で4割を超えています。

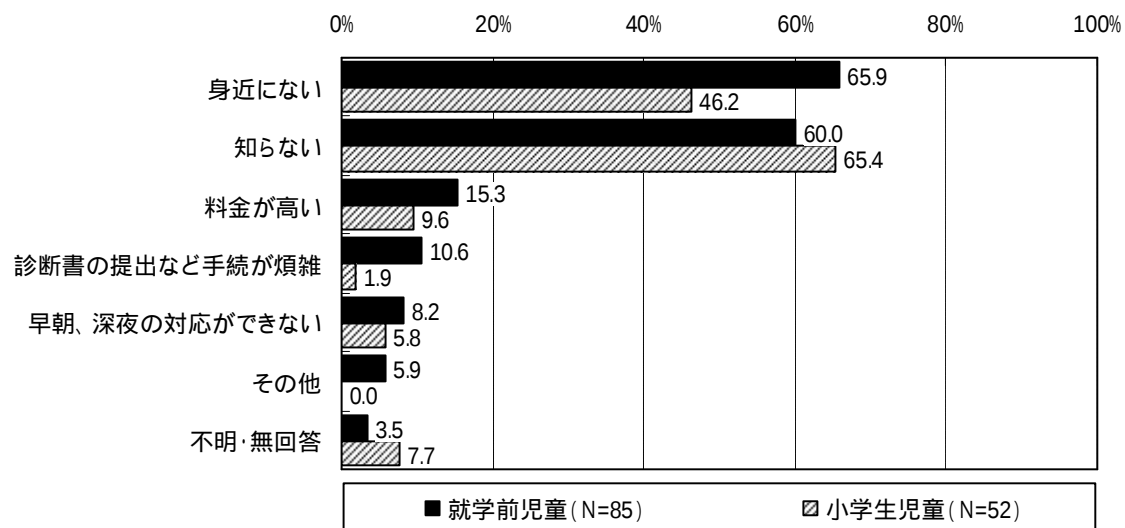


病児・病後児保育サービスを利用しなかった理由（複数回答）

【就学前児童 問１４-３：小学生児童 問１１-３】

* できれば病児・病後児保育サービスなどを利用したいと答えたかたのみ

病児・病後児保育サービスを利用しなかった理由についてみると、「身近にない」が就学前児童 65.9%、小学生児童 46.2%、「知らない」が就学前児童 60.0%、小学生児童 65.4%と、ともに最も高くなっています。

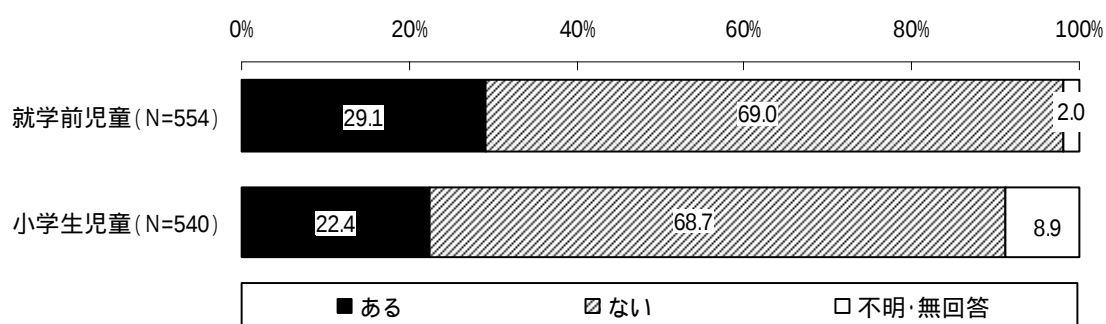


7 一時的な預かりについて

(1) この1年間で、私用やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けた経験の有無
(単数回答)

【就学前児童 問15：小学生児童 問12】

子どもを一時的に預けた経験についてみると、「ある」が就学前児童で29.1%、小学生児童で22.4%となっています。

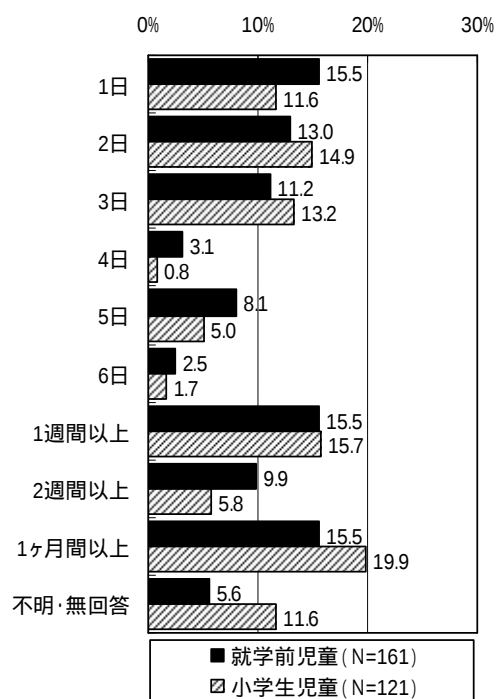


(2) 一時的な預かりがあった場合の理由別の対処日数 (数量回答)

* 「ある」と答えたかたのみ

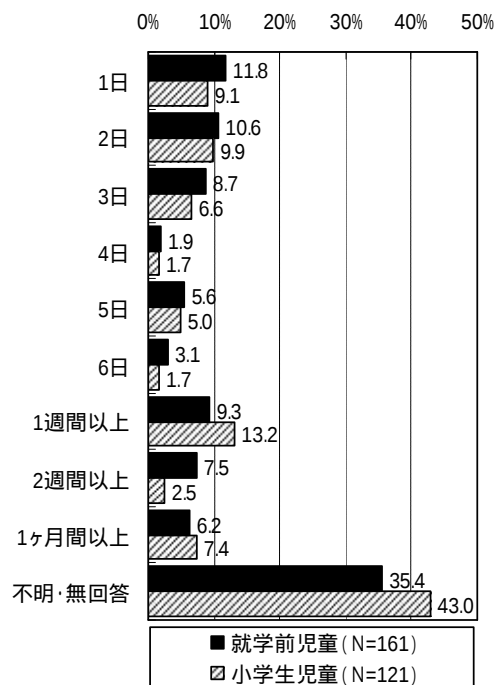
一時的に預けた際のそれぞれの対処日数をみると、『年間』では「1日」～「3日」、「1週間以上」、「1ヶ月以上」の項目が高くなっています。また、理由種別でみる『私用』、『就労』ともに「1週間以上」の長期間にわたる割合が比較的高くなっています。

【年間】

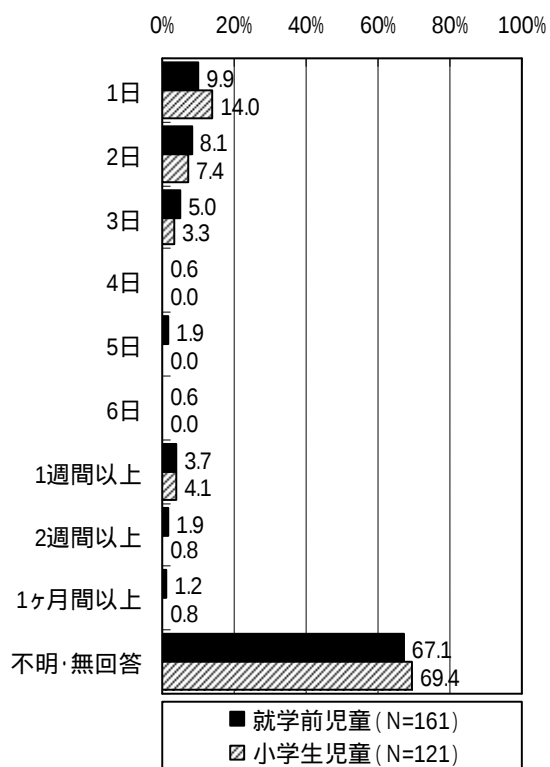


【理由種別】

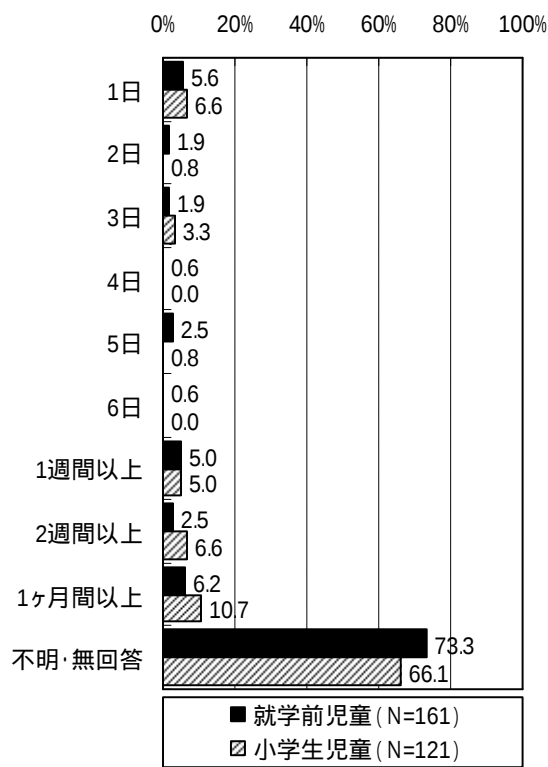
私用 (買い物、習い事) リフレッシュ目的



冠婚葬祭、子どもの親の病気



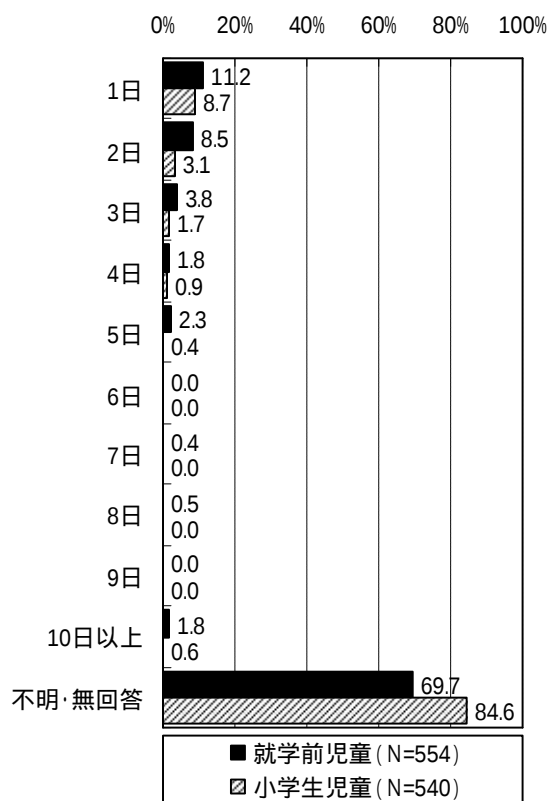
就労



(3) 預けられるところがあれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思うか(数量回答)

【就学前児童 問15-1：小学生児童 問12-1】

預けられるところがあれば利用したいと思った日数はどれくらいあるかについてみると、就学前児童、小学生児童ともに「1～3日」が比較的高くなっています。

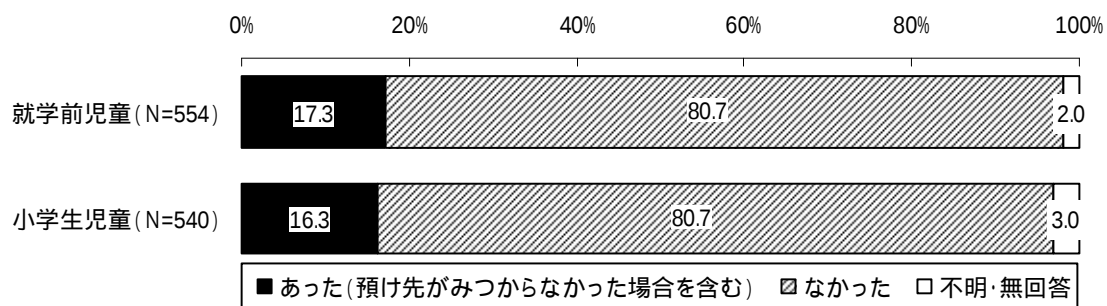


8 宿泊を伴う一時的な預かりについて

(1) この 1 年間に、保護者の用事などにより子どもを泊まりがけで家族以外に預けなければならなかった経験の有無 (単数回答)

【就学前児童 問 1 6 : 小学生児童 問 1 3】

子どもを泊りがけで一時的に預けた経験の有無についてみると、「あった」が就学前児童で 17.3%、小学生児童が 16.3%となっています。



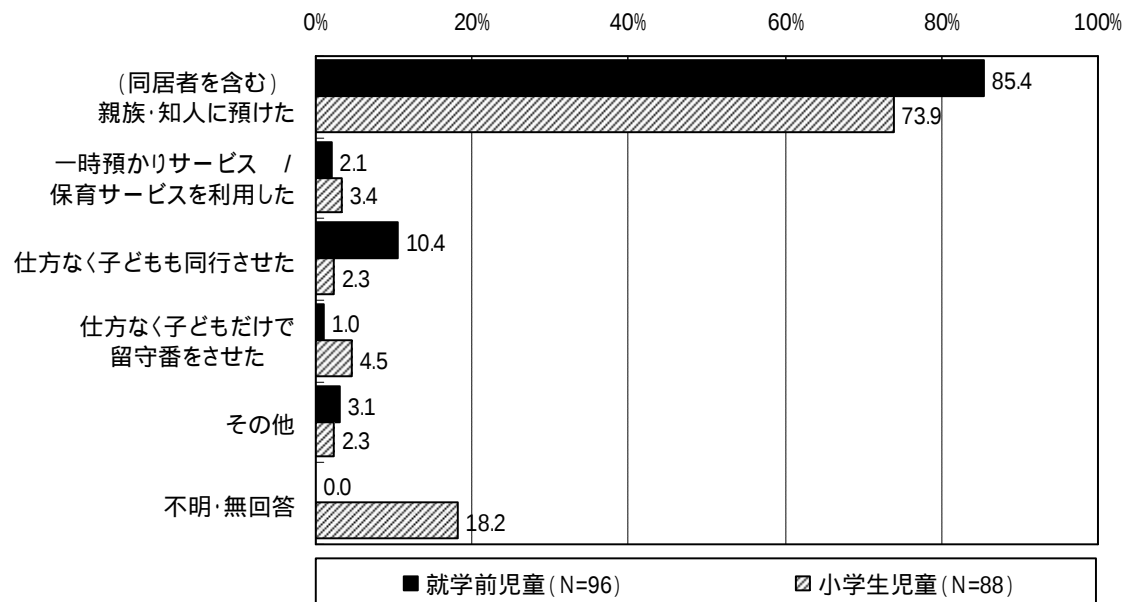
(2) あった際の状況について

この1年間の対処方法（複数回答）

【就学前児童 問16-1：小学生児童 問13-1】

*「あった」と答えたかたのみ

子どもを泊りがけで一時的に預けた際の対処についてみると、「(同居人を含む)親族・知人に預けた」が就学前児童では85.4%、小学生児童では73.9%とともに最も高くなっています。



ショートステイ事業を実施している施設、認可外保育施設、ベビーシッターなど

- ショートステイ 保護者の疾病・冠婚葬祭等の事由により、家庭で養育が一時的に困難な児童を児童養護施設等で保護・養育

その際の泊数（数量回答）

*「あった」と答えたかたのみ

子どもを泊りがけで一時的に預けた際の日数をみると、『（同居人を含む）親族・知人に預けた』では、就学前児童、小学生児童ともに「1泊」の項目が高くなっています。

【（同居人を含む）親族・知人に預けた】

回答状況は右図参照

【保育サービスを利用した】

就学前児童は回答なし

小学生児童で回答した1人は「1週間以上」

【仕方なく子どもを同行させた】

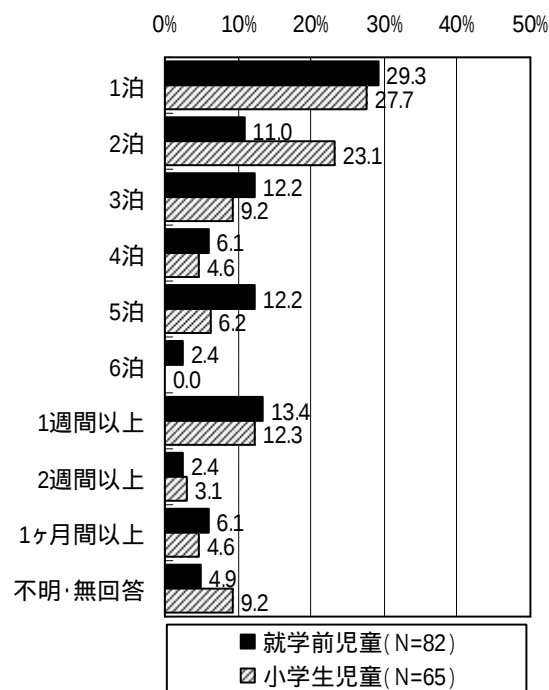
就学前児童では「2泊」が3人、「1泊」・「3泊」がともに1人

小学生児童では「1泊」が1人

【仕方なく子どもだけで留守番させた】

就学前児童では無回答

小学生児童では「2泊」・「3泊」・「5泊」がともに1人



【その他】

就学前児童では「1泊」が2人、「2泊」が1人

小学生児童では無回答

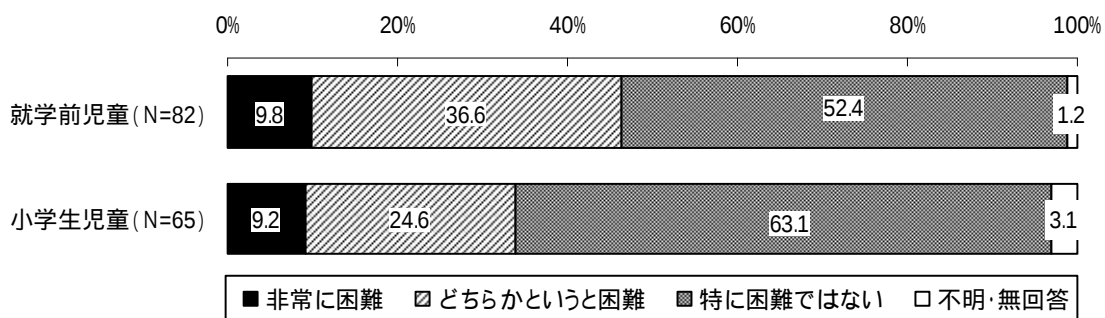
その場合の困難度（単数回答）

【就学前児童 問１６-２：小学生児童 問１３-２】

* 「（同居者を含む）親族・知人に預けた」と答えたかたのみ

『（同居者を含む）親族・知人に預けた』場合の困難度についてみると、就学前児童、小学生児童ともに「特に困難ではない」が５２．４％、と６３．１％とそれぞれ最も高くなっています。

小学生児童よりも就学前児童において『困難』だと感じている割合が高い傾向にあります。



9 ベビーシッターについて

(1) ベビーシッターの利用状況

利用している目的（複数回答）

【就学前児童 問18：小学生児童 問14】

*「ベビーシッターを利用している人」のみ

就学前児童は6人の回答で、4人は「保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）」、1人は「子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している」、1人は「親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している」に回答がありました。

小学生児童は1人の回答で、「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している」に回答がありました。

利用頻度（数量回答）

【就学前児童 問18-1：小学生児童 問14-1】

*「ベビーシッターを利用している人」のみ

就学前児童で3人、月に「2日」、「5日」、「8日」にそれぞれ1人回答がありました。

小学生児童で1人、月に「8日」に回答がありました。

1回あたりの利用時間は就学前児童では「1時間」に1人、小学校児童では「2時間」に1人回答がありました。

(回答のみ)		
	就学前	小学生
	N=7	N=11
	件数	
2日	1	0
5日	1	0
8日	1	1
不明・無回答	4	10

(2) 今後のベビーシッターの利用意向（数量回答）

【小学生児童 問14-2】

*小学生児童のみ

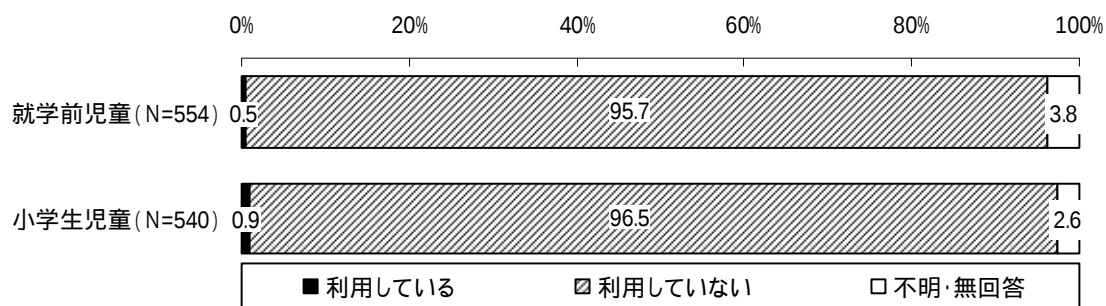
小学生児童で回答した17人のうち、月に「1日」は13人、「2日」は2人、「3日」、「8日」は1人、それぞれ回答がありました。

10 ファミリーサポートセンターについて

(1) ファミリーサポートセンターの利用の有無（単数回答）

【就学前児童 問19：小学生児童 問15】

ファミリーサポートセンターの利用の有無についてみると、「利用している」は就学前児童、小学生児童ともに1割未満となっており、「利用していない」が就学前児童、小学生児童ともに9割を超えています。



(2) 利用状況について

利用目的（複数回答）

【就学前児童 問19-1：小学生児童 問15-1】

* 「利用している」と答えたかたのみ

ファミリーサポートセンターの利用目的では、就学前児童は「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している」が1人、小学生児童は「主たる預かりサービスとして利用している」「学校等の送り迎えに利用している」がそれぞれ1人となっています。

現在の利用頻度（数量回答）

【就学前児童 問19-2：小学生児童 問15-2】

* 「利用している」と答えたかたのみ

現在の利用頻度は就学前児童での利用日数は「1日」に1人、時間では「1時間」に1人、回答がありました。

小学生児童での利用日数は「20日～29日」に2人、時間では「1時間」に2人、「2時間」に1人、回答がありました。

希望利用頻度（数量回答）

【就学前児童 問19-3：小学生児童 問15-3】

*「利用している」と答えたかたのみ

現在、ファミリーサポートセンターを利用しているかたの今後の希望利用頻度については、就学前児童で、月に「1日」、「1時間」に1人回答がありました。（小学生児童は回答なし）

（3） 今後、利用してみたいかたの希望利用頻度（数量回答）

【就学前児童 問19-4：小学生児童 問15-4】

*「利用していない」と答えたかたのみ

現在、ファミリーサポートセンターを利用していないかたの今後の希望利用頻度については、就学前児童、小学生児童ともに、月に「1日」が最も多くなっています。

1回あたりの時間については「1時間」～「3時間」への割合が高くなっています。

【月あたりの利用希望日数】

（回答のみ）

	就学前 N=530	小学生 N=521
	件数	
1日	16	40
2日	11	4
3日	7	0
4日	10	5
5日	8	0
8日	1	1
10日～19日	3	0
20日～29日	1	0
不明・無回答	473	471

【1回あたりの利用希望時間】

	就学前 N=530	小学生 N=521
	件数	
1時間	3	14
2時間	10	5
3時間	15	10
4時間	4	2
5時間	13	2
6時間	5	2
7時間	1	0
8時間	2	0
9時間	1	0
10時間	0	1
11時間	0	0
12時間以上	1	1
不明・無回答	475	484

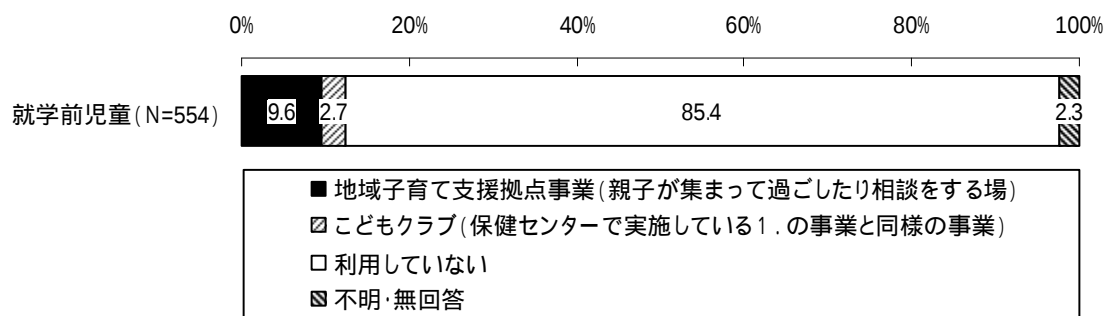
11 地域の子育て支援拠点事業について

(就学前児童)

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況 (単数回答)

【就学前児童 問20】

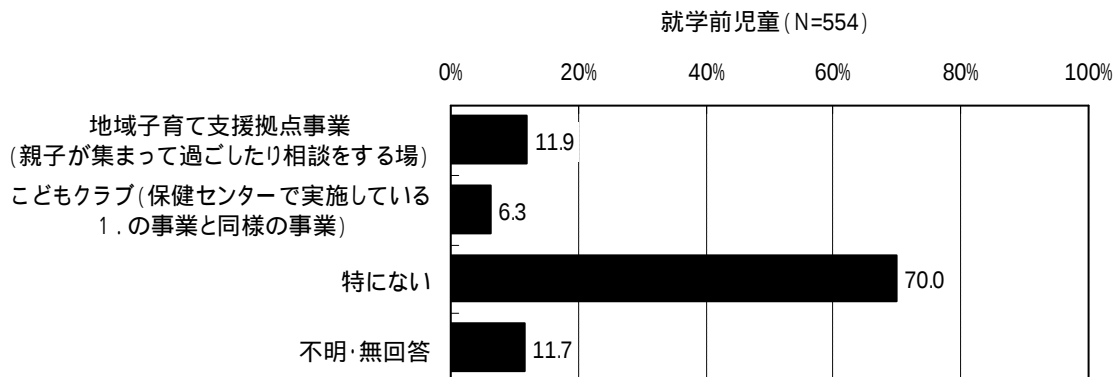
地域子育て支援拠点事業の利用状況についてみると、「地域子育て支援拠点事業」を利用しているかたが 9.6%、「こどもクラブ」を利用しているかたが 2.7%となっています。



(2) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向 (単数回答)

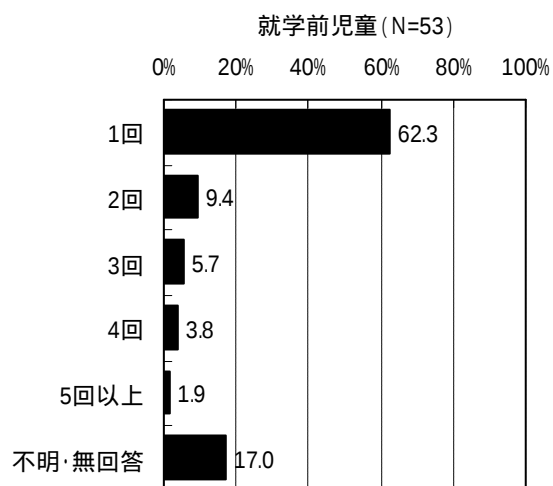
【就学前児童 問20-1】

地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向についてみると、「地域子育て支援拠点事業」を利用したいかたが 11.9%、「こどもクラブ」を利用したいかたが 6.3%となっています。

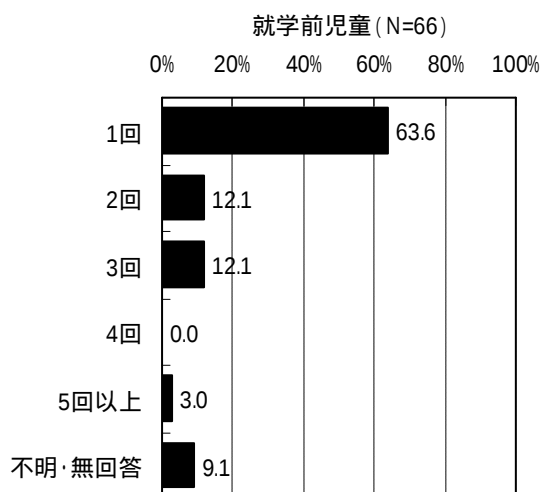


(3) 地域子育て支援事業の1週あたりの利用回数・今後の希望(数量回答)

【利用しているかたの利用回数】

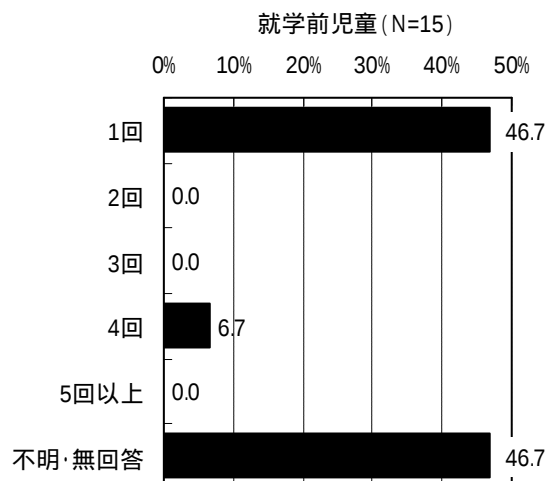


【利用したいかたの希望回数】

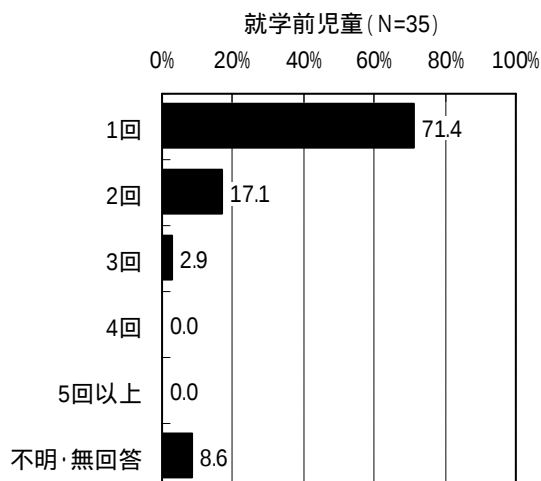


(4) こどもクラブの1週あたりの利用回数・今後の希望(数量回答)

【利用しているかたの利用回数】



【利用したいかたの希望回数】

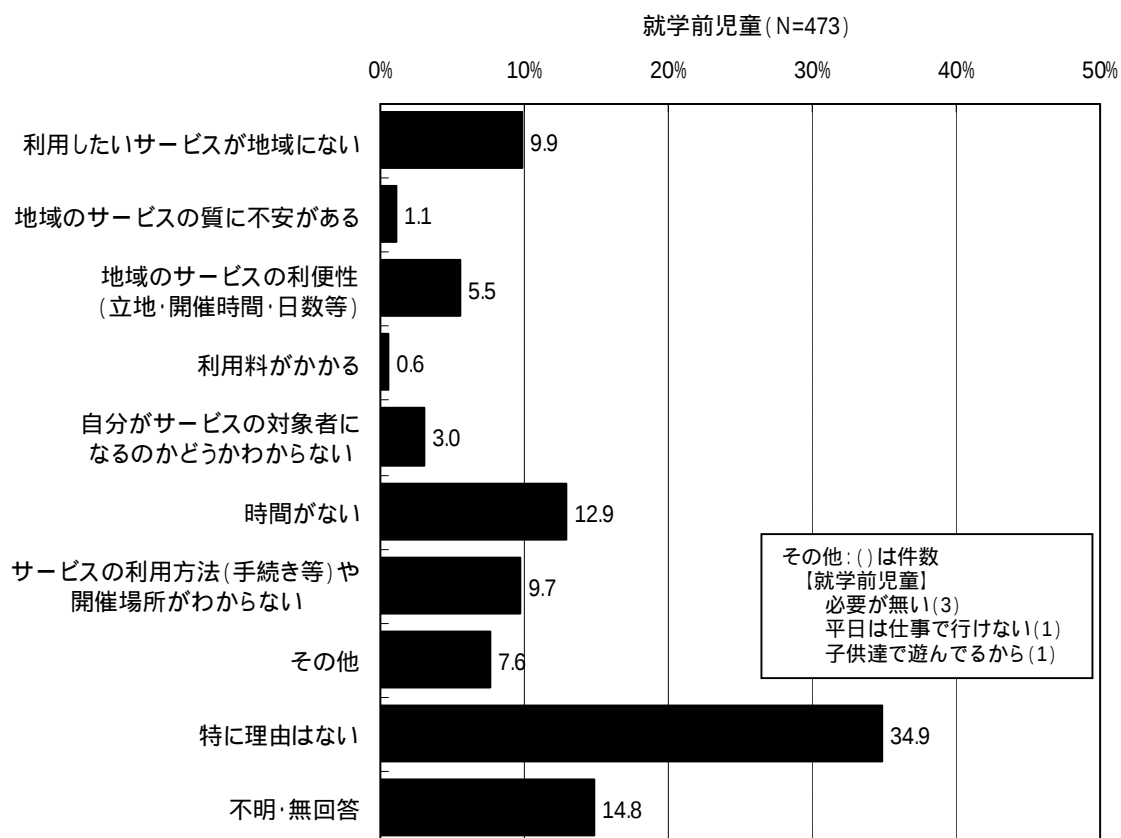


(5) 現在、地域子育て支援拠点事業を利用していない理由（単数回答）

【就学前児童 問 2 0 - 2 】

* 「利用していない」と答えたかたのみ

現在、地域子育て支援センターを利用していない理由については、「特に理由はない」が34.9%と最も高くなっています。



12 子育て支援サービスの認知度・周知度

【就学前児童】

(1) 子育て支援サービスの認知度・利用度・利用意向（単数回答）

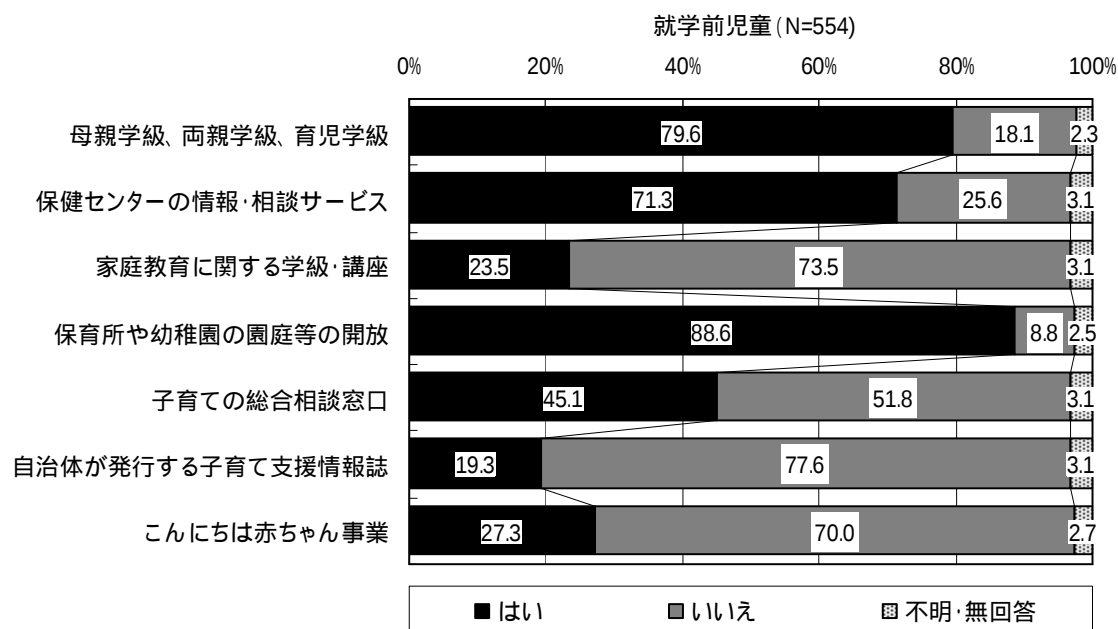
【就学前児童 問21】

就学前児童のみ

知っているか（認知度）

各サービス等の認知度についてみると、『母親学級、両親学級、育児学級』、『保健センターの情報・相談サービス』、『保育所や幼稚園の園庭等の開放』では「はい（知っている）」が7割を超えています。

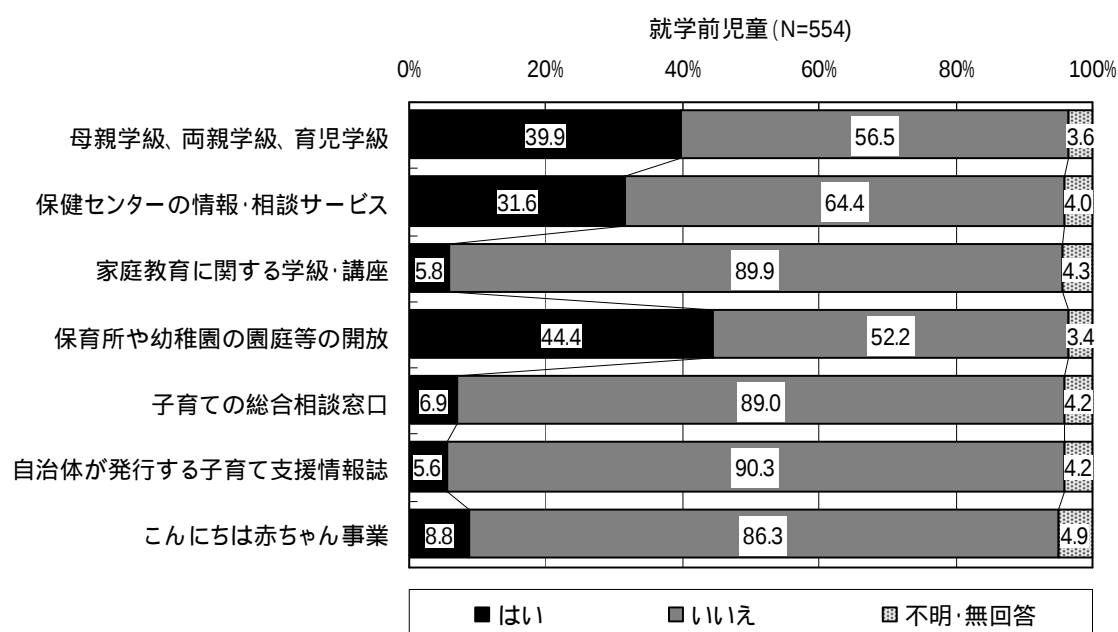
一方、『家庭教育に関する学級・講座』、『自治体が発行する子育て支援情報誌』、『こんにちは赤ちゃん事業』では「いいえ（知らない）」が7割を超えています。



これまで利用したことがあるか（利用度）

各サービス等の利用度についてみると、『母親学級、両親学級、育児学級』、『保健センターの情報・相談サービス』では「はい（これまでに利用したことがある）」が3割を超え、『保育所や幼稚園の園庭等の開放』では4割を超えています。

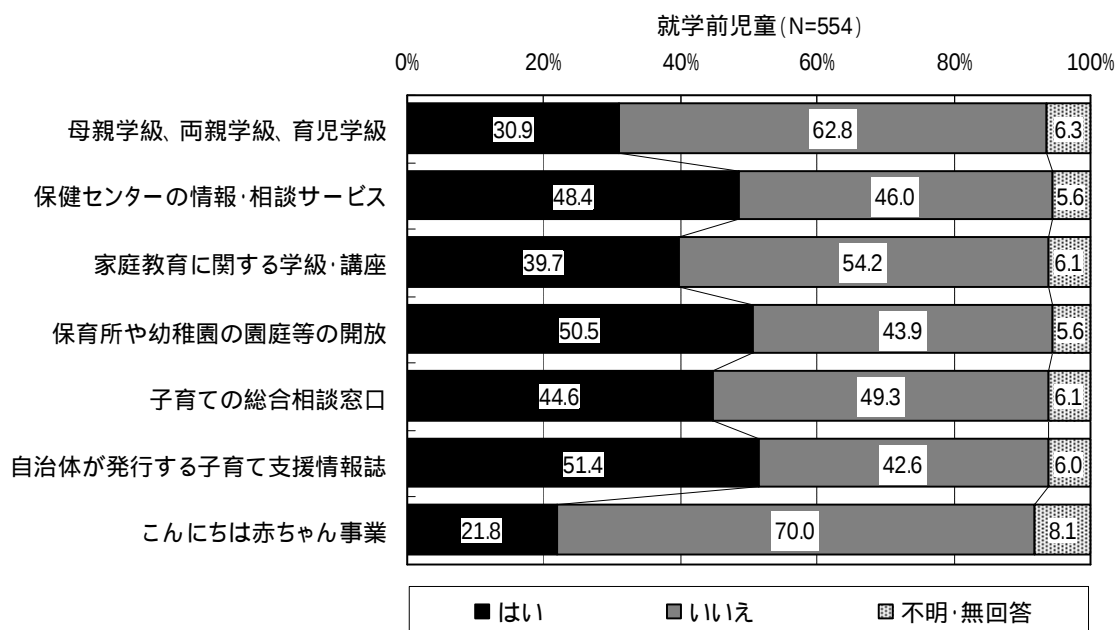
一方、『家庭教育に関する学級・講座』、『子育ての総合相談窓口』、『自治体が発行する子育て支援情報誌』、『こんにちは赤ちゃん事業』では「いいえ（利用したことがない）」が8割を超えています。



今後（必要になった場合）利用したいか（利用意向）

各サービス等の今後の利用意向についてみると、『保健センターの情報・相談サービス』、『保育所や幼稚園の園庭等の開放』、『子育ての総合相談窓口』、『自治体が発行する子育て支援情報誌』では「はい（今後利用したい）」が4割を超えています。

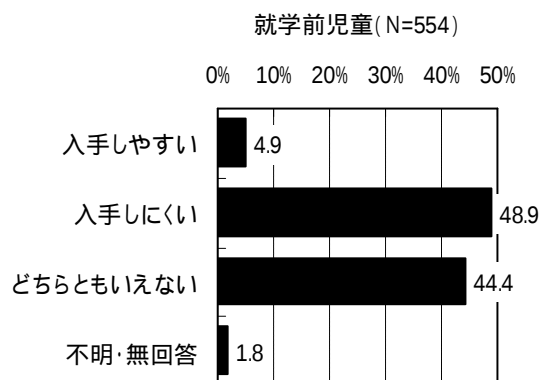
一方、『母親学級、両親学級、育児学級』、『こんにちは赤ちゃん事業』では「いいえ（利用しない）」が6割を超えています。



（２） 支援サービスの情報入手の安易度（単数回答）

【就学前児童 問 2 1 - 1】

地域子育て支援センターの情報入手の安易度についてみると、「入手しにくい」「どちらともいえない」がともに4割を超えています。



【小学生児童】

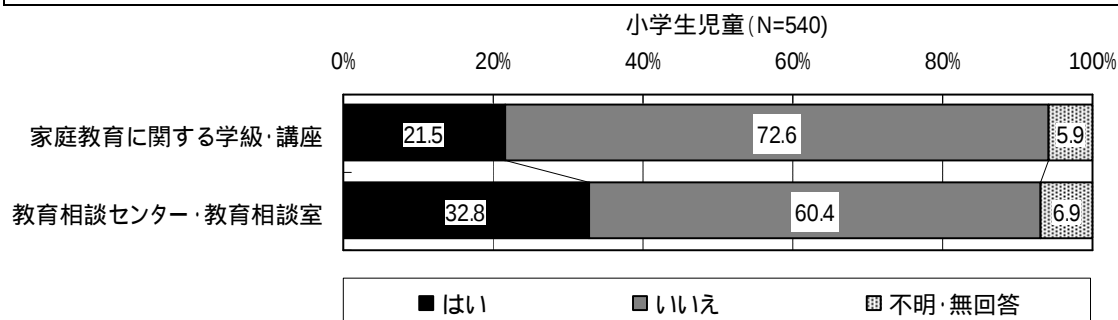
（３） 子育て支援サービスの認知度・利用度・利用意向（単数回答）

【小学生児童 問１６】

小学生児童のみ

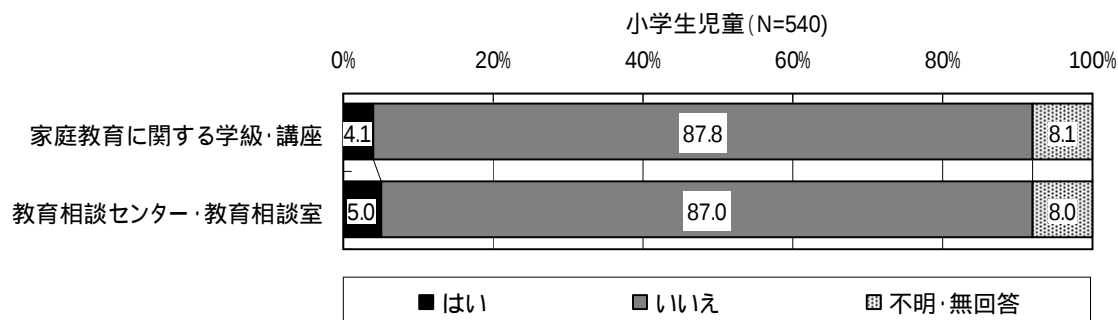
知っているか（認知度）

各サービス等の認知度についてみると、『家庭教育に関する学級・講座』では「はい（知っている）」が 21.5%、『教育相談センター・教育相談室』では 32.8%となっています。



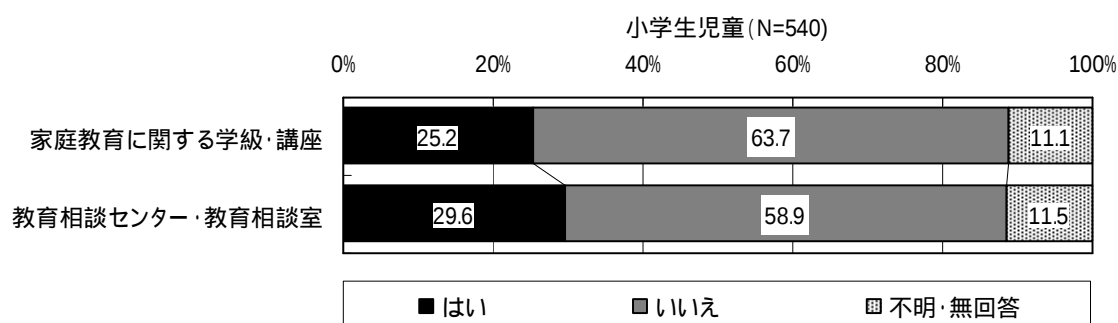
これまで利用したことがあるか（利用度）

各サービス等の利用度についてみると、『家庭教育に関する学級・講座』では「はい（これまでに利用したことがある）」が 4.1%、『教育相談センター・教育相談室』では 5.0%となっています。



今後（必要になった場合）利用したいか（利用意向）

各サービス等の今後の利用意向についてみると、『家庭教育に関する学級・講座』では「はい（今後利用したい）」が 25.2%、『教育相談センター・教育相談室』では 29.6%となっています。



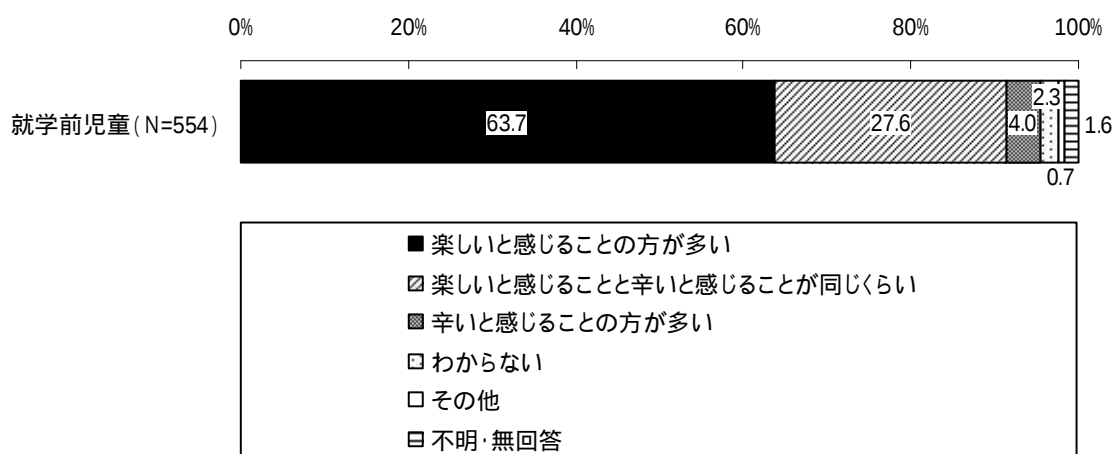
13 子育て全般について

(就学前児童)

(1) 子育てを楽しんでいると感じるか (単数回答)

【就学前児童 問 2 2】

子育てについて感じることは、「楽しいと感じることの方が多し」が 63.7%と最も高くなっています。

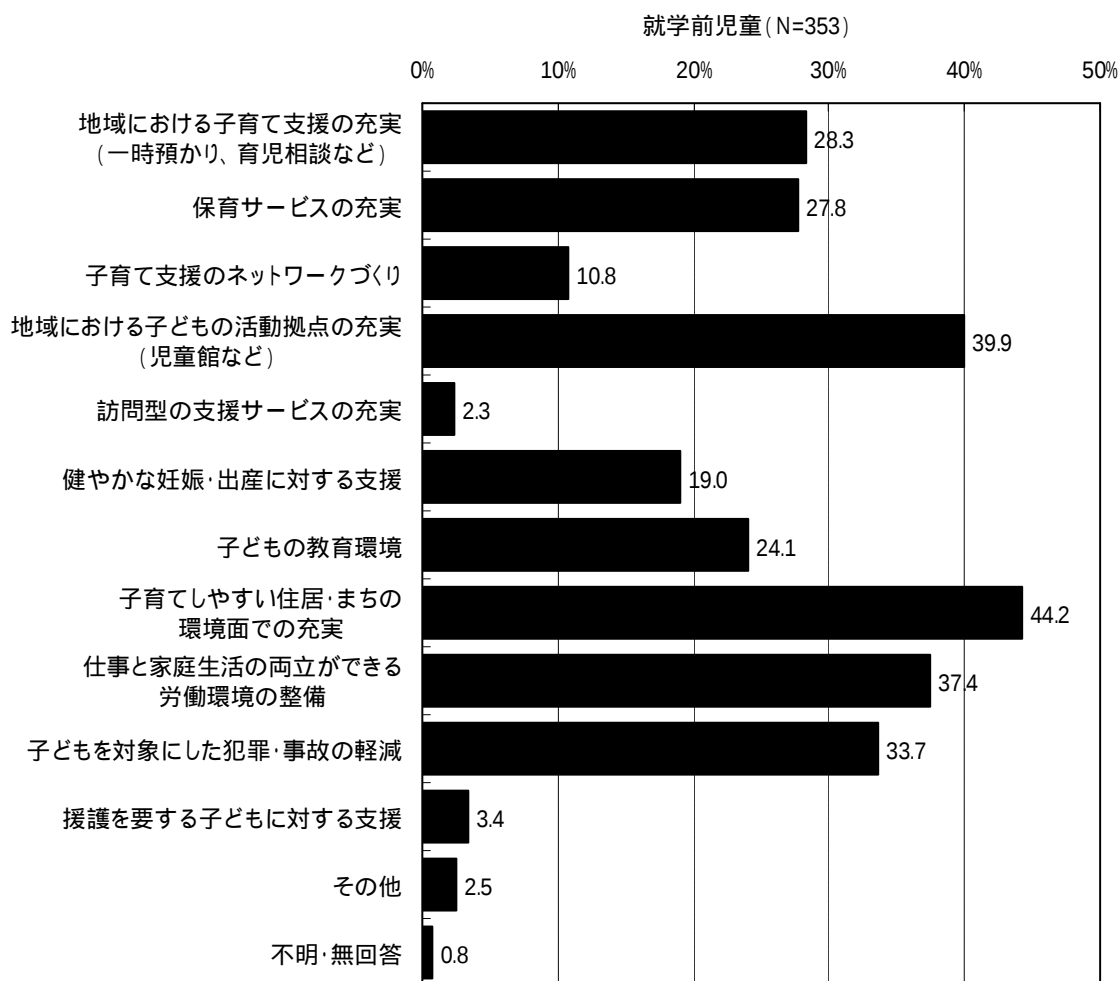


(2) 子育てをする上で有効な支援・対策（複数回答）

【就学前児童 問 2 2 - 1】

* 「楽しいと感じることの方が多い」と答えたかたのみ

「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が 44.2%と最も高くなっています。次いで「地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など）」が 39.9%、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が 37.4%、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が 33.7%となっています。

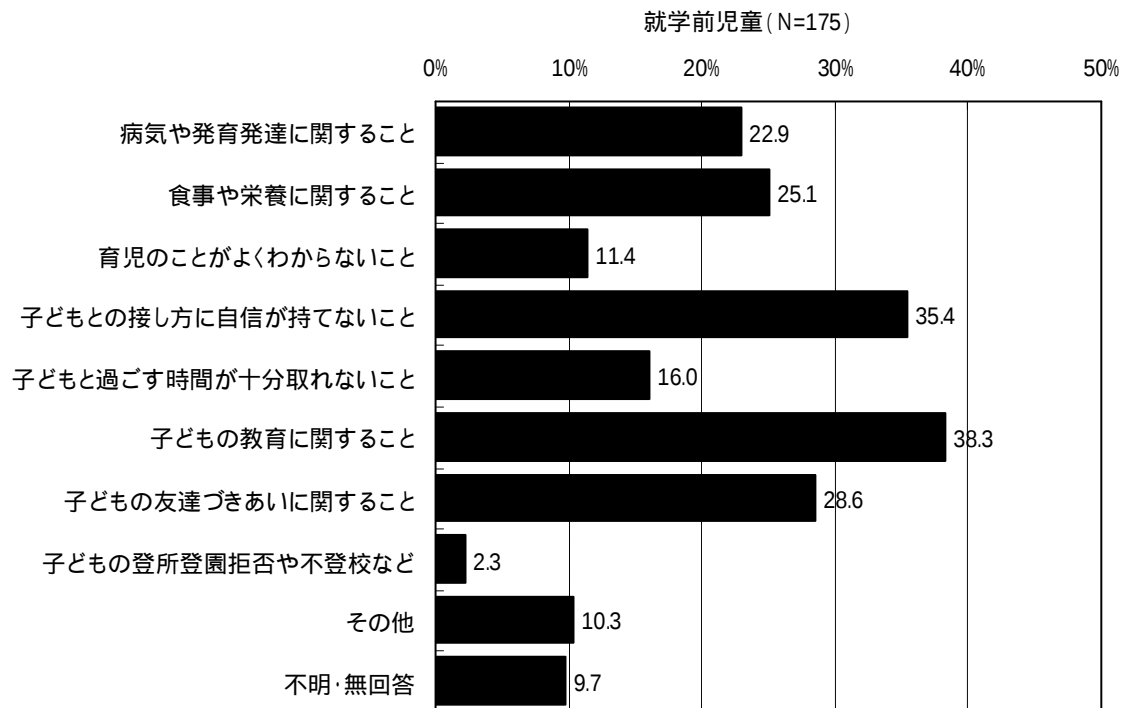


(3) 子育てについての不安や悩み(複数回答)

【就学前児童 問22-2】

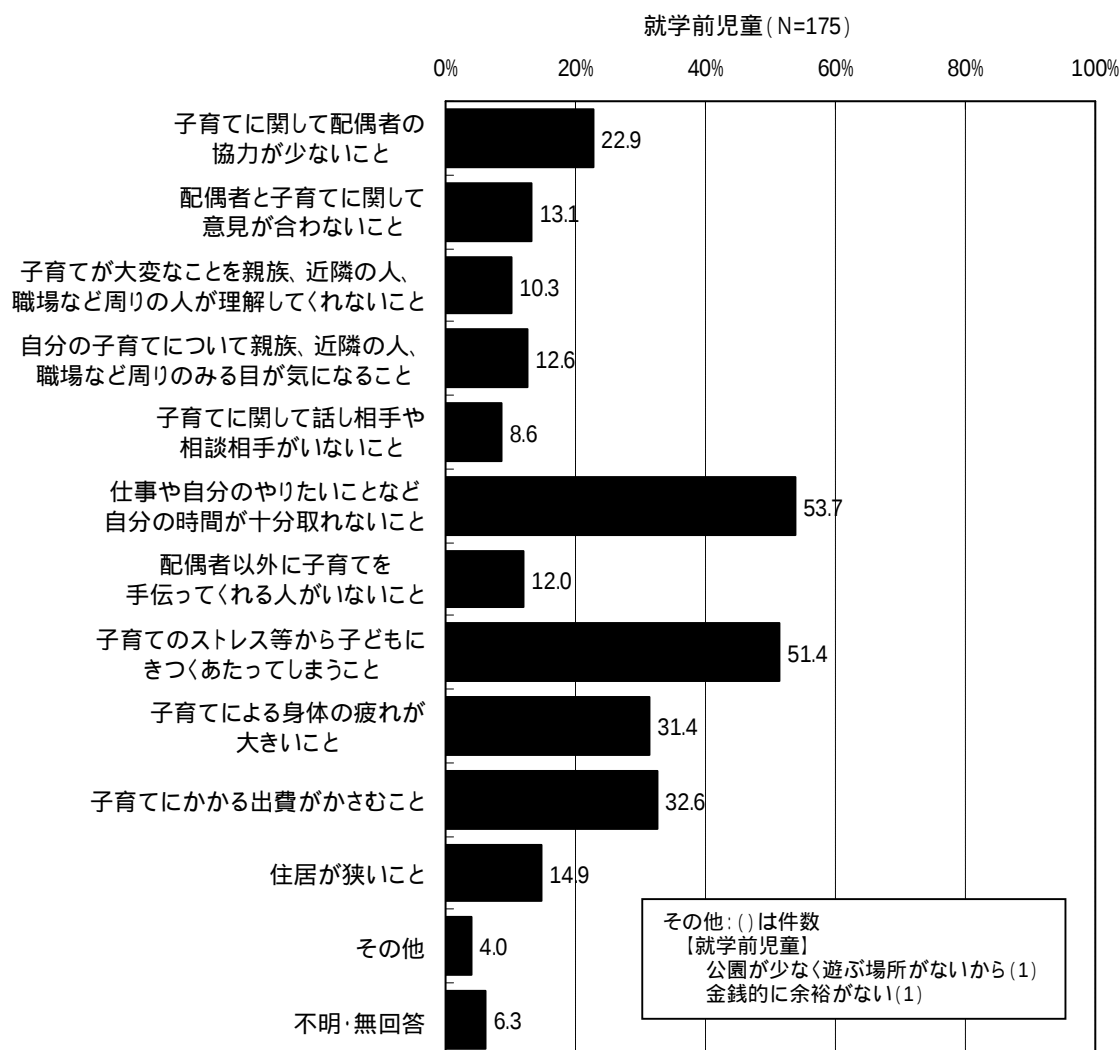
* 「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」または「辛いと感じることが多い」と答えたかたのみ
子どもに関すること

子育てする上で、子どもについて特に不安に思っていることや悩んでいることについてみると、「子どもの教育に関すること」、「子どもとの接し方に自信が持てないこと」が高い項目となっています。



保護者自身に関すること

子育てする上で、保護者について特に不安に思っていることや悩んでいることについてみると、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」、「子育てのストレス等から子どもにきつくあたってしまうこと」が高い項目となっています。

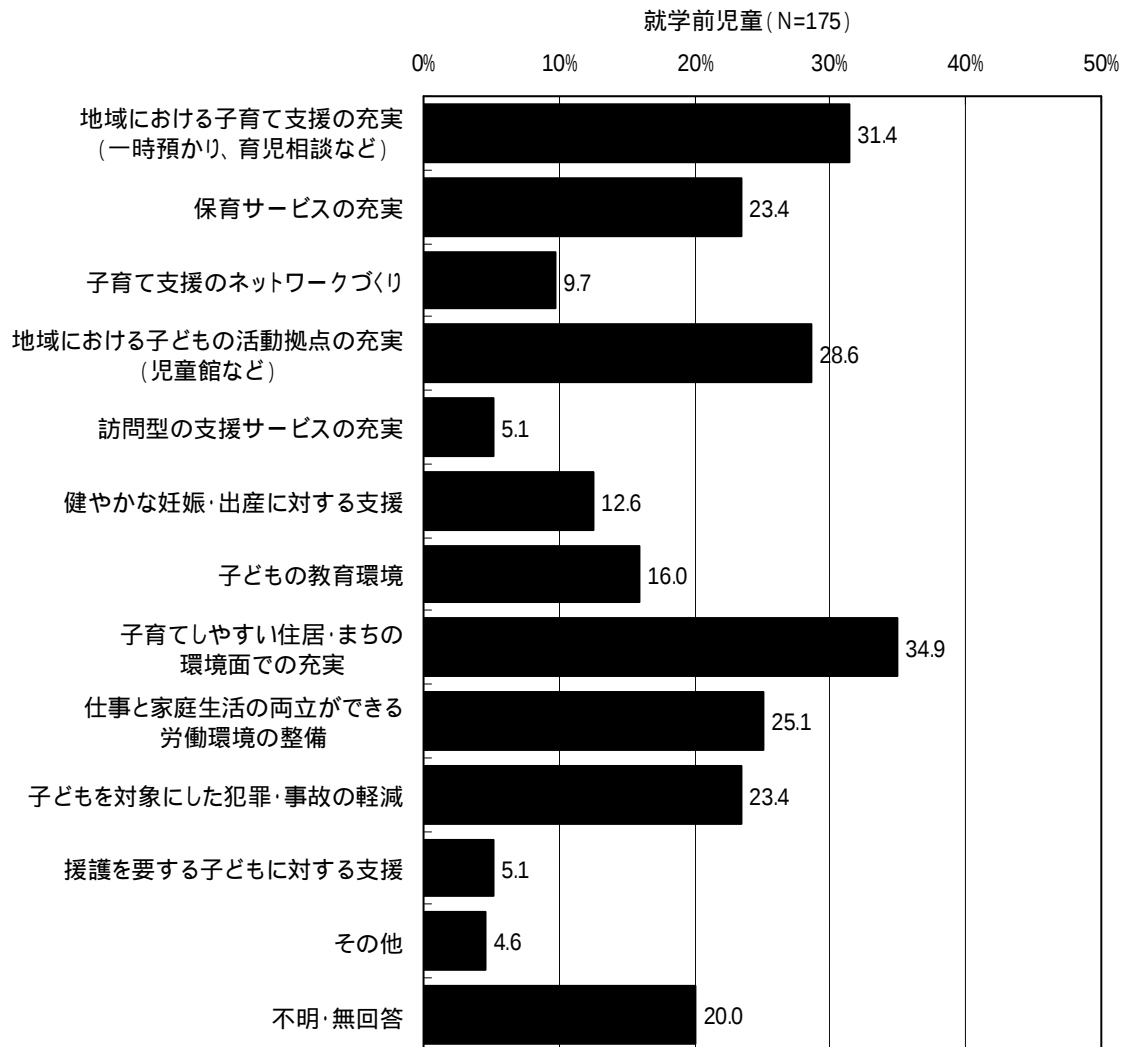


(4) 子育ての辛さを解消する為に必要な支援・対策（複数回答）

* 「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」または「辛いと感じることが多い」と答えたかたのみ

【就学前児童 問 2 2 - 3】

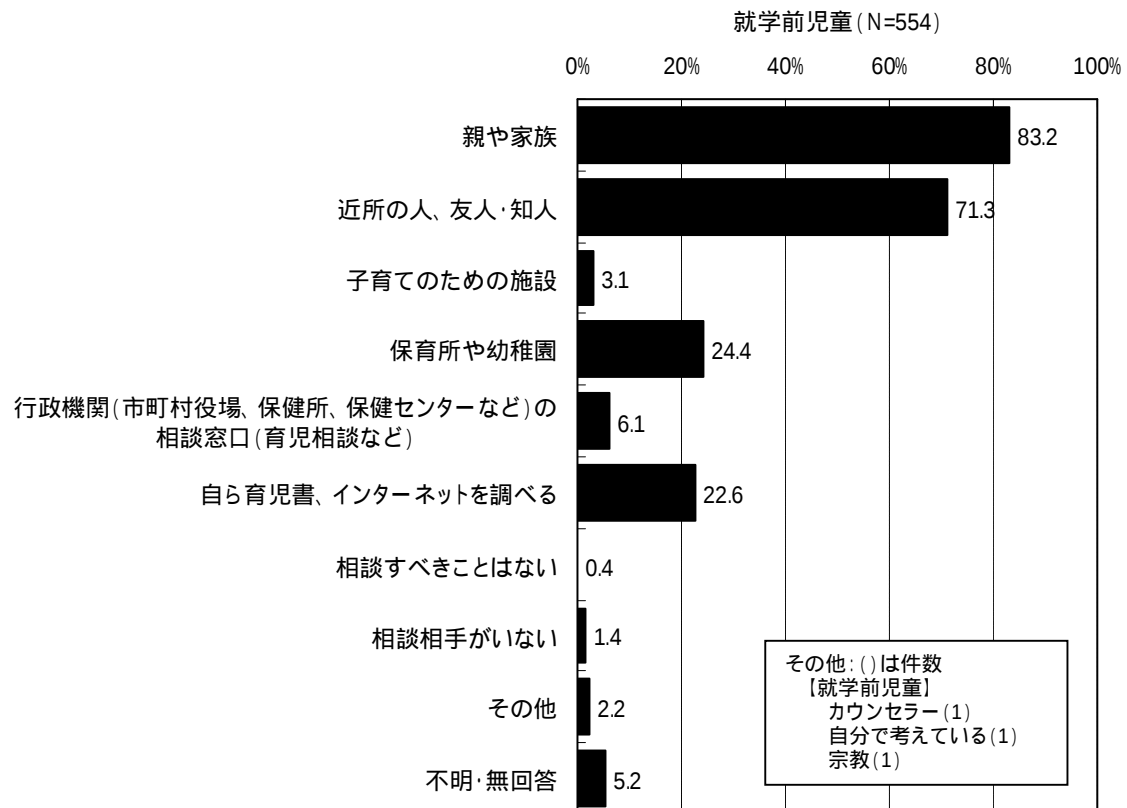
子育ての辛さを解消する為に必要な支援・対策についてみると、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」、「地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）」が高い項目となっています。



(5) 子育てについての相談先 (複数回答)

【就学前児童 問 2 3】

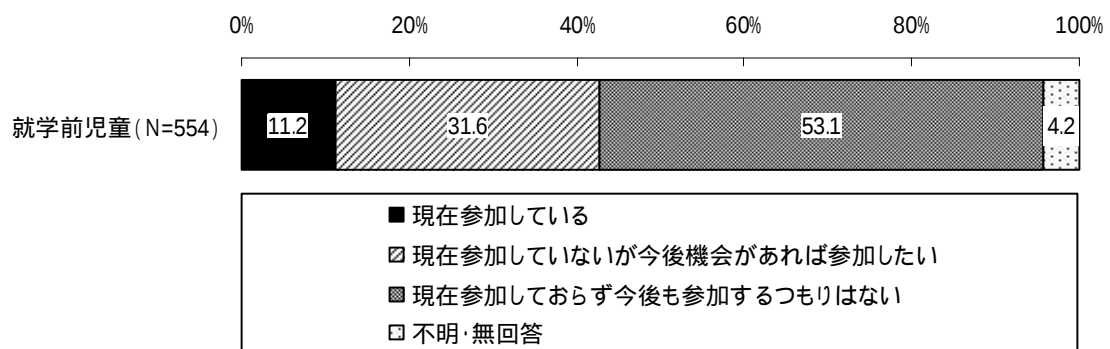
子育てについての相談先についてみると、「親や家族」、「近所の人、友人・知人」が高い項目となっています。



(6) 子育てサークルなどの自主活動への参加 (単数回答)

【就学前児童 問 2 4】

子育てサークルなどの自主活動への参加についてみると、「現在参加している」が 11.2%、「現在参加していないが今後機会があれば参加したい」が 31.6%となっており、「現在参加しておらず今後も参加するつもりはない」が 53.1%と最も高くなっています。

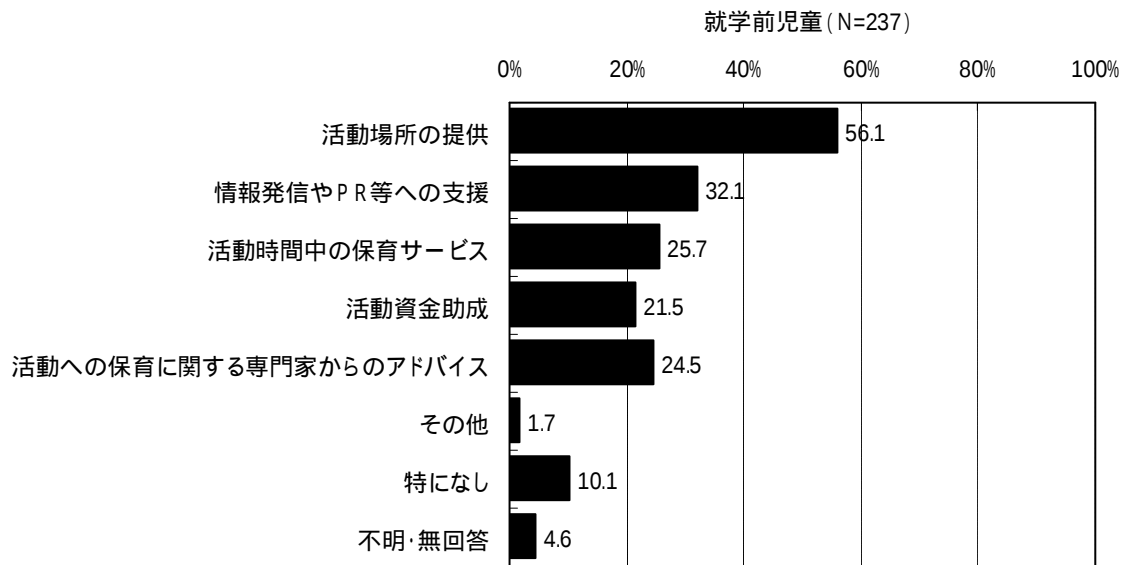


【自主活動をするにあたり行政に行ってほしい支援】(複数回答)

【就学前児童 問24-1】

* 「現在参加している」または「現在参加していないが、今後機会があれば参加したい」と答えたかたのみ

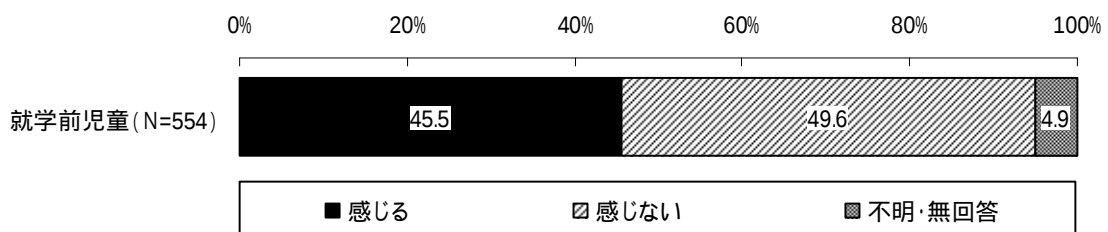
自主活動をするにあたり行政に行ってほしい支援についてみると、「活動場所の提供」が56.1%と最も高くなっており、次いで「情報発信やPR等への支援」が32.1%となっています。



(7) 子育てが地域の人に支えられていると感じるか(単数回答)

【就学前児童 問25】

子育てが地域の人に支えられていると感じるかについてみると、「感じる」が45.5%となっており、「感じない」が49.6%となっています。

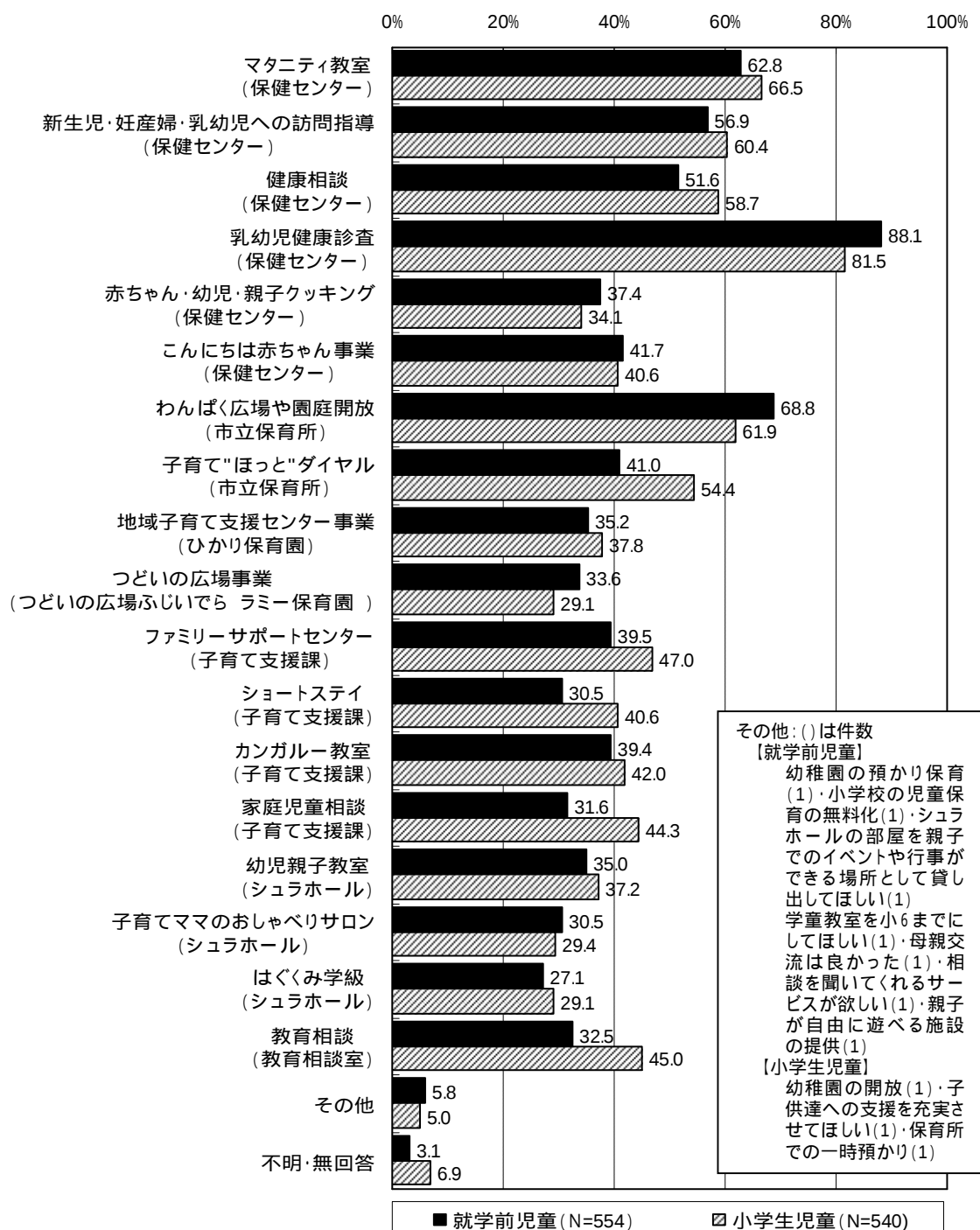


14 藤井寺市の事業や取り組み

(1) 藤井寺市での子育て支援でもっと力を入れてほしいもの(複数回答)

【就学前児童 問26：小学生児童 問17】

藤井寺市での子育て支援でもっと力を入れてほしいものについてみると、『乳幼児健康診査』が就学前児童は88.1%、小学生児童は81.5%とともに最も高く、次いで『マタニティ教室(保健センター)』、『わんぱく広場や園庭開放(市立保育所)』が就学前児童、小学生児童ともに6割を超えています。

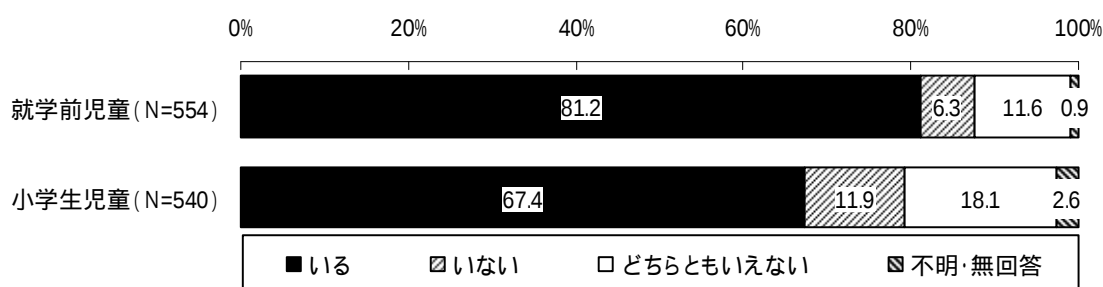


15 子どもの健康について

(1) 子どものかかりつけの医師の有無（単数回答）

【就学前児童 問27：小学生児童 問18】

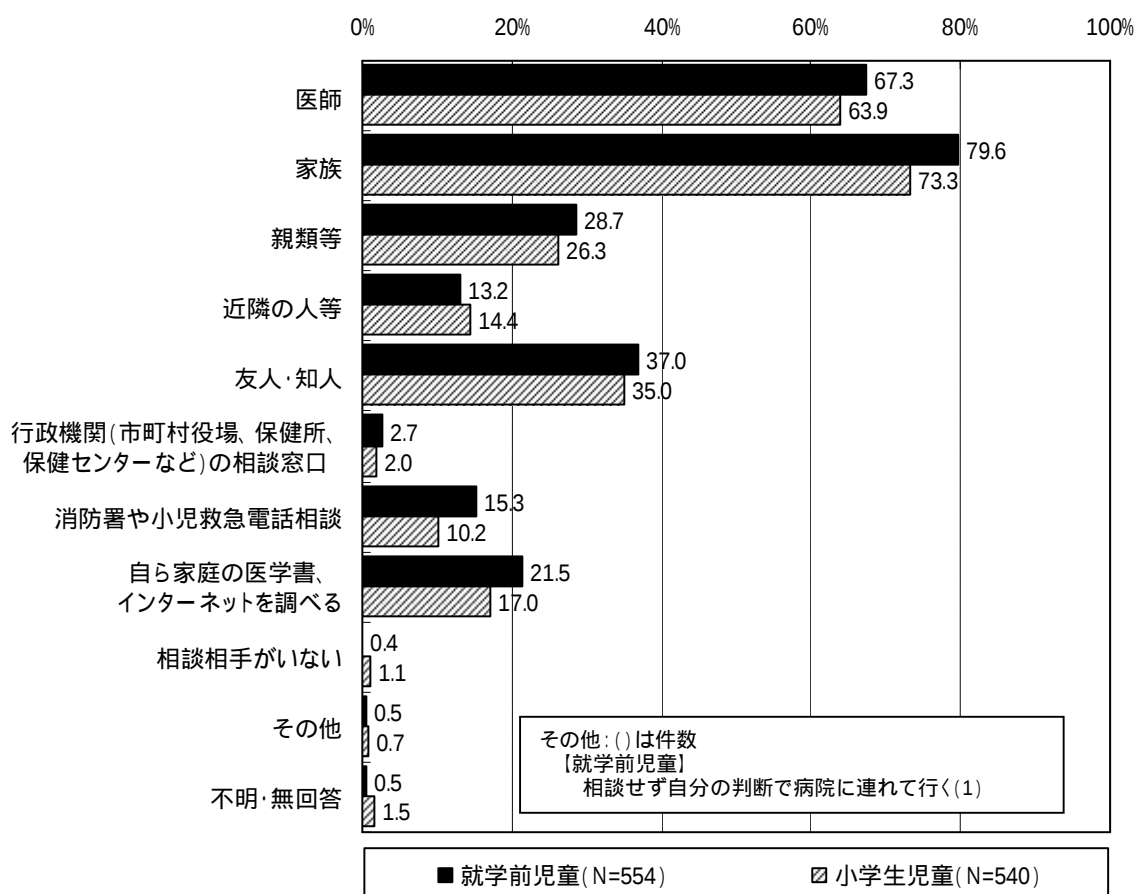
子どものかかりつけの医師の有無についてみると、かかりつけの医師が「いる」と答え
たかたが、就学前児童で81.2%、小学生児童で67.4%となっています。



(2) 子どもがケガや急病のときの相談先（複数回答）

【就学前児童 問28：小学生児童 問19】

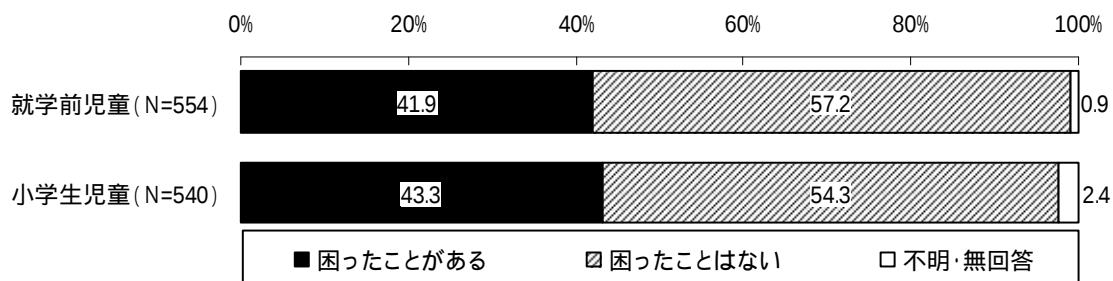
子どもがケガや急病のときの相談先についてみると、「家族」が就学前児童、小学生児童
ともに7割を超えており、次いで「医師」が共通して高い項目となっています。



(3) すぐ見てくれる医療機関が見つからず困ったこと(単数回答)

【就学前児童 問29：小学生児童 問20】

すぐ見てくれる医療機関が見つからず困ったことについてみると、就学前児童、小学生児童ともに4割を超えたかたが「困ったことがある」と答えています。

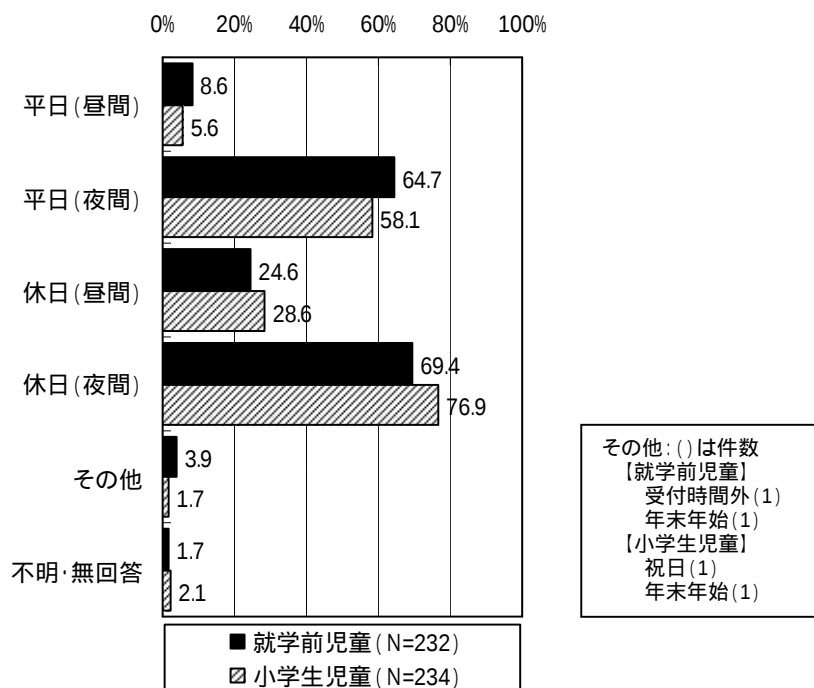


【困ったのはいつか】(複数回答)

【就学前児童 問29-1：小学生児童 問20-1】

すぐ見てくれる医療機関が見つからず困ったことがあると答えたかたのみ

困った時期についてみると、「休日(夜間)」が共通して高く、次いで「平日(夜間)」となっています。

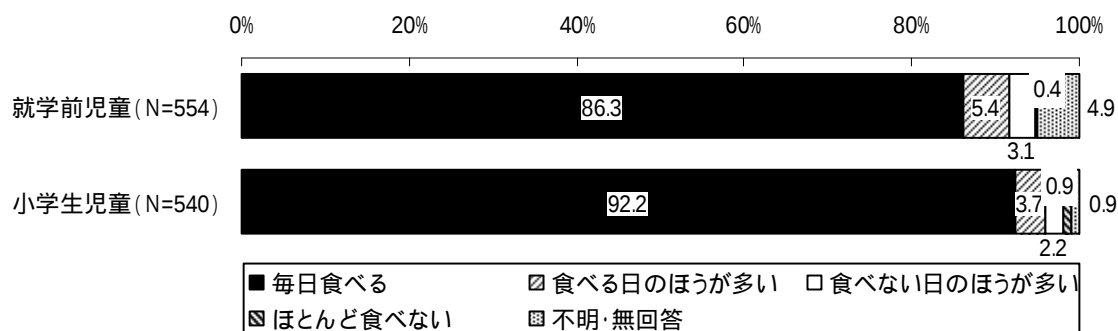


16 子どもの食生活について

(1) 朝ごはんを食べているか(単数回答)

【就学前児童 問30・A：小学生児童 問21・A】

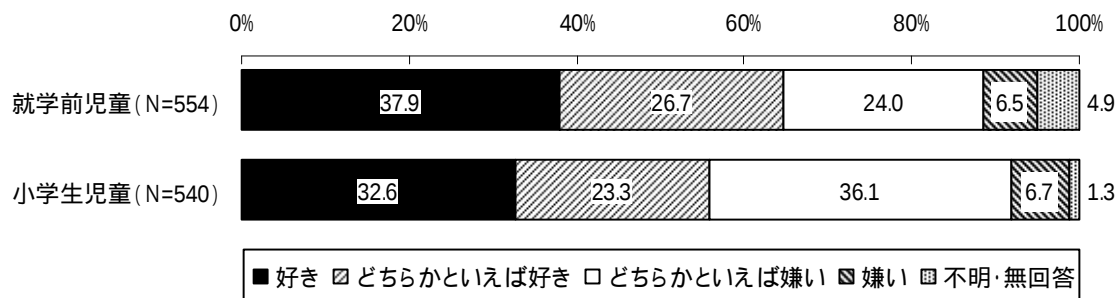
朝ごはんを食べているかについてみると、「毎日食べる」と答えたかたが就学前児童では86.3%、小学生児童では92.2%と高い割合を示しています。



(2) 野菜は好きか(単数回答)

【就学前児童 問30・B：小学生児童 問21・B】

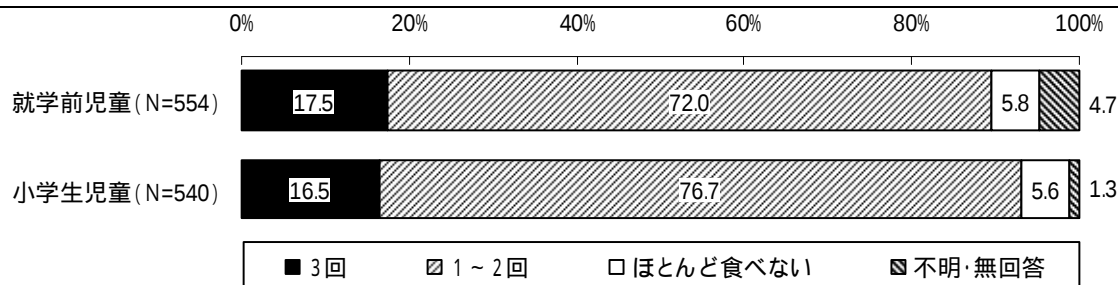
野菜は好きかについてみると、「好き」、「どちらかといえば好き」と答えたかたが就学前児童、小学生児童ともに半数を超えています。



(3) 野菜は1日何回食べるか(単数回答)

【就学前児童 問30・C：小学生児童 問21・C】

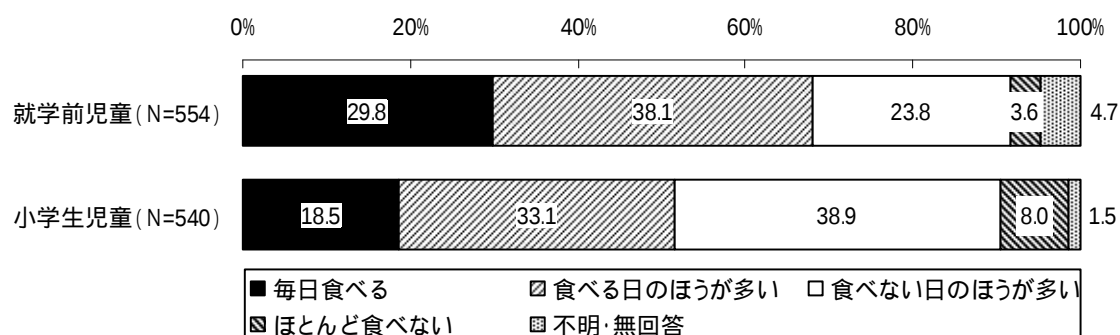
野菜は1日何回食べるかについてみると、「1~2回」と答えたかたが就学前児童、小学生児童ともに7割を超えて最も高くなっています。



(4) 果物は食べるか (単数回答)

【就学前児童 問30・D：小学生児童 問21・D】

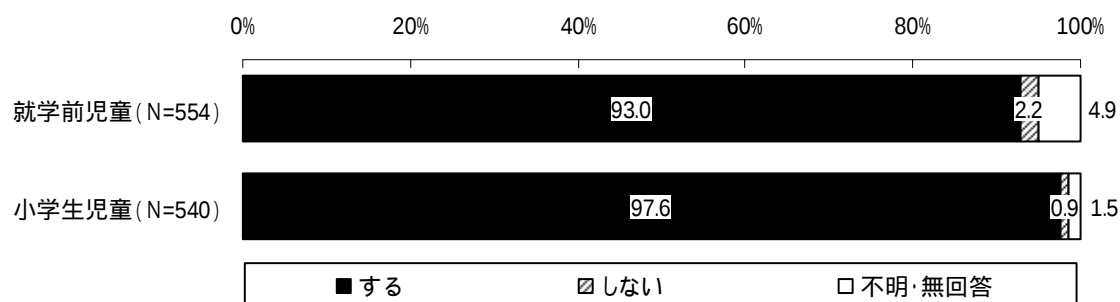
果物は食べるかについてみると、「毎日食べる」、「食べる日の方が多い」と答えたかたが就学前児童、小学生児童ともに半数を超えています。



(5) 1日1回は家族と一緒に食事をするか (単数回答)

【就学前児童 問30・E：小学生児童 問21・E】

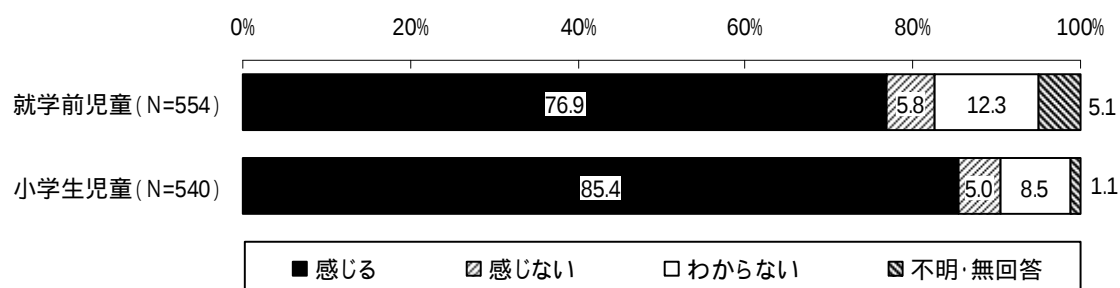
1日1回は家族と一緒に食事をするかについてみると、「する」と答えたかたが就学前児童、小学生児童ともに9割を超え、高い割合を示しています。



(6) 健康的な食習慣を身につけているか (単数回答)

【就学前児童 問30-1：小学生児童 問21-1】

健康的な食習慣を身につけているかについてみると、「感じる」と答えたかたが就学前児童では76.9%、小学生児童では85.4%と高い割合を示しています。

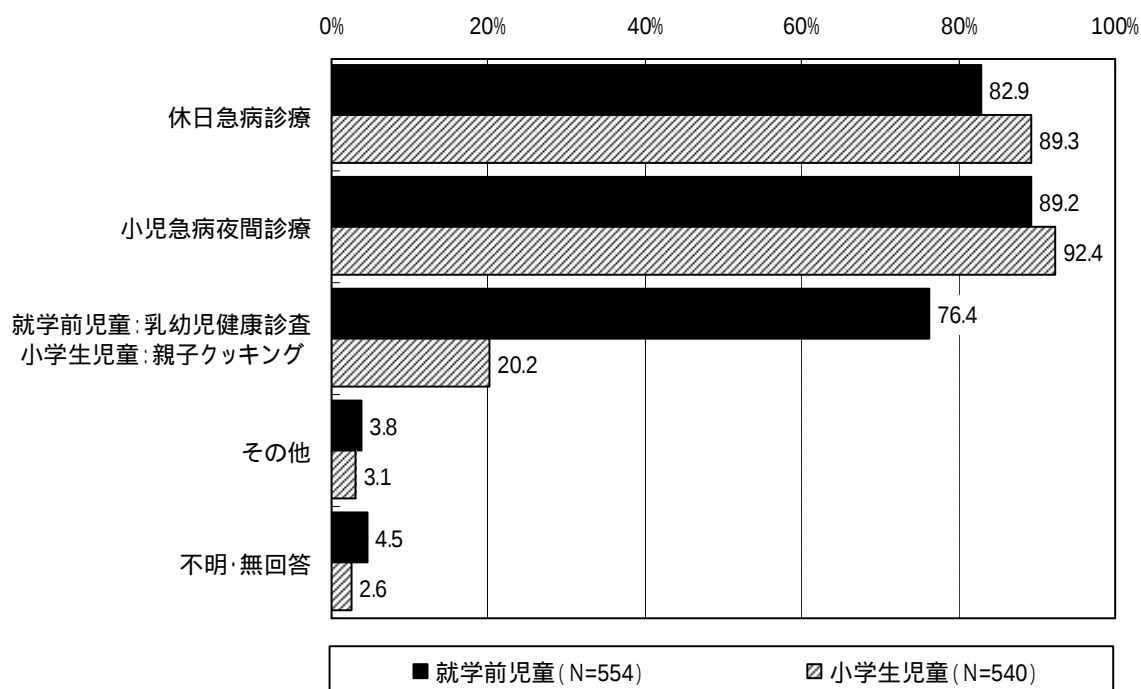


(7) 子どもの健康の為に必要・効果があると思われる事業・取り組み(複数回答)

【就学前児童 問31：小学生児童 問22】

子どもの健康の為に必要・効果があると思われる事業・取り組みについてみると「休日急病診療」、「小児急病夜間診療」ともに8割を超え高くなっています。

(3番目の回答選択肢は就学前児童が「乳幼児健康診査」、小学生児童が「親子クッキング」)



その他: () は件数

【就学前児童】

共働きで広報などを市役所に取りにいけないので子供に関する事柄のメールサービスやチラシなどを届けてほしい(1)

夜間小児救急(八尾、東大阪の病院)に行く際、車を持ってない人がタクシーを公費で利用できる(1)

休日診療に、眼科、耳鼻科を(1)

【小学生児童】

子供達が伸び伸びできる広場(1)

子供の運動能力向上(1)

サービスを受けられる人間は限られている(1)

予防接種の助成強化(1)

17 健やかに成長する為の取り組みについて

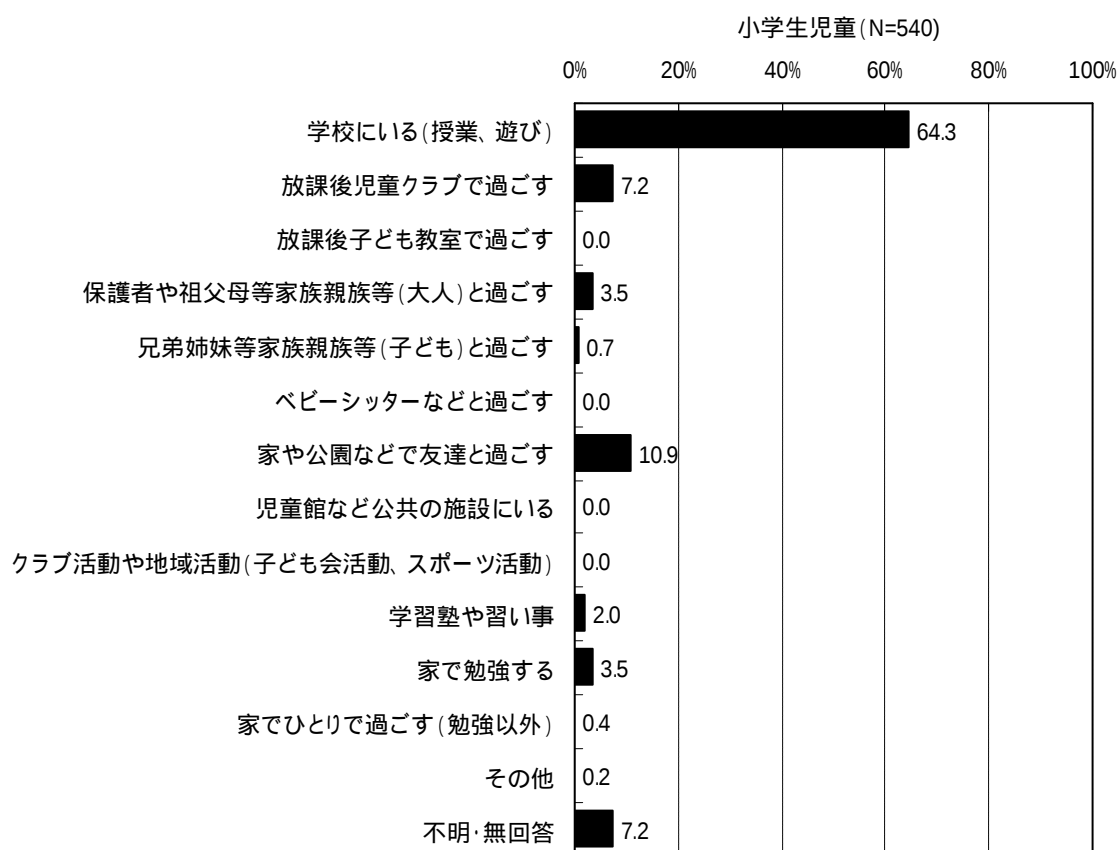
(小学生児童)

(1) 平日の放課後の過ごし方

14～16時(単数回答)

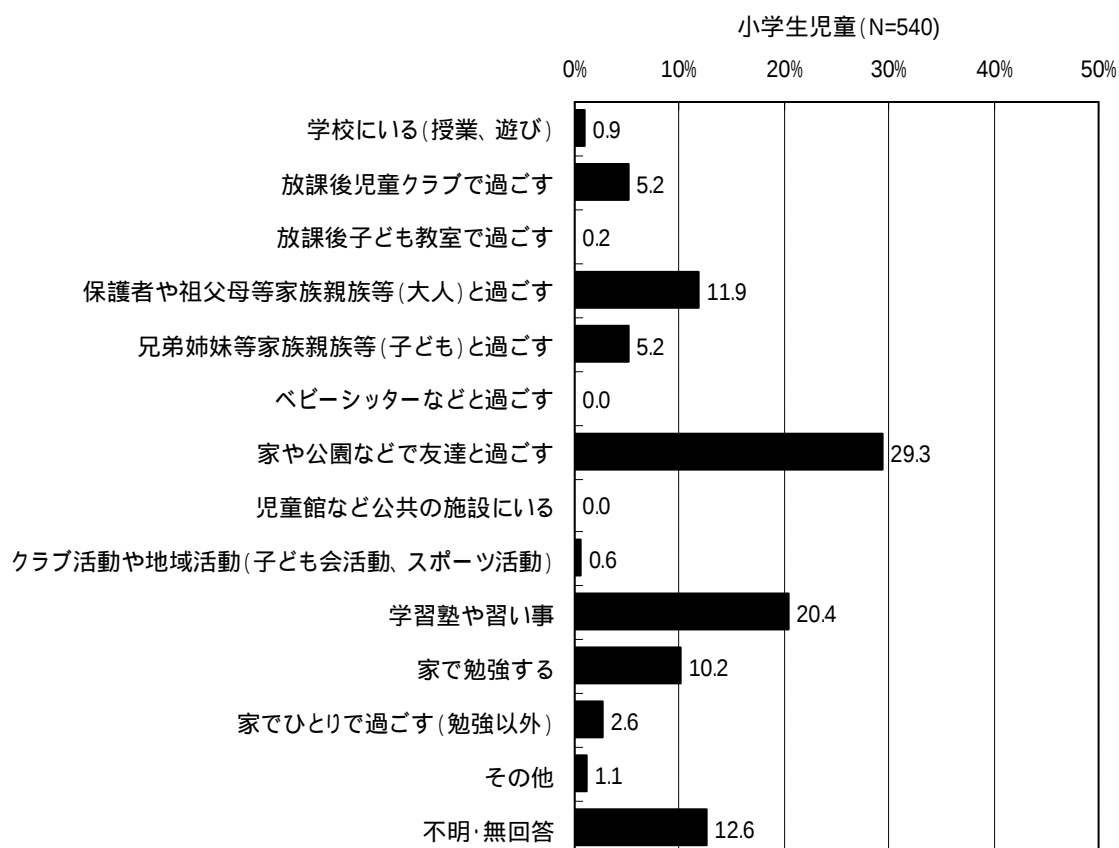
【小学生児童 問23】

平日の放課後の過ごし方の14～16時についてみると、「学校にいる」が64.3%と最も高くなっています。



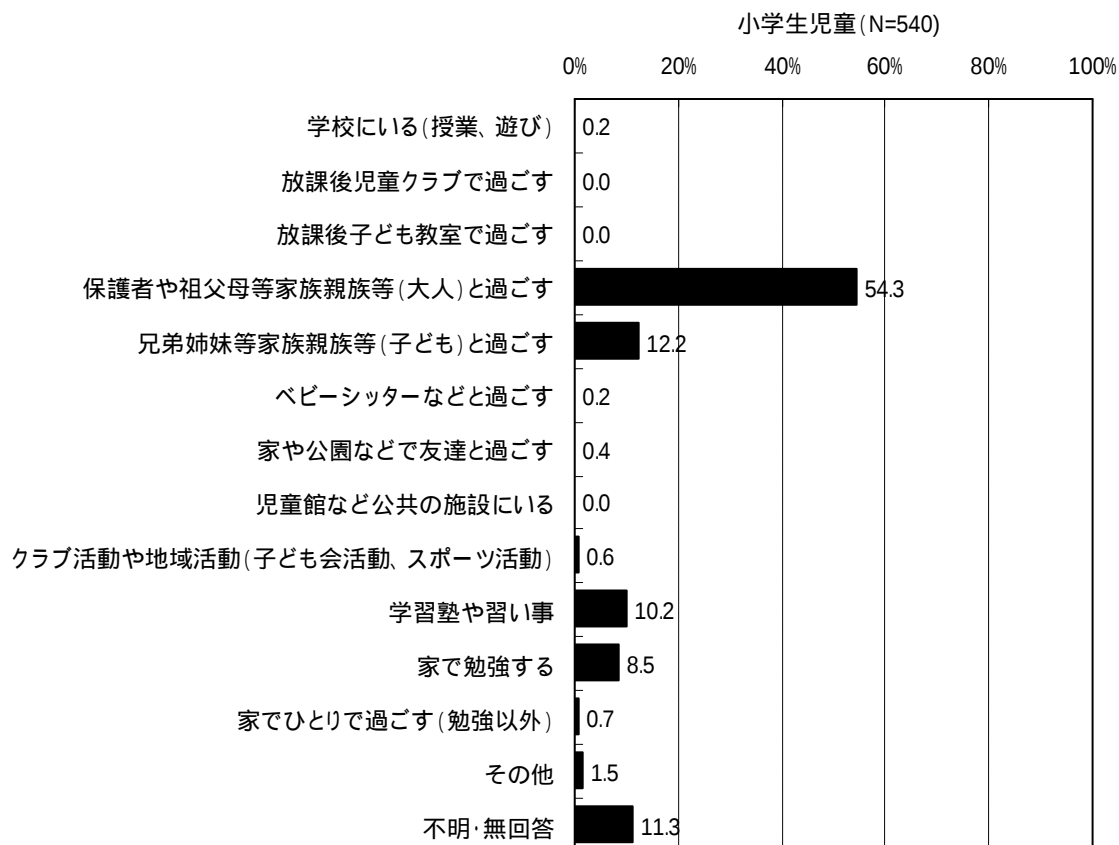
16～18時（単数回答）

平日の放課後の過ごし方の16～18時についてみると、「家や公園などで友達と過ごす」が29.3%と最も高くなっています。次いで「学習塾や習い事」が20.4%となっています。



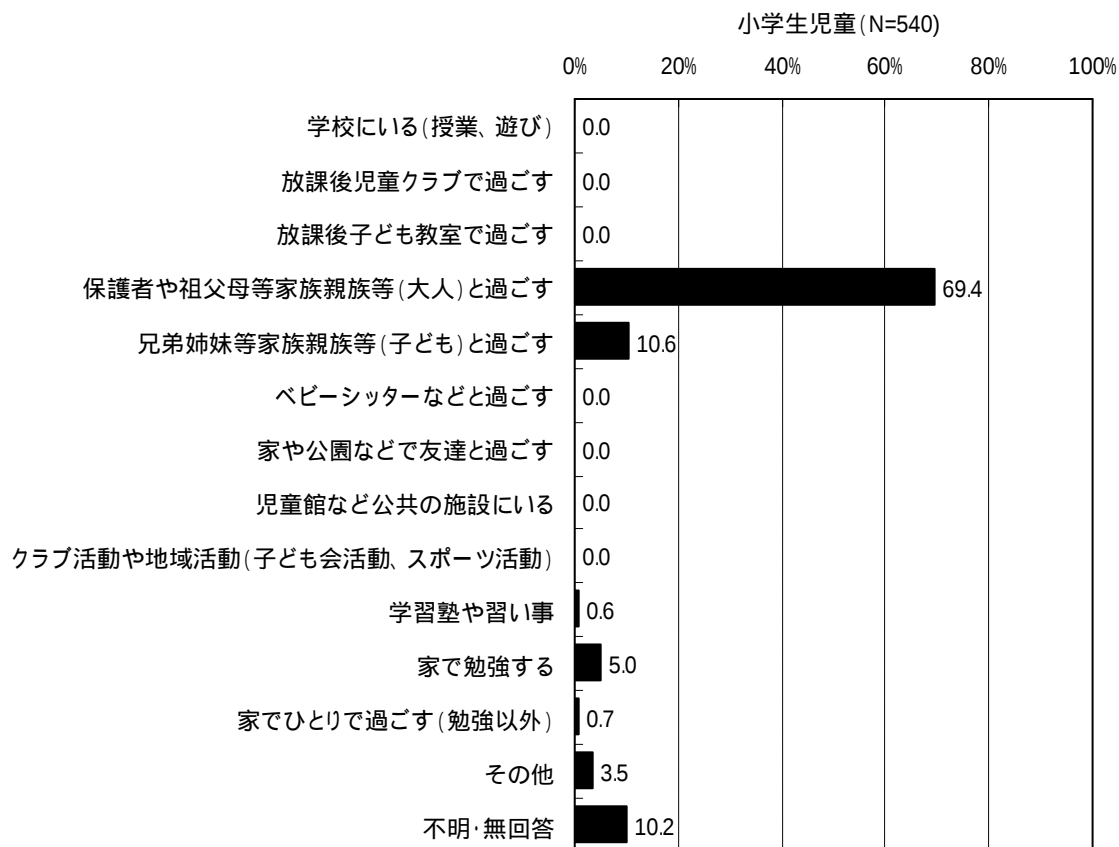
18～20 時（単数回答）

平日の放課後の過ごし方の 18～20 時についてみると、「保護者や祖父母等家族親族等（大人）と過ごす」が 54.3%と最も高くなっています。



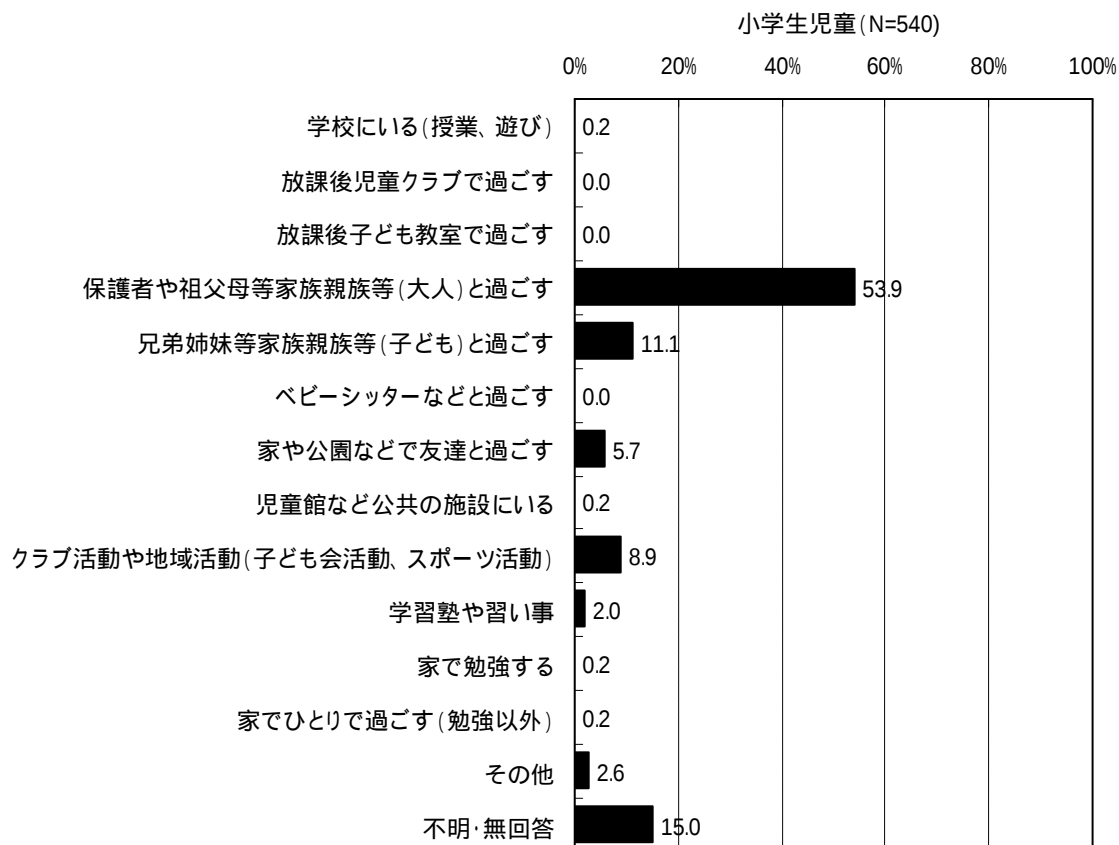
20 時以降（単数回答）

平日の放課後の過ごし方の 20 時以降についてみると、「保護者や祖父母等家族親族等（大人）と過ごす」が 69.4%と最も高くなっています。



(2) 休日の過ごし方 (単数回答)

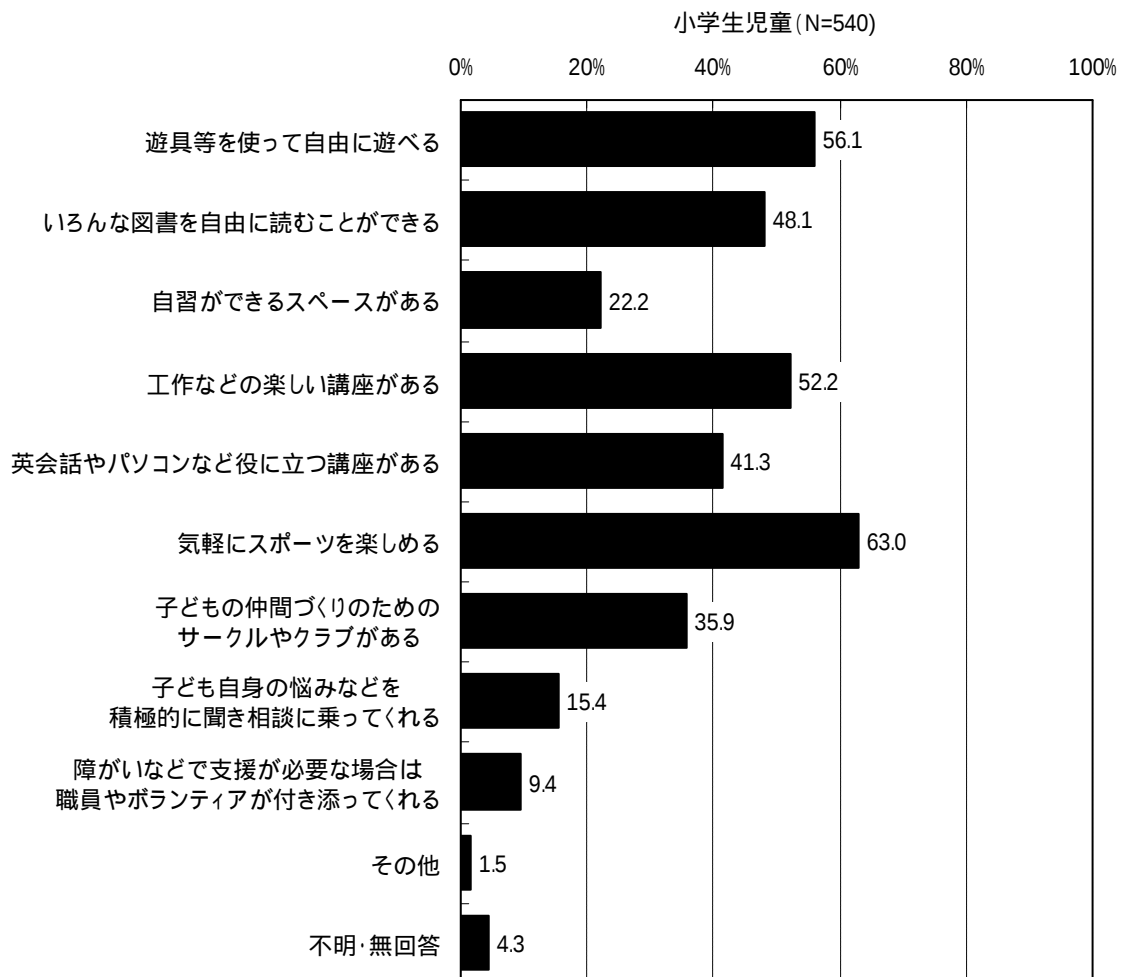
休日の過ごし方についてみると、「保護者や祖父母等家族親族等（大人）と過ごす」が53.9%と最も高くなっています。



(3) 公共施設での企画やサービスの希望 (複数回答)

【小学生児童 問 2 4】

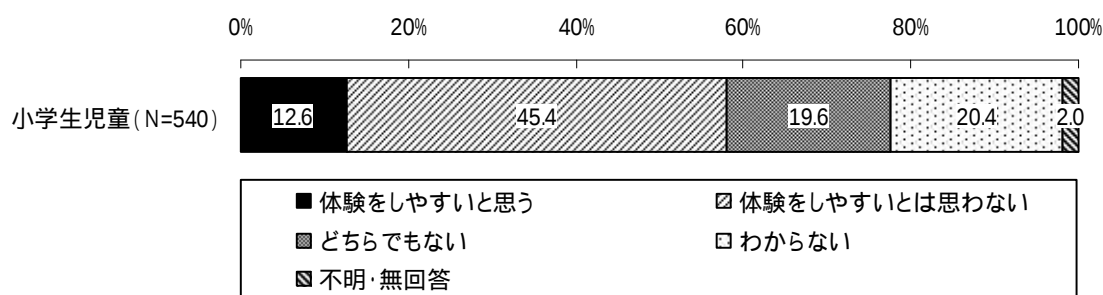
公共施設での企画やサービスの希望についてみると、「気軽にスポーツを楽しめる」が 63.0%と最も高くなっており、次いで「遊具等を使って自由に遊べる」が 56.1%、「工作などの楽しい講座がある」が 52.2%となっています。



(4) 自然・社会・文化などの体験をしやすい環境か (単数回答)

【小学生児童 問 2 5】

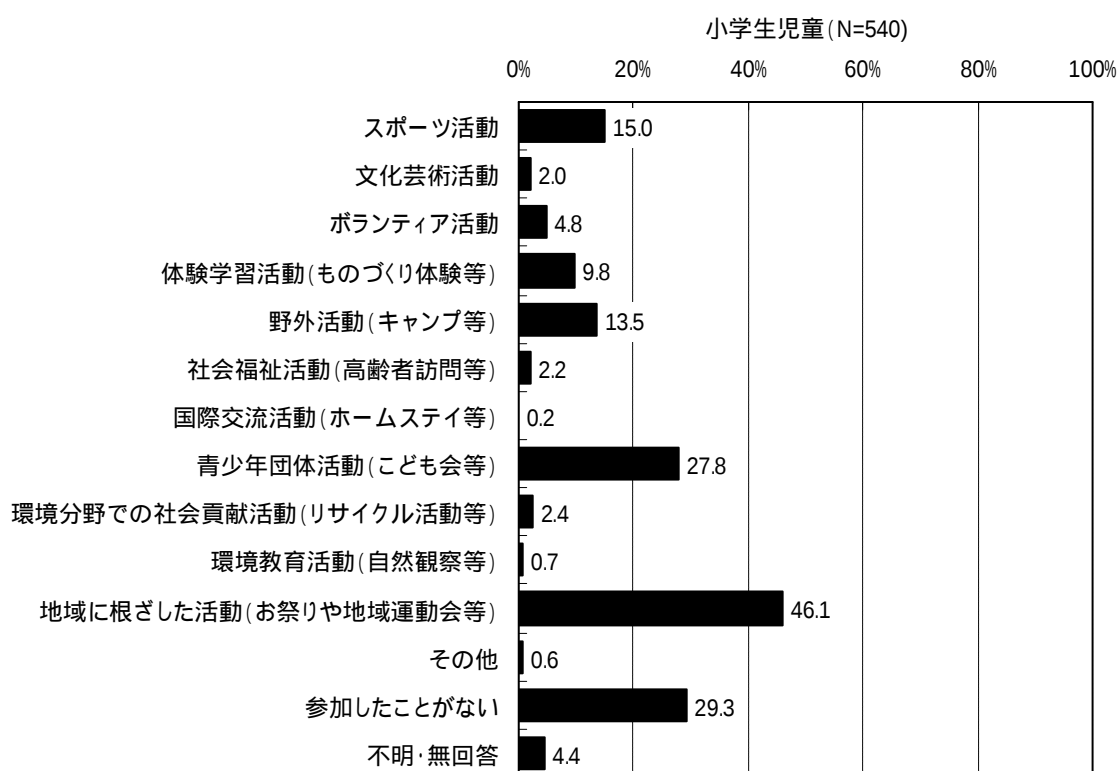
自然・社会・文化などの体験をしやすい環境かについてみると、「体験をしやすいと思う」が 12.6%、「体験をしやすいとは思わない」が 45.4%となっています。



(5) 参加したことがある自然・社会・文化活動 (複数回答)

【小学生児童 問 2 6】

参加したことがある自然・社会・文化活動についてみると、「地域に根ざした活動 (お祭りや地域運動会等)」が 46.1%と最も高く、次いで「参加したことがない」が 29.3%、「青少年団体活動 (子ども会等)」が 27.8%となっています。

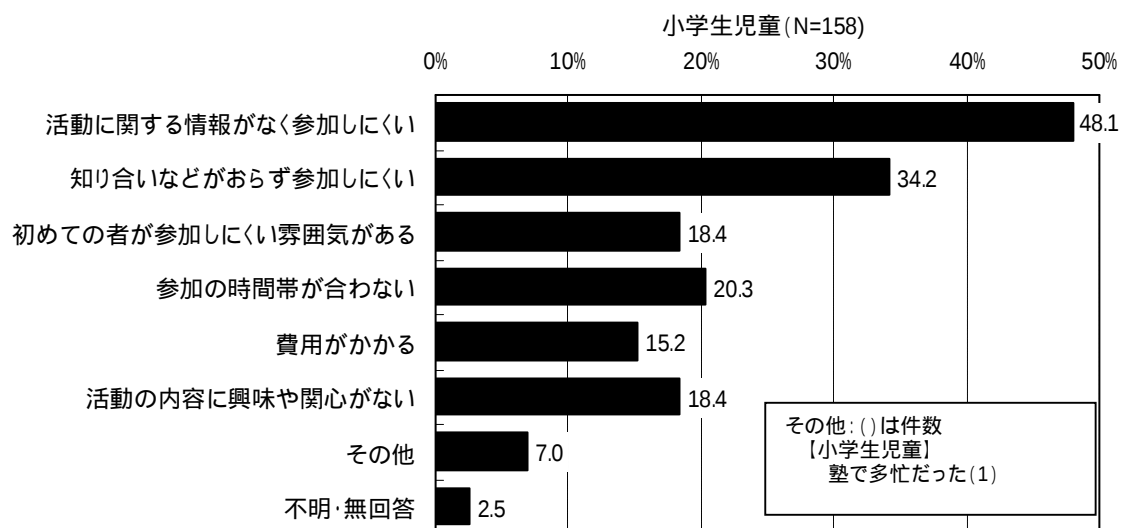


【自然・社会・文化活動に参加していない理由】(複数回答)

*「参加したことがない」と答えたかたのみ

【小学生児童 問26-1】

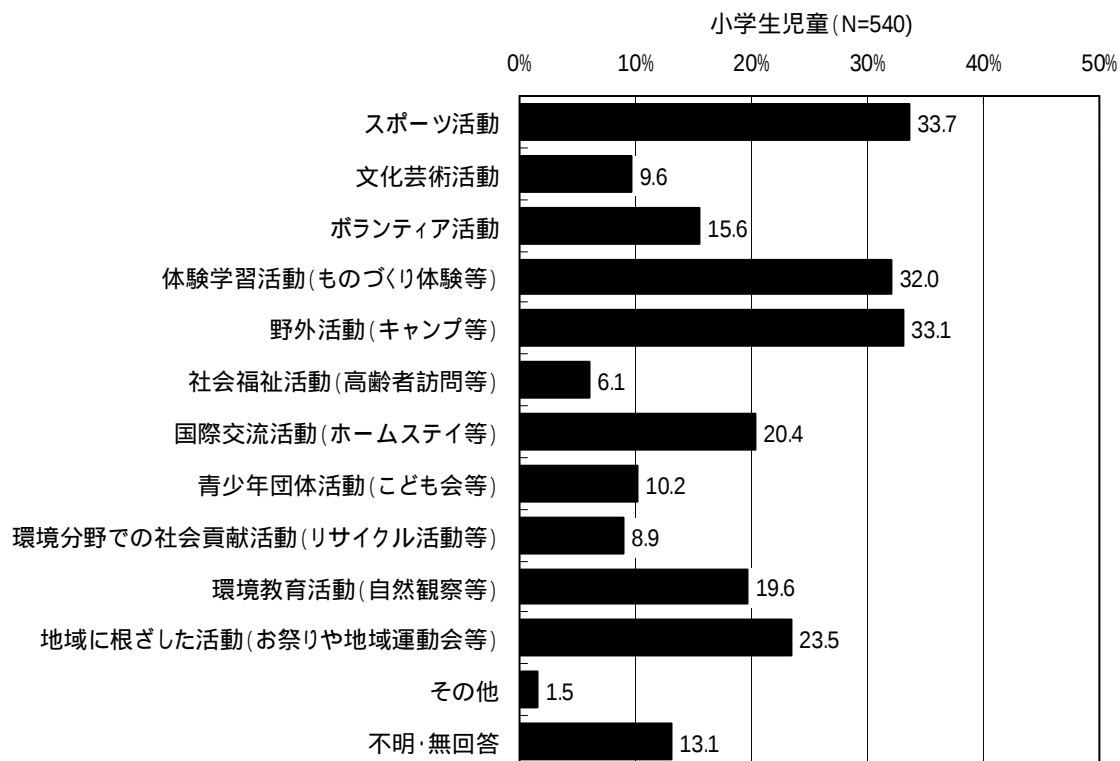
自然・社会・文化活動に参加していない理由についてみると、「活動に関する情報がなく参加しにくい」が48.1%と最も高く、次いで「知り合いなどがおらず参加しにくい」が34.2%、「参加の時間帯が合わない」が20.3%となっています。



(6) 今後参加したいと思う自然・社会・文化活動(複数回答)

【小学生児童 問26-2】

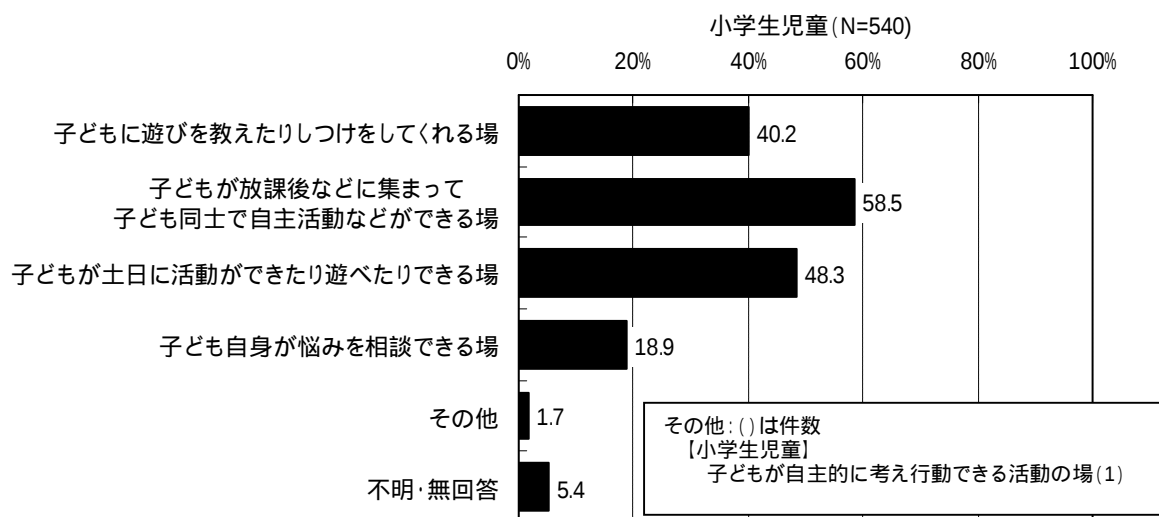
今後参加したいと思う自然・社会・文化活動についてみると、「スポーツ活動」が33.7%と最も高く、次いで「野外活動(キャンプ等)」が33.1%、「体験学習活動(ものづくり体験等)」が32.0%となっています。



(7) 子ども同士が交流等を行うことのできる場についての希望 (複数回答)

【小学生児童 問 2 7】

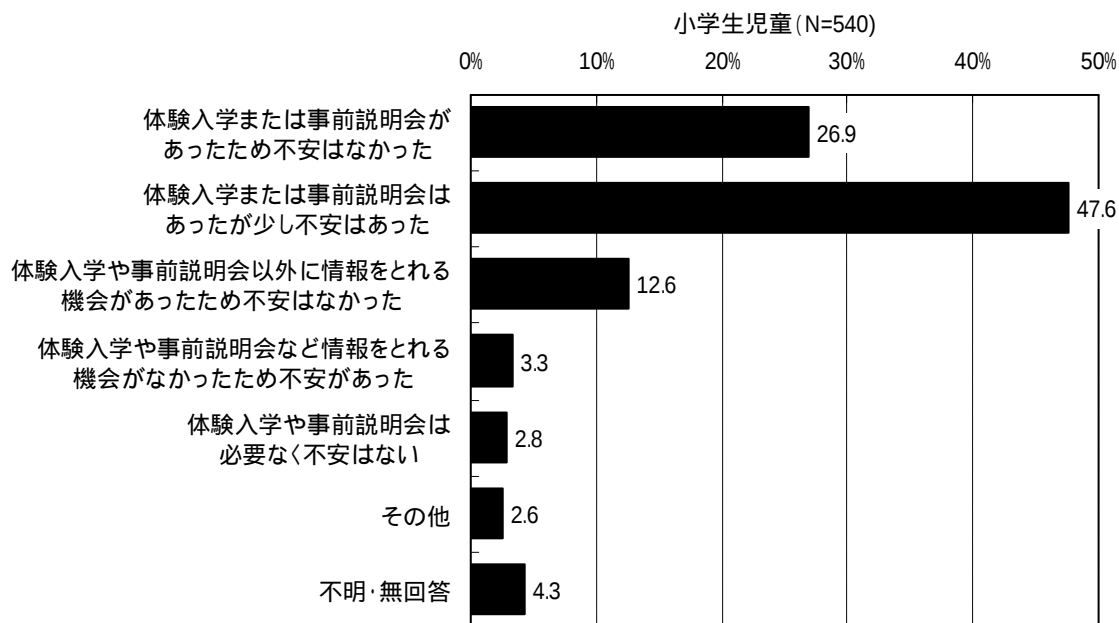
子ども同士が交流等を行うことのできる場についての希望についてみると、「子どもが放課後などに集まって子ども同士で自主活動などができる場」が 58.5%と最も高く、次いで「子どもが土日に活動ができたり遊べたりできる場」が 48.3%、「子どもに遊びを教えたりしつけをしてくれる場」が 40.2%となっています。



(8) 小学校に入学する際の不安 (単数回答)

【小学生児童 問 2 8】

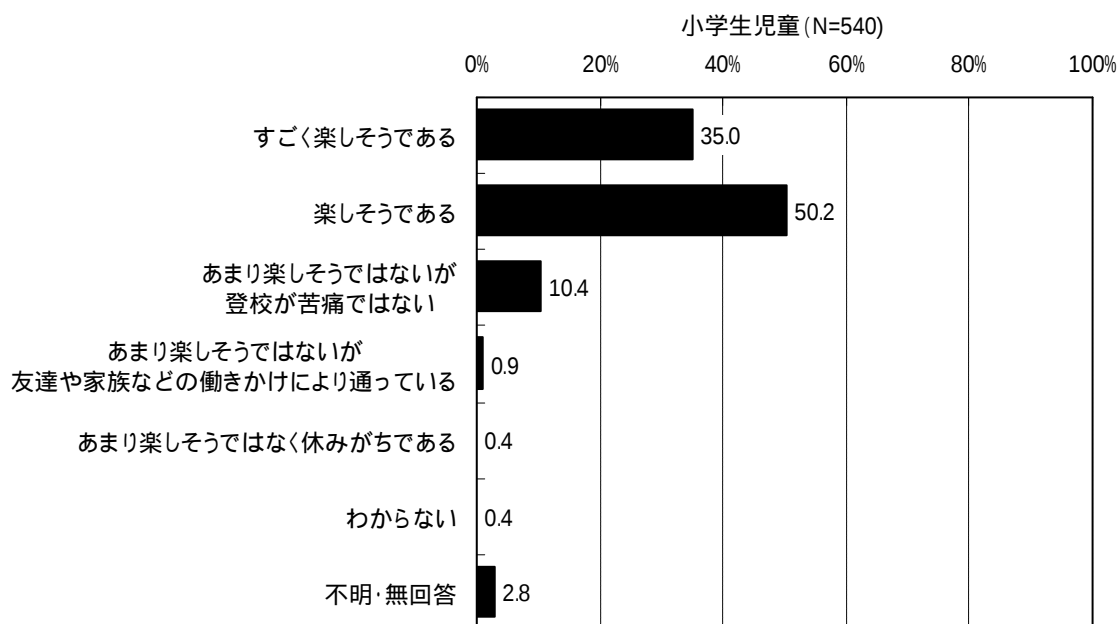
小学校に入学する際の不安についてみると、「体験入学または事前説明会はあったが少し不安はあった」が 47.6%と最も高く、次いで「体験入学または事前説明会があったため不安はなかった」が 26.9%、「体験入学や事前説明会以外に情報をとれる機会があったため不安はなかった」が 12.6%となっています。



(9) 子どもは小学校に行くのが楽しそうか (単数回答)

【小学生児童 問 2 9】

子どもが小学校へ行っている状況についてみると、「すごく楽しそうである」が 50.2%と最も高く、次いで「楽しそうである」が 35.0%となっています。



18 子育てを支援する生活環境の整備について

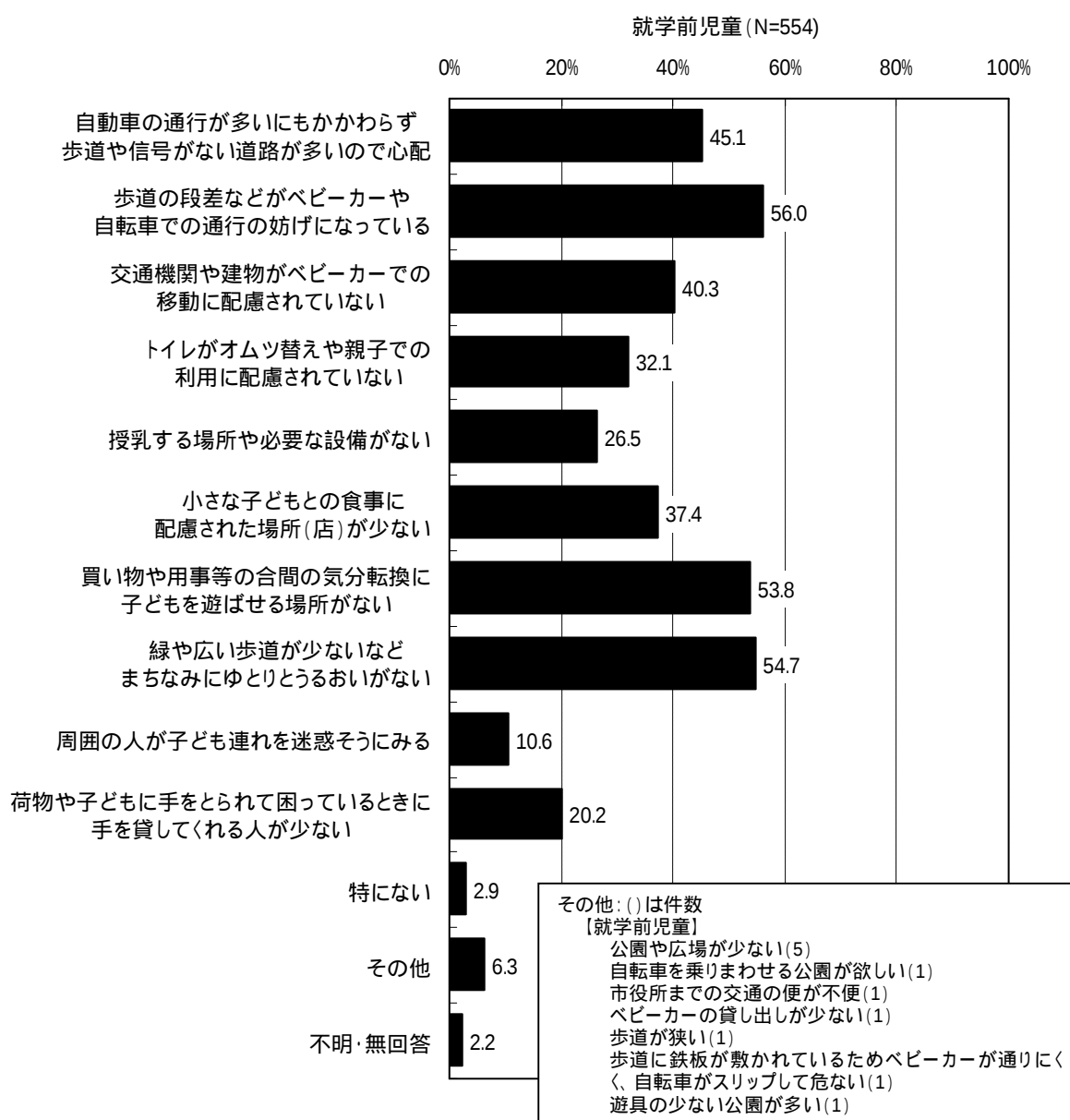
【就学前児童】

(1) 外出する際困ったこと (複数回答)

【就学前児童 問 3 2】

就学前児童のみ

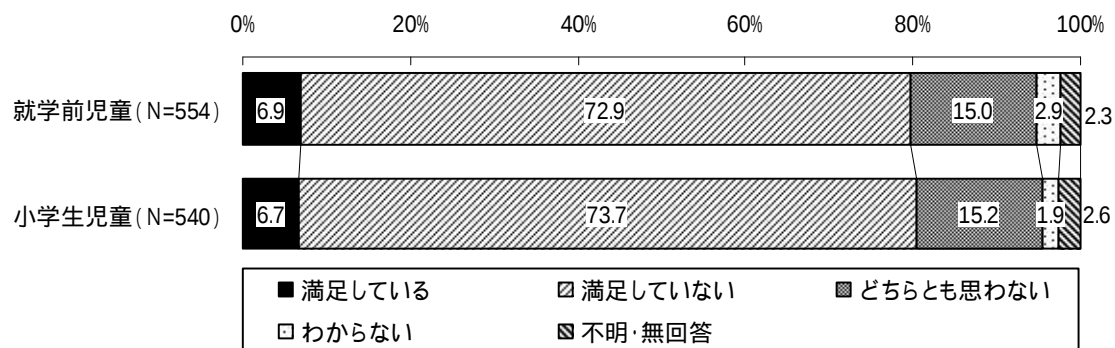
就学前児童において外出の際に困ったことについてみると、「歩道の段差などがベビーカーや自転車での通行の妨げになっている」が56.0%と最も高く、次いで「緑や広い歩道が少ないなどまちなみにゆとりとうるおいがない」が54.7%、「買い物や用事等の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない」が53.8%となっています。



(2) 地域の遊び場における満足度 (単数回答)

【就学前児童 問 3 3 : 小学生児童 問 3 0】

地域の遊び場における満足度についてみると、就学前児童、小学生児童ともに、「満足している」が 1 割未満、「満足していない」が 7 割を超えています。

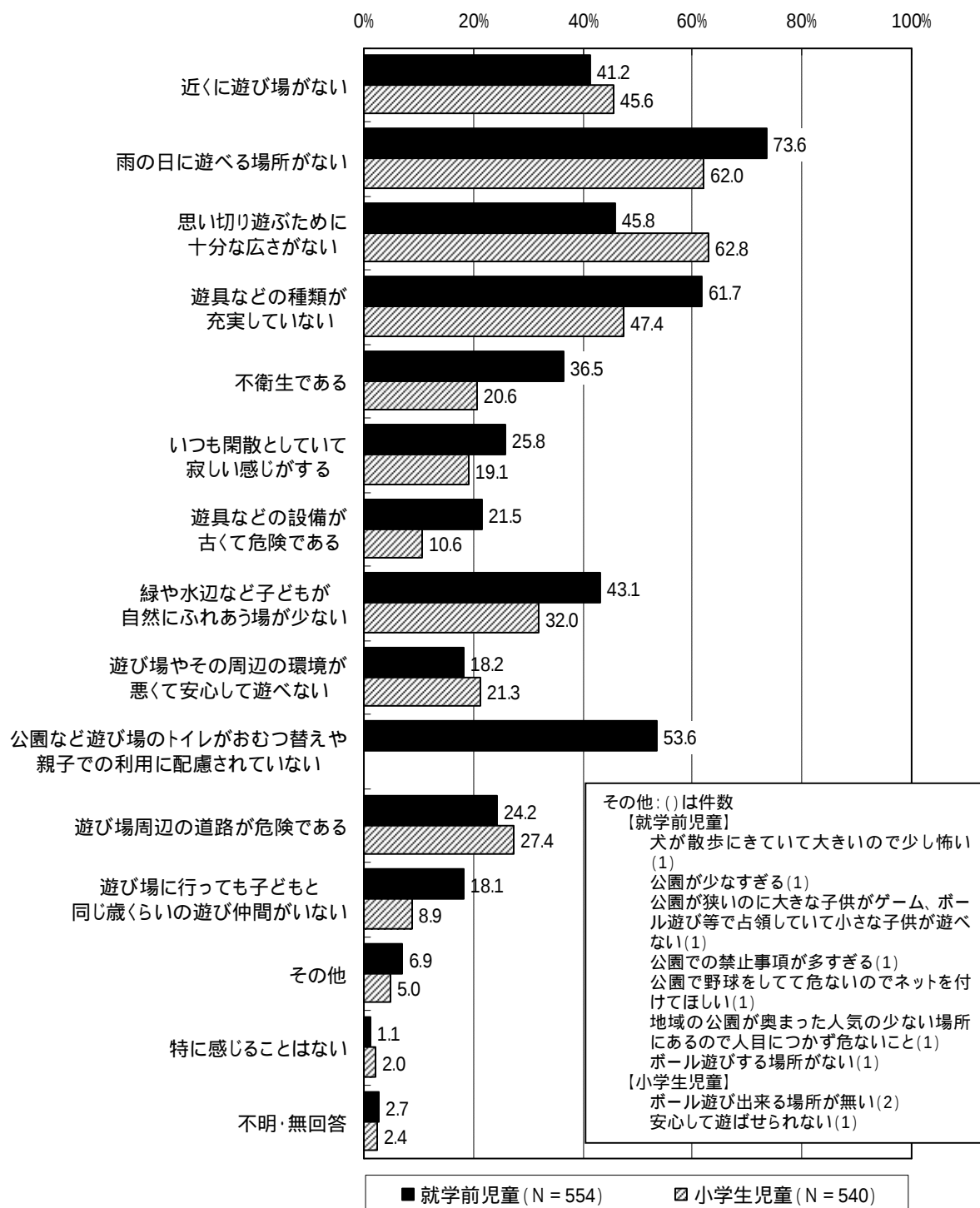


(3) 地域の遊び場について日頃感じること(複数回答)

【就学前児童 問34：小学生児童 問31】

地域の遊び場について日頃感じることについてみると、就学前児童、小学生児童ともに「雨の日に遊べる場所がない」、「思い切り遊ぶために十分な広さがない」、「遊具などの種類が充実していない」が高い項目となっています。

(「公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない」の選択肢は、就学前児童のみ)



19 子どもの安全を確保する為の取り組みについて

(1) 子どもの安全を確保する為の取り組みについて(単数回答)

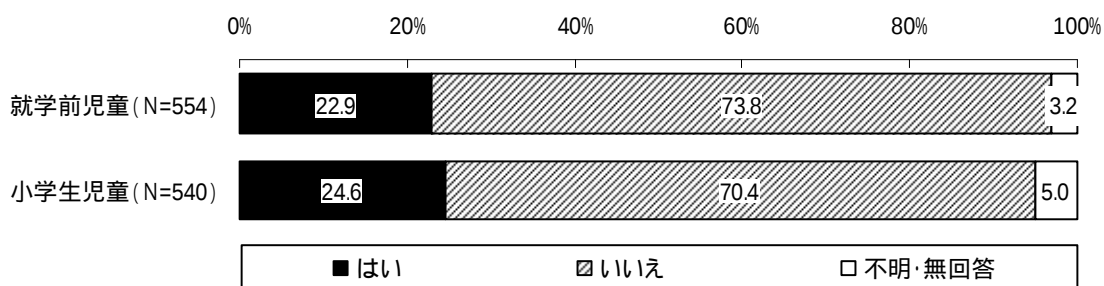
【就学前児童 問35：小学生児童 問32】

知っているか(認知度)

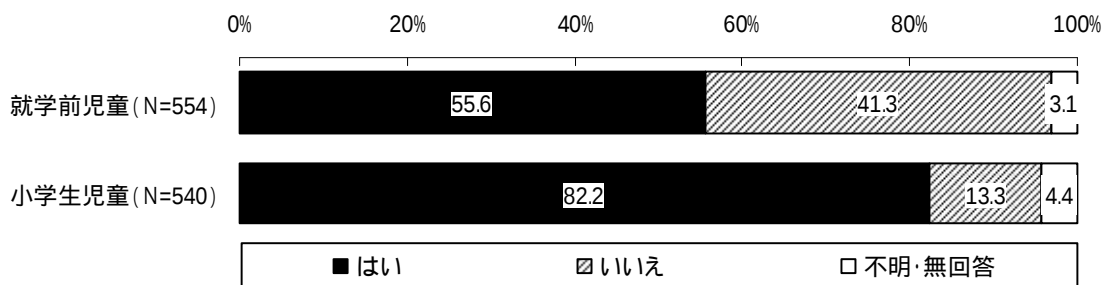
各サービス等の認知度についてみると、就学前児童では「はい(知っている)」が『青色回転灯パトロール事業』で22.9%、『子どもの安全見まもり隊事業』が55.6%、『子ども110番事業』が74.4%となっています。

小学生児童では「はい(知っている)」が『青色回転灯パトロール事業』で24.6%、『子どもの安全見まもり隊事業』が82.2%、『子ども110番事業』が84.6%となっています。

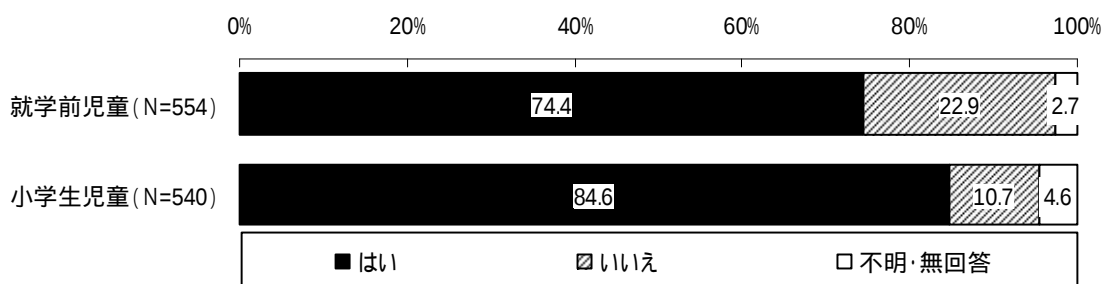
A：青色回転灯パトロール事業



B：子どもの安全見まもり隊事業



C：子ども110番事業

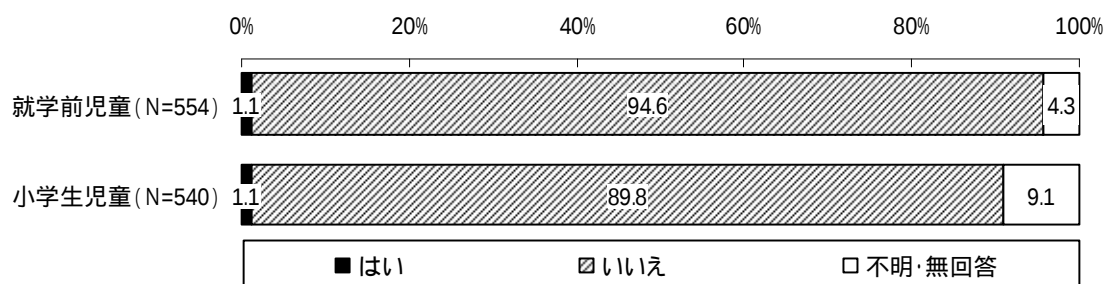


これまでに協力したことがあるか（参加度）

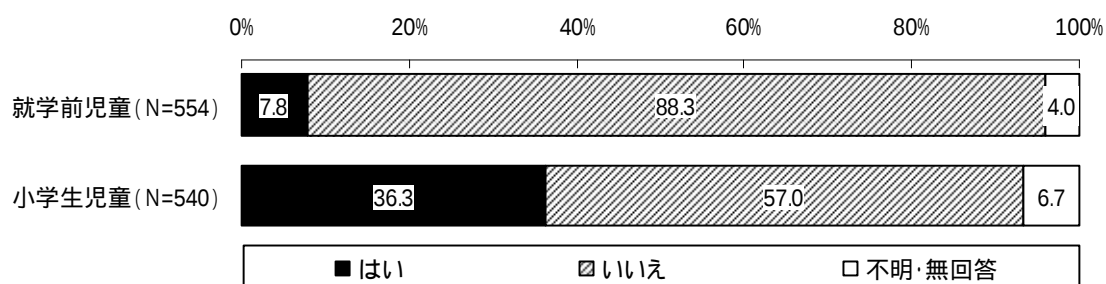
各サービス等の参加度についてみると、就学前児童では「はい（これまでに協力したことがある）」が『青色回転灯パトロール事業』で 1.1%、『子どもの安全見まもり隊事業』が 7.8%、『子ども 110 番事業』が 4.3%となっています。

小学生児童では「はい（これまでに協力したことがある）」が『青色回転灯パトロール事業』で 1.1%、『子どもの安全見まもり隊事業』が 36.3%、『子ども 110 番事業』が 9.6%となっています。

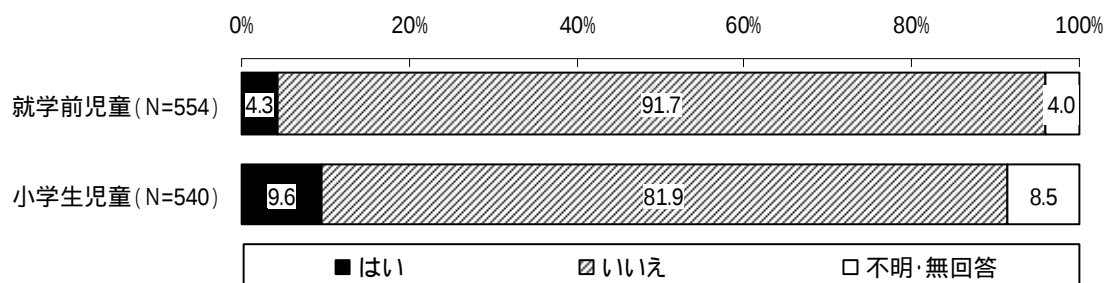
A：青色回転灯パトロール事業



B：子どもの安全見まもり隊事業



C：子ども 110 番事業

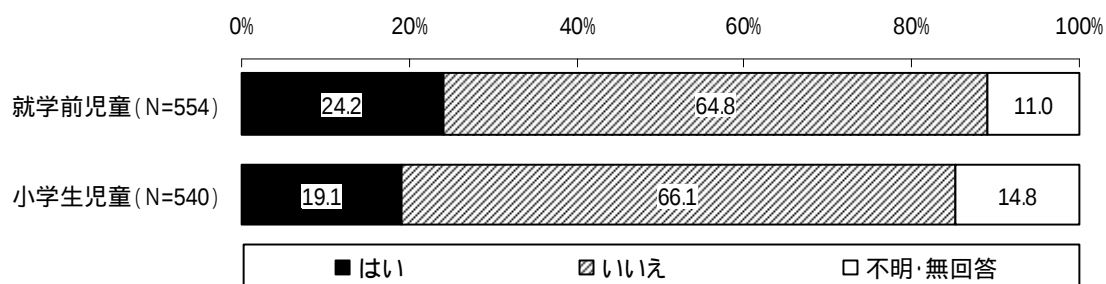


今後協力したいか（参加希望）

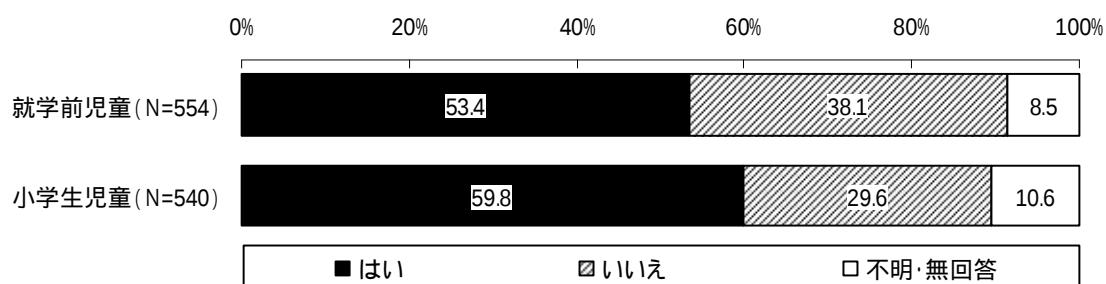
各サービス等の参加希望についてみると、就学前児童では「はい（今後協力したい）」が『青色回転灯パトロール事業』で 24.2%、『子どもの安全見まもり隊事業』が 53.4%、『子ども 110 番事業』が 54.3%となっています。

小学生児童では「はい（今後協力したい）」が『青色回転灯パトロール事業』で 19.1%、『子どもの安全見まもり隊事業』が 59.8%、『子ども 110 番事業』が 45.4%となっています。

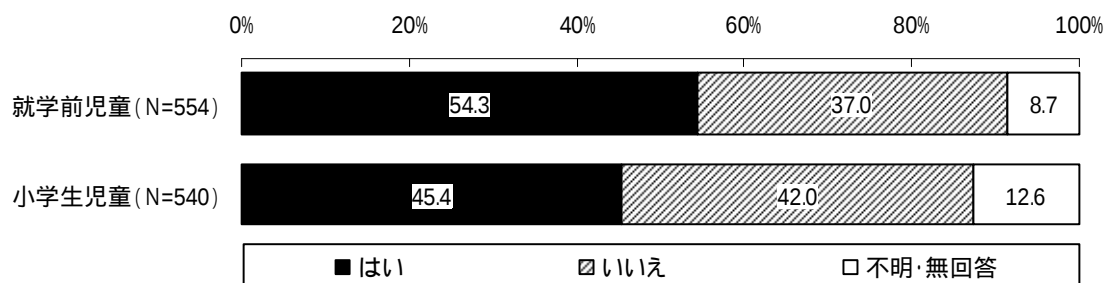
A：青色回転灯パトロール事業



B：子どもの安全見まもり隊事業



C：子ども 110 番事業

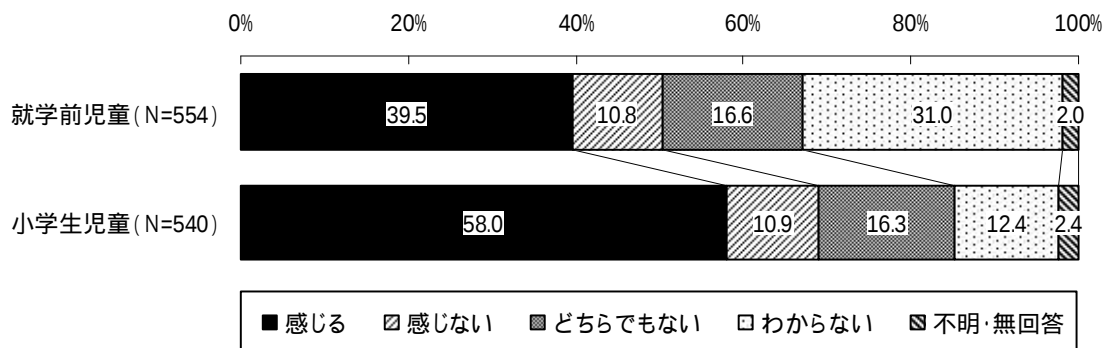


(2) 子どもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じるか (単数回答)

【就学前児童 問36 : 小学生児童 問33】

子どもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じるかについてみると、就学前児童では「感じる」が39.5%、「感じない」が10.8%となっています。

小学生児童では「感じる」が58.0%、「感じない」が10.9%となっています。

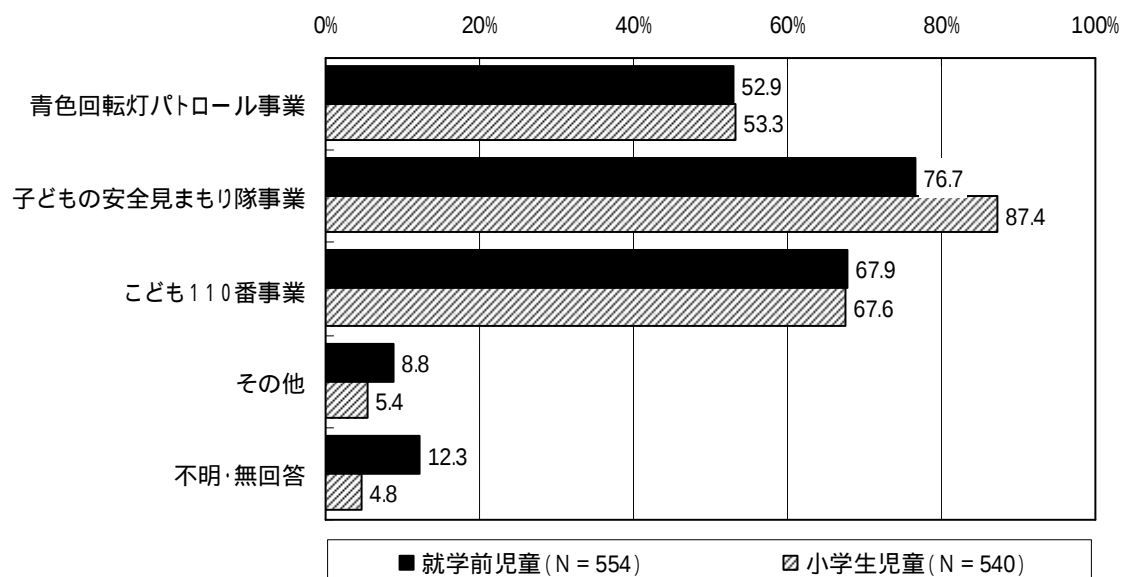


(3) 子どもの安全を確保する為に必要と思われる事業・取り組み (複数回答)

【就学前児童 問37 : 小学生児童 問34】

子どもの安全を確保する為に必要と思われる事業・取り組みについてみると、就学前児童では「青色回転灯パトロール事業」が52.9%、「子どもの安全見まもり隊事業」が76.7%、「子ども110番事業」が67.9%となっています。

小学生児童では「青色回転灯パトロール事業」が53.3%、「子どもの安全見まもり隊事業」が87.4%、「子ども110番事業」が67.6%となっています。



その他 : () は件数
 【就学前児童】
 GPSを持たせる(1)・保護者の常識のない行動が増えている(1)
 【小学生児童】
 外灯を増やす(1)・サイレンを鳴らす必要がある(1)・歩道が少ない(1)

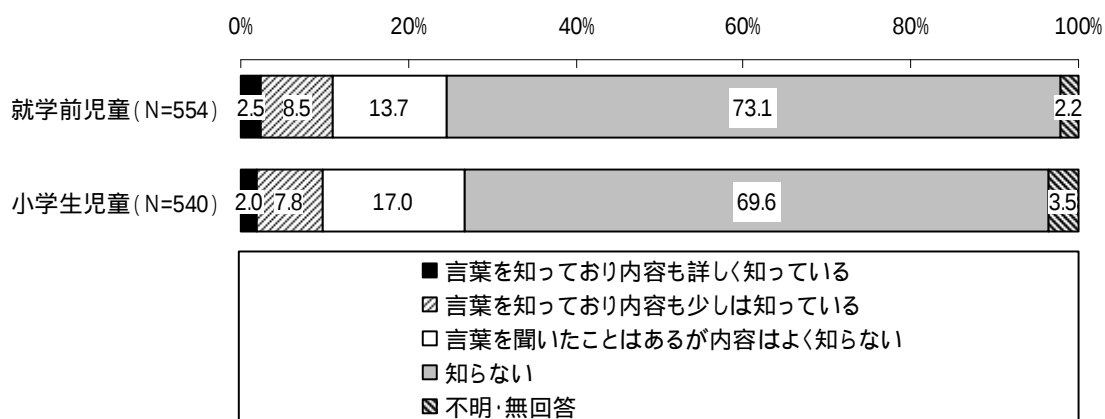
20 仕事と生活の調和について

(1) 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っているか(単数回答)

ワーク・ライフ・バランス ワーク・ライフ・バランスは「仕事と生活の調和」と訳され、「国民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる」ことを表します。

【就学前児童 問38：小学生児童 問35】

「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度についてみると、就学前児童、小学生児童ともに、「知らない」が約7割と高くなっています。



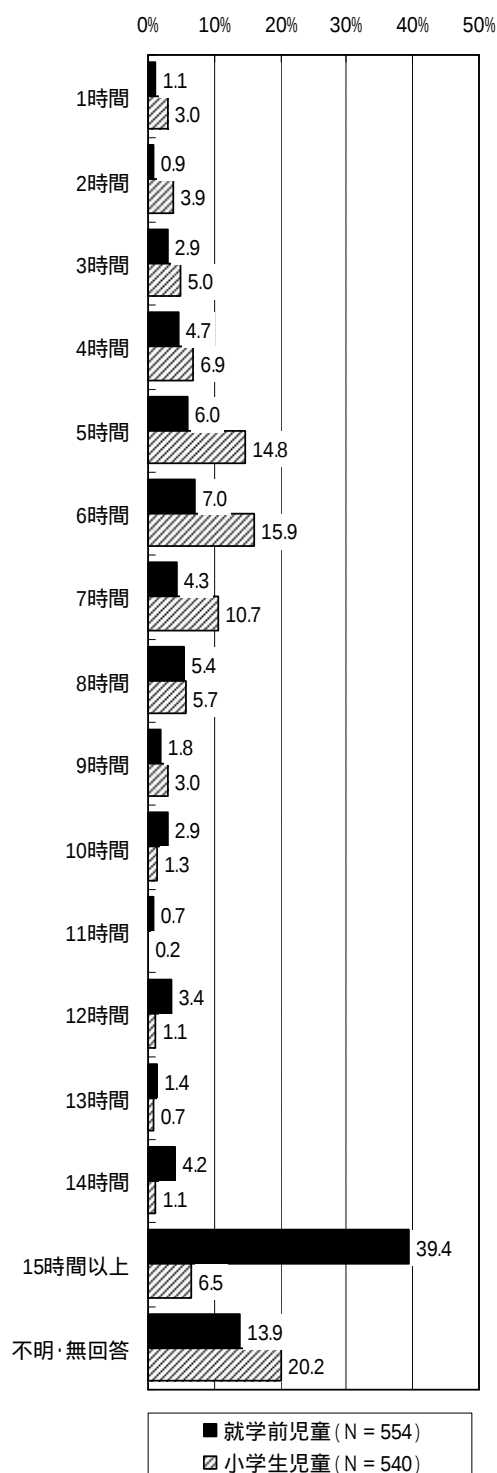
(2) 1日あたりの子どもと過ごす時間について (数量回答)

【就学前児童 問39：小学生児童 問36】

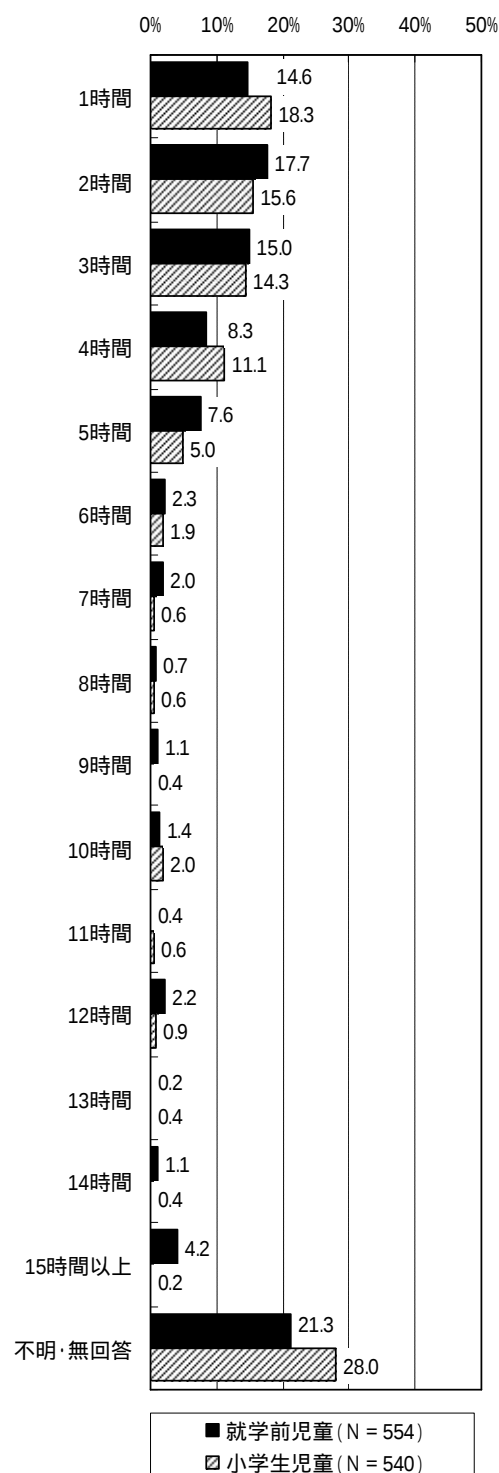
1日あたりの子どもと過ごす時間についてみると、母親では特に就学前児童で「15時間以上」が高くなっており、その他は就学前児童、小学生児童ともに「4時間」～「8時間」が高くなっています。

父親では「1時間」～「5時間」が高くなっています。

【母親】



【父親】

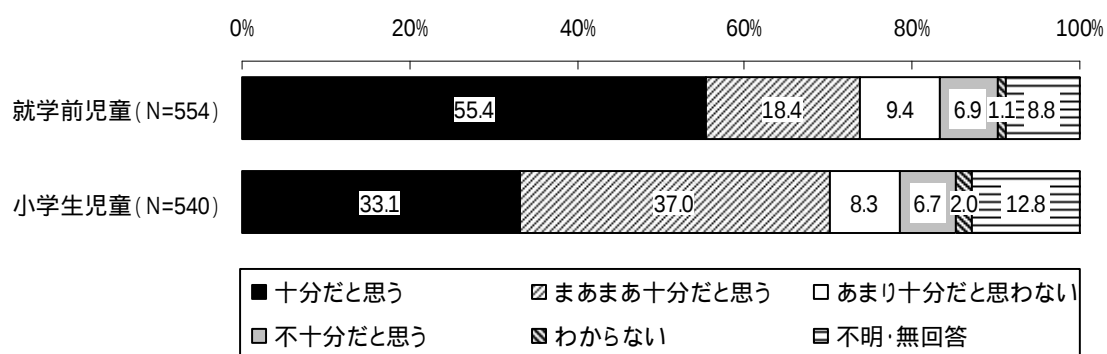


(3) 子どもと一緒に過ごす時間の満足度（単数回答）

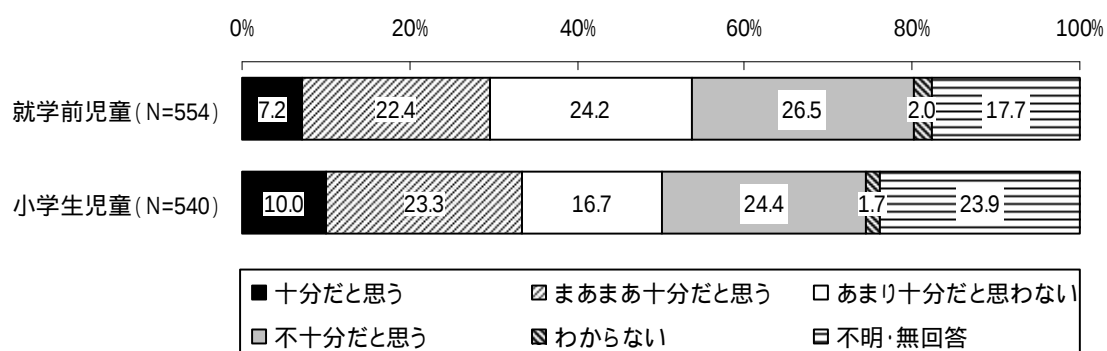
子どもと一緒に過ごす時間の満足度についてみると、母親では就学前児童、小学生児童ともに、「十分だと思う」、「まあまあ十分だと思う」をあわせ、満足していると答えたかたが7割を超えています。

父親では就学前児童、小学生児童ともに、「十分だと思う」、「まあまあ十分だと思う」をあわせ、満足していると答えたかたが約3割となっています。

【母親】



【父親】



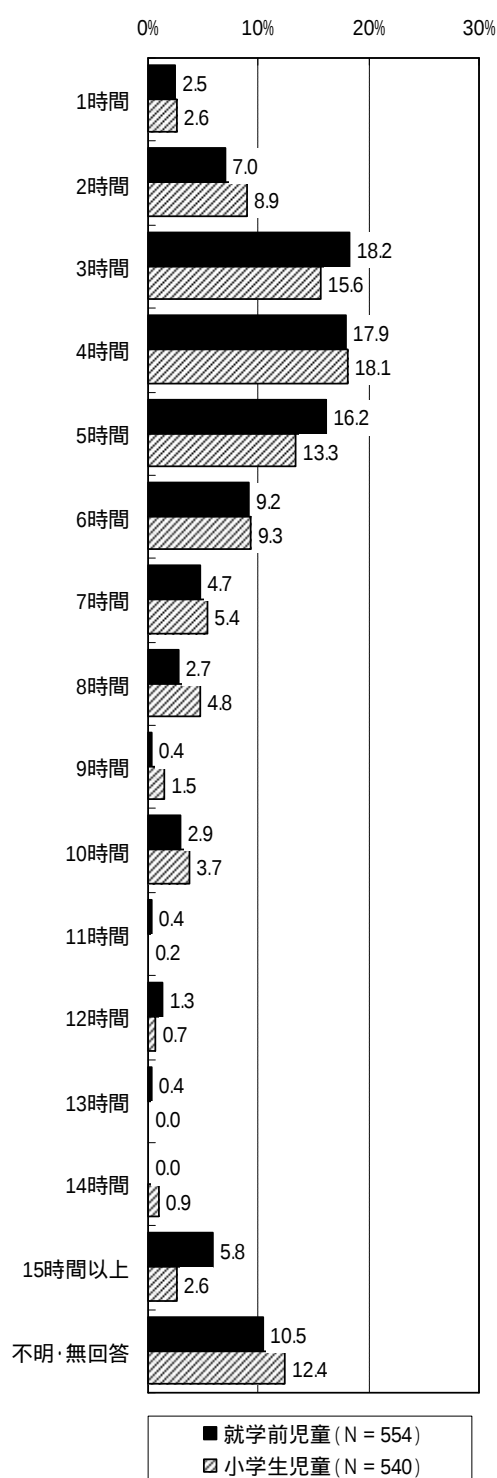
(4) 1日あたりの家事の時間について (数量回答)

【就学前児童 問40：小学生児童 問37】

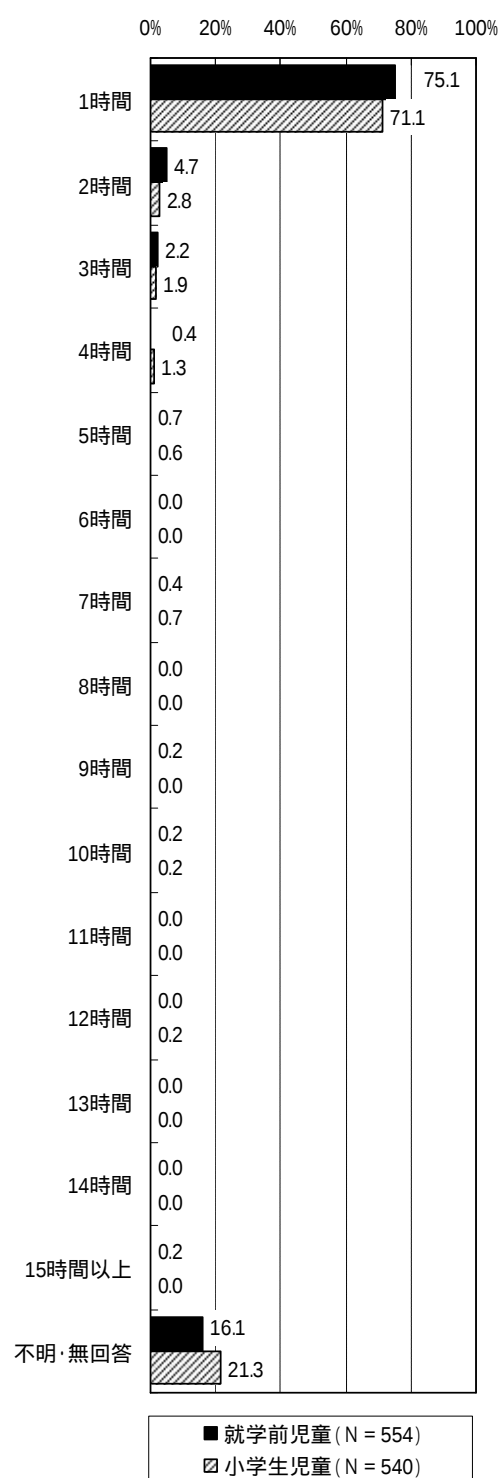
1日あたりの家事の時間についてみると、就学前児童、小学生児童ともに、母親では「3時間」～「5時間」が高くなっており、就学前児童では「15時間以上」も高くなっています。

父親では「1時間」が7割を超えて高くなっています。

【母親】



【父親】



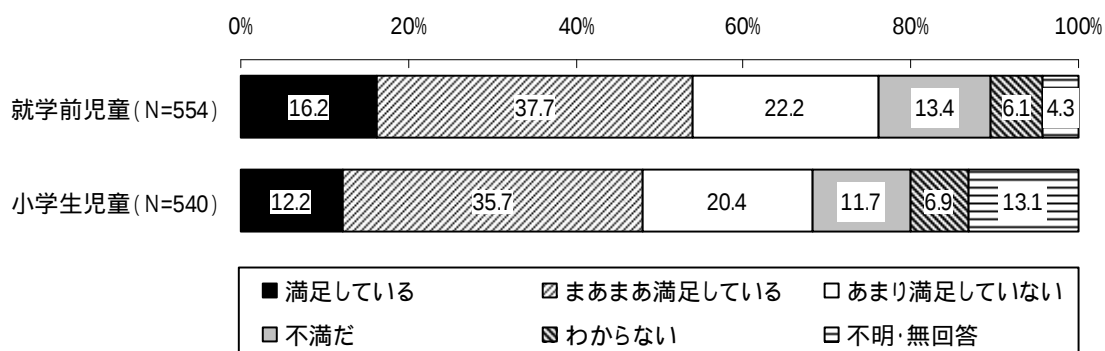
(5) 配偶者との育児分担についての満足度 (単数回答)

【就学前児童 問 4 1 : 小学生児童 問 3 8】

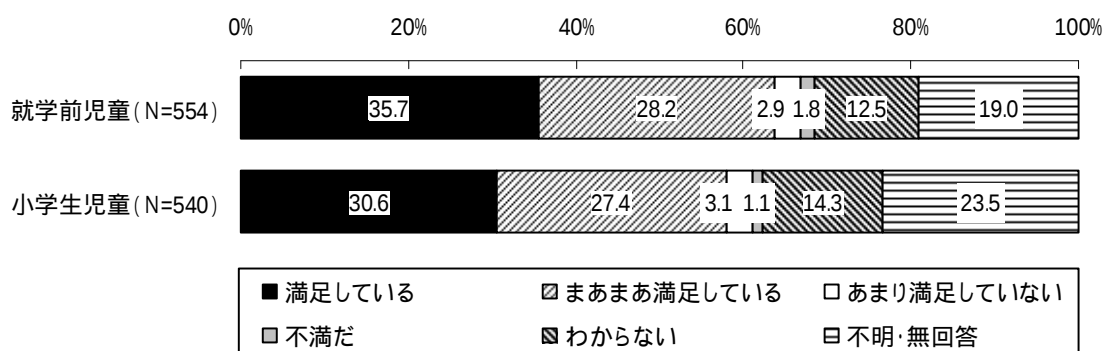
配偶者との育児分担の満足度についてみると、母親では就学前児童、小学生児童ともに、「十分だと思う」、「まあまあ十分だと思う」をあわせ、満足していると答えたかたが約半数となっています。

父親では就学前児童、小学生児童ともに、「十分だと思う」、「まあまあ十分だと思う」をあわせ、満足していると答えたかたが半数を超えています。

【母親】



【父親】

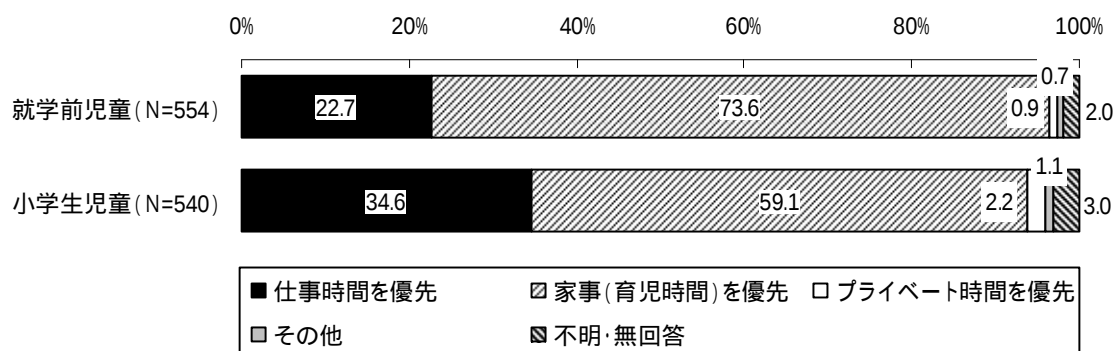


(6) 生活の中の「仕事時間」と「家事(育児)・プライベートの生活時間」の優先度の「希望」と「現実」について(単数回答)

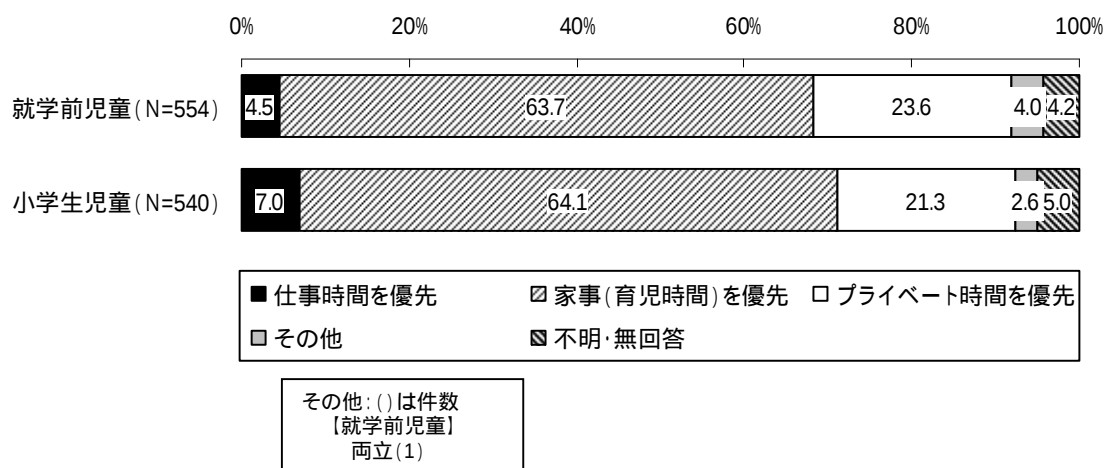
【就学前児童 問42：小学生児童 問39】

「仕事時間」と「家事(育児)・プライベートの生活時間」の優先度についてみると、就学前児童、小学生児童ともに、希望では「家事(育児)時間を優先」が高くなっています。
しかし現実では「仕事時間を優先」が希望より高くなっており、生活の中心がやや仕事に偏っていることがわかります。

【現実】



【希望】

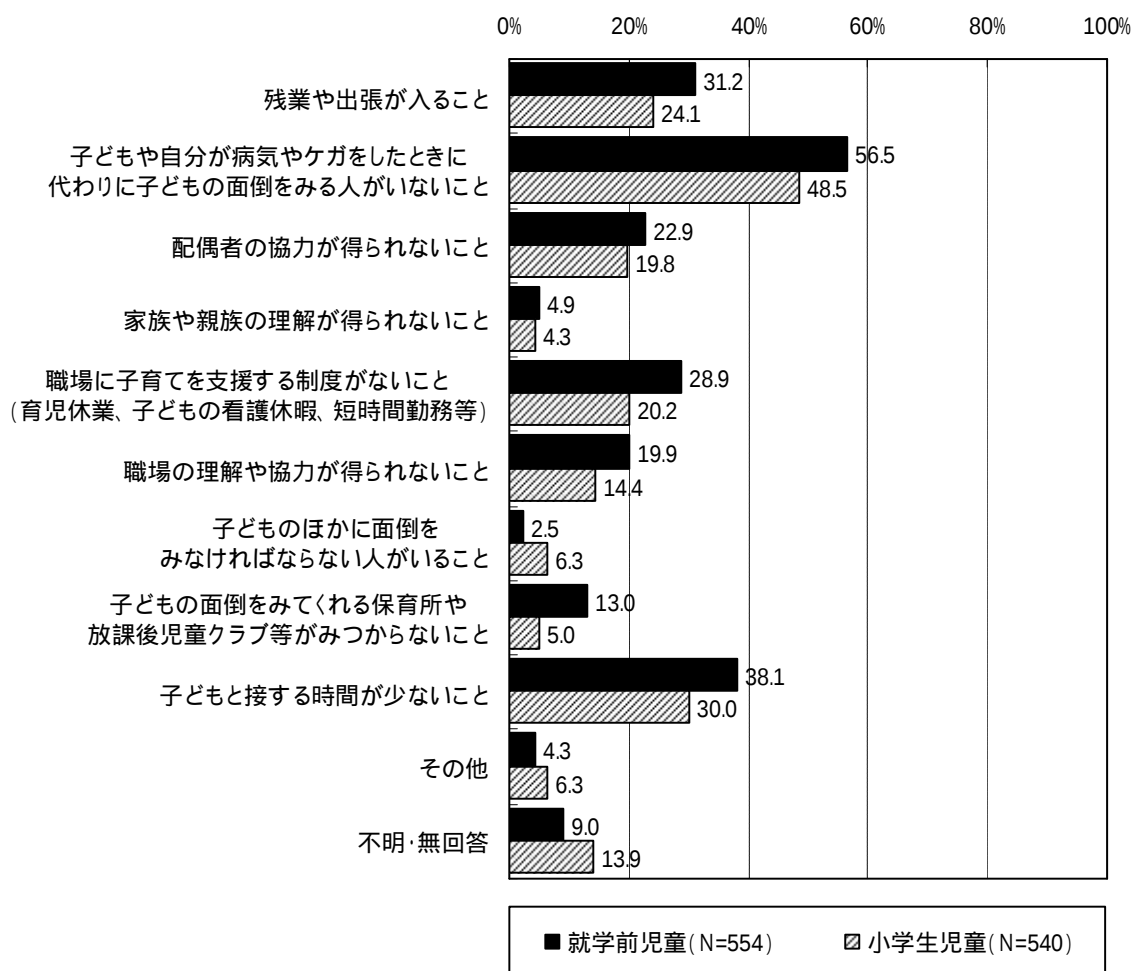


(7) 仕事と子育てを両立する上で大変だと感じること(複数回答)

【就学前児童 問43：小学生児童 問40】

仕事と子育てを両立する上で大変だと感じることについてみると、就学前児童、小学生児童ともに、「子どもや自分が病気やケガをしたときに代わりに子どもの面倒をみる人がいないこと」、「子どもと接する時間が少ないこと」、「残業や出張が入ること」が上位となっています。

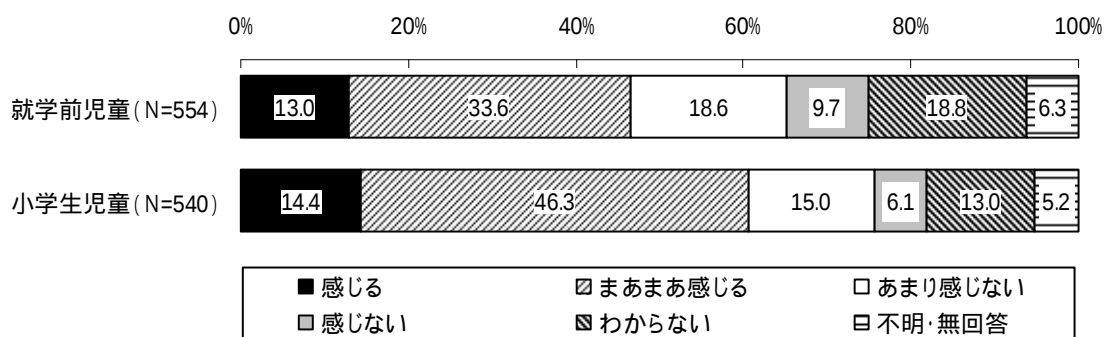
また、就学前児童、小学生児童ともに「配偶者の協力が得られない」、「職場に子育てを支援する制度がないこと」、「職場の理解が得られない」がそれぞれ2割前後となっています。



(8) 仕事と生活の調和が図られていると感じるか (単数回答)

【就学前児童 問 4 4 : 小学生児童 問 4 1】

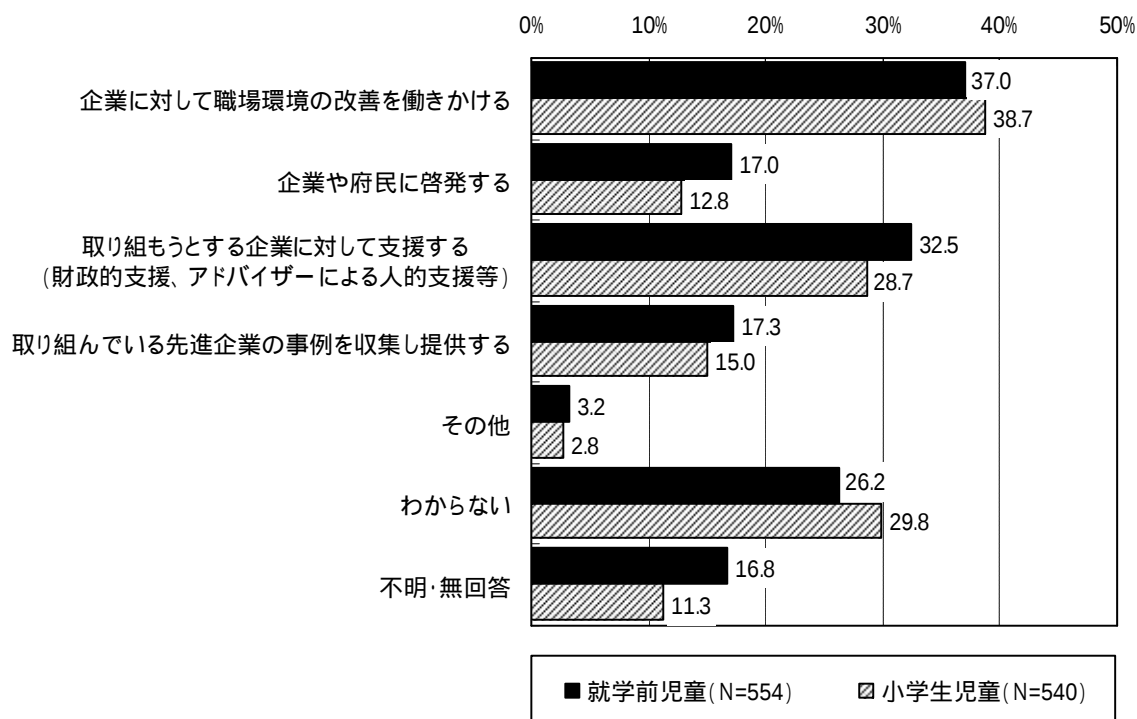
仕事と生活の調和が図られていると感じるかについてみると、就学前児童では「感じる」、「まあまあ感じる」をあわせ、調和が図られていると答えたかたが 4 割を超えており、小学生児童では 6 割を超えています。



(9) 勤務先で子育て支援の取り組みが進む為に行政に必要な取り組み(複数回答)

【就学前児童 問47：小学生児童 問42】

勤務先で子育て支援の取り組みが進む為に行政に必要な取り組みについてみると、「わからない」の回答をのぞくと、就学前児童、小学生児童ともに「企業に対して職場環境の改善を働きかける」が最も高く、それぞれ37.0%、38.7%となっており、次いで「取り組もうとする企業に対して支援する(財政的支援、アドバイザーによる人的支援等)」がそれぞれ32.5%、28.7%となっています。



その他:()は件数
 【就学前児童】
 法的な決め事(1)
 人数を増やす(1)
 【小学生児童】
 自営業なので(1)

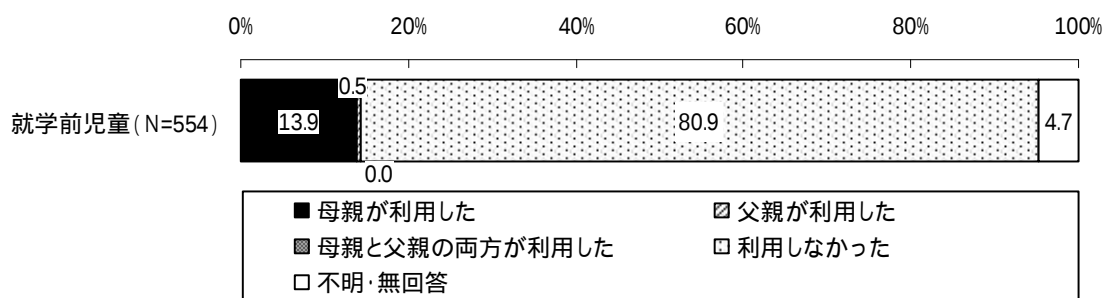
21 育児休業制度について

（就学前児童）

（１） 母親または父親が育児休業制度を利用したか（単数回答）

【就学前児童 問４５】

母親または父親が育児休業制度を利用したかについてみると、「利用しなかった」が80.9%と最も高くなっています。「母親が利用した」は13.9%、「父親が利用した」は0.5%となっており、特に父親は低くなっています。



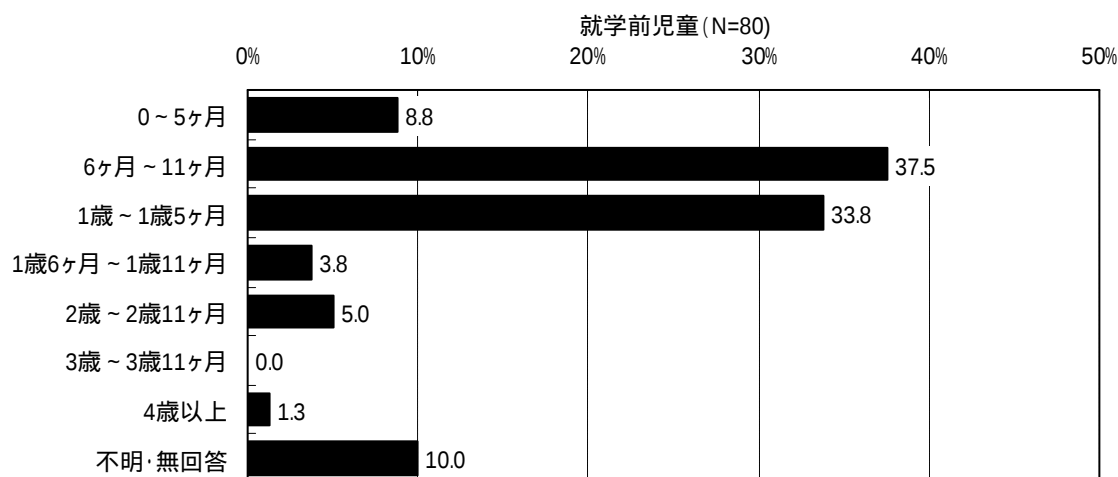
（２） 育児休業制度を利用した際の状況について

育児休業から復帰した時の子どもの月齢（数量回答）

【就学前児童 問４５-１】

* 「母親が利用した」「父親が利用した」「母親と父親両方が利用した」と答えたかたのみ

育児休業から復帰した時の子どもの月齢についてみると、「6ヶ月～11ヶ月」が37.5%と最も高くなっています。

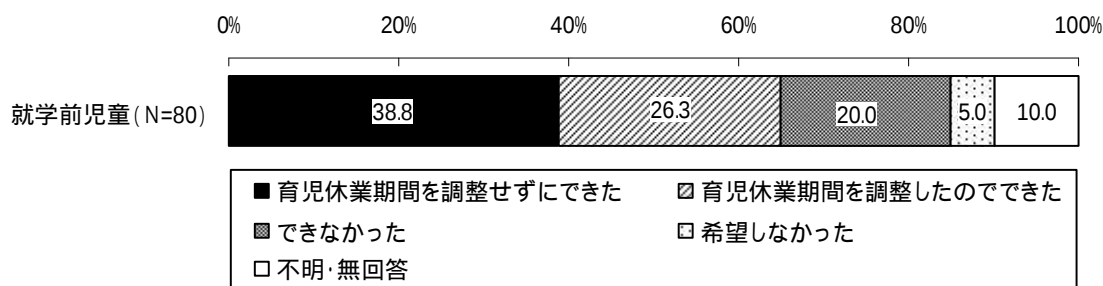


育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できたか（単数回答）

【就学前児童 問45-2】

* 「母親が利用した」、「父親が利用した」、「母親と父親両方が利用した」と答えたかたのみ

育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できたかについてみると、「育児休業期間を調整せずにできた」が38.8%で最も高くなっています。そのほか、「育児休業期間を調整したのでできた」が26.3%、「できなかった」が20.0%、「希望しなかった」が5.0%となっています。



育児休業明けに希望する保育サービスが確実に利用できたとしたら、育児休業は実際に取得した期間と変わるか（単数回答）

【就学前児童 問45-3】

* 「育児休業期間を調整したのでできた」と答えたかたのみ

育児休業明けに保育サービスが確実に利用できた場合、育児休業の取得期間が変わったかについてみると、「長くした」「短くした」がともに8人、「変わらない」が1人となっています。

	就学前児童 (N=21)
変わらない	1
長くした	8
短くした	8
不明・無回答	4

【取得期間を調整した人の具体的期間】（数量回答）

(回答のみ)	
長くした	就学前児童 (N=8)
1ヶ月	1
6ヶ月	6
不明・無回答	1

(回答のみ)	
短くした	就学前児童 (N=8)
1ヶ月	2
4ヶ月	4
6ヶ月	2
不明・無回答	0

希望する保育サービスを利用できなかった際の対処方法（単数回答）

【就学前児童 問45-4】

* 「できなかった」と答えたかたのみ

育児休業明けに、希望する保育サービスが利用できなかったときの対応についてみると、「事業所内の保育サービスを利用した」が6人、「上記以外のサービスを利用した」が4人、「家族等にみてもらうことで対応した」が3人となっています。

	就学前児童 (N=16)
希望とは違う認可保育所を利用した	0
事業所内の保育サービスを利用した	6
上記以外の保育サービスを利用した	4
家族等にみてもらうことで対応した	3
仕事を辞めた	2
不明・無回答	1

(3) 育児休業を取得しなかった理由（複数回答）

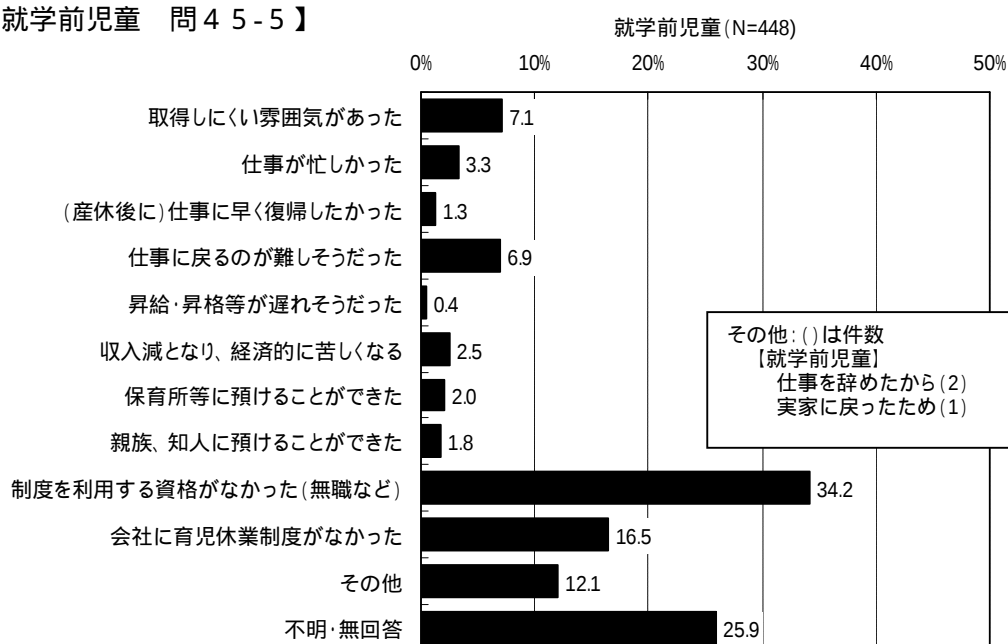
【就学前児童 問45-5、問45-6】

*「利用しなかった」と答えたかたのみ

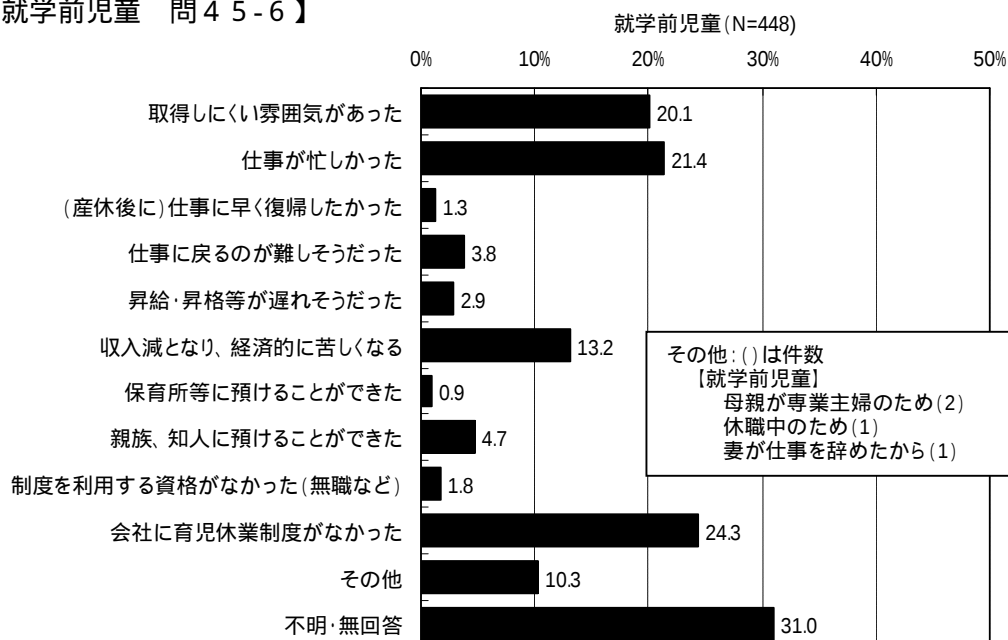
育児休業を取得しなかった理由についてみると、母親では「制度を利用する資格がなかった（無職など）」が34.2%と最も高くなっており、次いで「会社に育児休業制度がなかった」が16.5%、「取得しにくい雰囲気があった」が7.1%、「仕事に戻るのが難しそうだった」が6.9%となっています。

父親では「会社に育児休業制度がなかった」が24.3%と最も高くなっており、次いで「仕事が忙しかった」が21.4%、「取得しにくい雰囲気があった」が20.1%となっています。

【母親】【就学前児童 問45-5】



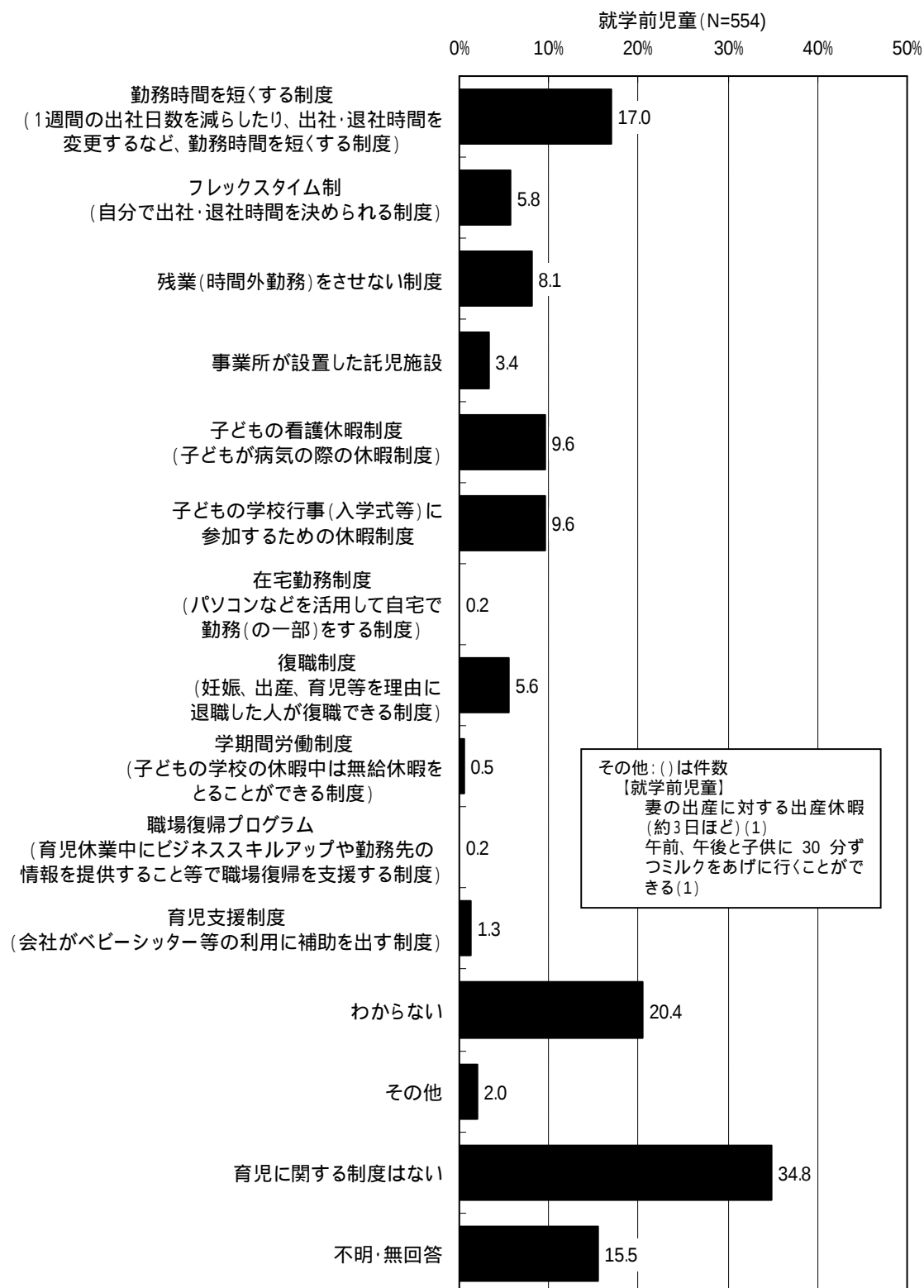
【父親】【就学前児童 問45-6】



(4) 勤務先にある育児休業以外の育児の為の制度 (複数回答)

【就学前児童 問 4 6】

勤務先にある育児休業以外の育児の為の制度についてみると、「育児に関する制度はない」が 34.8%と最も多く、次いで「わからない」が 20.4%、「勤務時間を短くする制度」が 17.0%となっています。



(5) 勤務先における育児支援制度の認知度及び利用のしやすさ (単数回答)

【就学前児童 問 4 6 - 1】

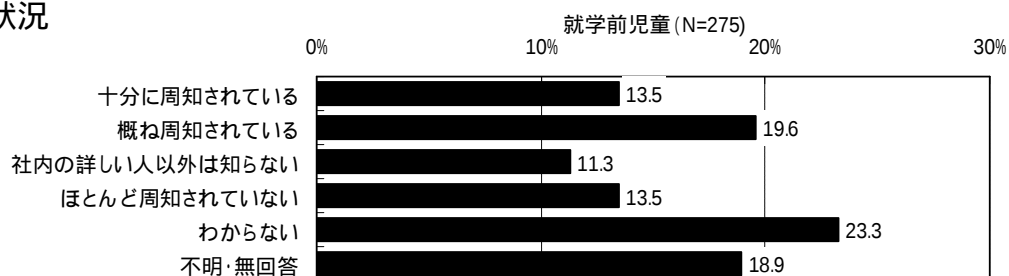
「育児に関する制度はない」以外を選ばれたかたのみ

勤務先における育児支援制度の認知度についてみると、「十分に周知されている」「概ね周知されている」をあわせた『周知されている』が 33.1%、「社内の詳しい人以外は知らない」「ほとんど周知されていない」をあわせた『周知されていない』が 24.8%となっています。

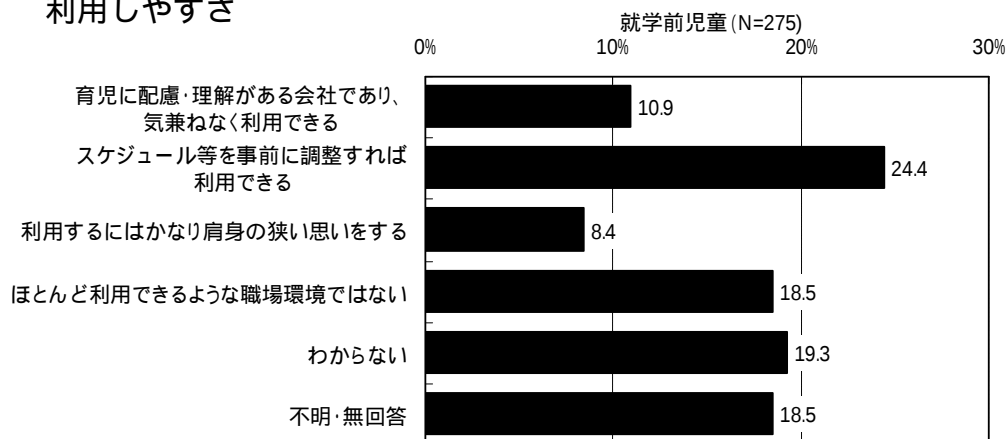
利用しやすさについてみると「育児に配慮・理解がある会社であり、気兼ねなく利用できる」「スケジュール等を事前に調整すれば利用できる」をあわせた『利用しやすい』と答えただけが 35.3%、「利用するにはかなり肩身の狭い思いをする」「ほとんど利用できるような職場ではない」をあわせた『利用しにくい』と答えただけが 26.9%となっています。

満足度についてみると「満足している」「まあまあ満足している」をあわせた『満足している』と答えただけが 29.1%、「あまり満足していない」「不満だ」をあわせた『満足していない』と答えただけが 24.4%となっています。

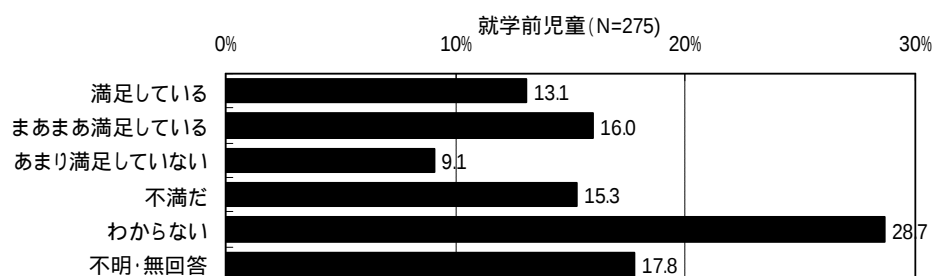
周知状況



利用しやすさ



満足度



22 行政サービスへの要望について

(1) 行政に対して、どのような子育て支援の充実を期待するか (複数回答)

【就学前児童 問48：小学生児童 問43】

行政に対して、子育て支援の充実を図って欲しいと期待していることについてみると、就学前児童、小学生児童ともに、「親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する」、「安心して子どもが医療機関（小児救急など）を利用できる体制を整備する」、「子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充等）」が共通して高い項目となっています。

集計は次ページ参照

【行政に対して、どのような子育て支援の充実を期待するか】

